# がん診療連携拠点病院等 現況報告書 今和6年9月1日時点について記載

_	<b>Ŧ</b> Ŧ	מיניי		-+	7
	<del>1.</del> =		11		-

		<u></u>		
1. 推薦区分	地域がん診療連携拠点病院	令和7年4月1日以降の指定更新を希望しない場合は選択してくださし	~	
現行の指定区分	地域がん診療連携拠点病院	また、その場合は推薦区分に現行の指定区分を便宜的に選択してくた	~	Ξ
特定機能病院の承認	承認なし	(承認あり/承認なし)	~	
臨床研究中核病院の承認	承認なし	(承認あり/承認なし)	~	

※推薦時点で、拠点病院等として指定を受けていない施設を推薦する場合は、G6セルで「新規指定推薦」を選択してください。 ※令和7年4月1日以降の指定更新を希望しない施設においては、K5セルで「指定辞退」を選択してください。

病院概要 病院名(表紙シートの病院名を反映)	愛知県厚生農業協同組合連合会	安城更生病院				13	
よみがな	あいちけんこうせいのうぎょうきょう	どうくみあいれん	ごうかい あんじょうこうせいびょういん			14 15	
SEC -to the fit					<u>.</u>	16	
所在地等	- 140,000					17	
郵便番号	〒 <mark>446-8602                                    </mark>	安城市安!	或町東広畔28番地			18 19	<b>—</b> :
<u> </u>	支机床		gm] 末元m+20亩+20 gあんじょうしあんじょうちょうひがしひろくてにじi	<b>ふうけたげん</b> :	£	20	
まみかな 電話番号(代表)	0566-75-2111	ØC 1517A	かんしょ プロッパしょ プラよ プロル・しいろく くにこい	サンスらはん	2	21	<b>⊢</b>
<sub>电品質を(10数)</sub> FAX番号(代表)	0566-76-4335					22	-
- ハーラ(でな) e-mail(代表)	hospital@kosei.anjo.aichi.jp					23	
HPアドレス	http://anjokosei.jp/					24	
… ブーレス 所属するがん医療圏	西三河南部西医療圏					25	
所属する2次医療圏	西三河南部西医療圏					26	
病床数等						27 28	
①病床数					•	29	
総数				771	床	30	
うち療養病床				0	床	31	_ '
うち一般病床				771	床	32	_ •
うち特別療養環境室としている病床	11.11.er. 7.1.e 20.7.			127	床	33	_ •
うち集中治療室(※特定集中治療室管理料を届	iけ出ているものに限る)			8	床	34	
②外来化学療法室				43	床	37	•
職員数		総聙	員数(事務職員含む、常勤職員の人数	2214	٨.	36	•
・常勤:原則として病院で定めた勤務時間の 32時間以上勤務している者を常勤。		医師の1週間	の勤務時間が、32時間未満の場合は、		1	37	
32時間以上割物している日で吊割(	こし、ての心は非市動とする。					38	
①職種別内訳	- 広フ咄年1-01・マのユニュキ			ale see		39	
※複数の資格を有する者は、主たる業務に	1余の000000000000000000000000000000000000	非常勤 ※(常勤換算	<b>T</b> )	常勤		40 41	
			7				
医師		17.7	<u>۸</u>	214	<u>۸</u>	42	
歯科医師		0.3	<u>۸</u>	3	<u>۸</u>	43	_ •
薬剤師		10.2	٨	72	人	44	
保健師		0	<u>ل</u>	8	人	45	
助産師		0.6	Д.	61	人	46	•
看護師		33.7	<u>ل</u>	961	人	47	_ •
准看護師		0.5	٨	3	٨	48	
理学療法士		0	<u> </u>	26	<u>۸</u>	49	
作業療法士 視能訓練士		0	<u>^</u>	17 8	Д Д	50 51	
言語聴覚士		0	^	8	Λ λ	52	
表		0	λ	0	λ	53	
報科衛生士 ・		1	^ 1	6	λ	54	
函行開工工   歯科技工士		0	1	0	λ	55	
診療放射線技師		0.1	^ 1	64	1	56	
診療放射線及師 臨床検査技師		7	^	65	Λ	57	
- 端本快宜技師 - 衛生検査技師		0	<u>^</u>	0	λ 	58	-
第主候直投刷 臨床工学技士		0	<u>^</u>	33	Λ 	59	<u> </u>
一		1.4	Λ ,	19	λ 	60	-
管理未養工		0	<u>^</u>	2	Λ 	61	-
社会福祉士		1.8	λ	15	λ	62	
精神保健福祉士		0	λ	4	λ.	63	
公認心理師		0.7	Λ	5	ر. ل	64	
介護福祉士		2.4	λ	57	ر. ل	65	
救命救急士		0	λ	2	۸	66	
(②~④については、複数の資格を持つものは、両		非常勤	*	常勤		67 68	
)医師等の専門性に関する資格名に該当する人数 	寺について	※(常勤換算		,	1.	69	
一般社団法人 日本内科学会 内科専門医		0	<u>۸</u>	1	<u>۸</u>	70	_ •
公益社団法人 日本小児科学会 小児科専門医		1	<u>۸</u>	11	<u>ا</u>	71	_ •
公益社団法人 日本皮膚科学会 皮膚科専門医		1	<u>۸</u>	2	<u>ل</u>	72	
公益社団法人 日本精神神経学会 精神科専門	医	1	Λ	2	人	73	
一般社団法人 日本外科学会 外科専門医		0	Λ	16	人	74	
_公益社団法人 日本整形外科学会 整形外科専		0.6	Д	6	人	75	
公益社団法人 日本産科婦人科学会 産婦人科		2.2	Д	8	人	76	_ '
公益社団法人 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫	瘍専門医	0	Д	0	人	77	•
公益財団法人 日本眼科学会 眼科専門医		0	人	2	人	78	•
一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頚部外科学会	<b>耳鼻咽喉科専門医</b>	0	,	3	人	79	
特定非営利活動法人 日本頭頸部外科学会 頭	頸部がん専門医	0	Λ	0	人	80	•
一般社団法人 日本泌尿器科学会 泌尿器科専		0	λ	4	Д	81	
		0	λ	1	λ λ	82	
一般社団法人 日本泌尿器科学会/日本泌尿器						_	
一般社団法人 日本泌尿器科学会/日本泌尿器 一般社団法人 日本脳神経外科学会 脳神経外			λ	4	,	83	
一般社団法人 日本脳神経外科学会 脳神経外	科専門医	0.4	<u>,</u>	4	<u>ل</u>	83	
	科専門医  専門医		Д Д Д	2	Д Д	83 84 85	_

一般社団法人 日本核医学会 PET核医学認定医						
	1	Д	1	人	87	~
公益社団法人 日本麻酔科学会 麻酔科専門医	0	λ	8	Д	88	V
	0	1	1	1	89	
一般財団法人 日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医		^		^	-1	
一般社団法人 日本集中治療医学会 集中治療専門医	0	Д	5	人	90	~
一般社団法人 日本病理学会 病理専門医	0	人	2	人	91	~
公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞診専門医	0	Д	2	人	92	~
一般社団法人 日本臨床検査医学会 臨床検査専門医	0	λ	0	,	93	~
一般社団法人 日本救急医学会 救急科専門医	0	1	3	1	-	
		^		^	94	
一般社団法人 日本形成外科学会 形成外科専門医	0	Д.	1	人	95	~
一般社団法人 日本形成外科学会 皮膚腫瘍外科指導専門医	0	人	0	人	96	~
公益社団法人 日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医	0.6	Д	1	人	97	~
一般社団法人 日本内科学会 総合内科専門医	0.1	1	25	1	98	~
	0	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		7	99	
一般社団法人 日本消化器病学会 消化器病専門医	_	^	8	^	-	
一般社団法人 日本循環器学会 循環器専門医	0	人	8	人	100	~
一般社団法人 日本呼吸器学会 呼吸器専門医	0	人	4	人	101	~
特定非営利活動法人 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医	0	Д	2	人	102	~
一般社団法人 日本血液学会 血液専門医	2	,	5		103	~
		^		^	4	
一般社団法人 日本造血・免疫細胞療法学会 造血細胞移植認定医	0	Λ	4	٨	104	~
一般社団法人 日本内分泌学会・日本糖尿病学会 内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医	0.1	人	2	人	105	~
一般社団法人 日本神経学会 神経内科専門医	0	人	4	人	106	~
特定非営利活動法人 日本脳神経血管内治療学会 脳血管内治療専門医	0	λ	2	人	107	~
一般社団法人 日本脳卒中学会 専門医	0	1	3	1	108	· ·
		^		^	-1	
一般社団法人 日本腎臓学会 腎臓専門医	0.1	Д	3	人	109	~
一般社団法人 日本透析医学会 透析専門医	0.1	人	3	人	110	~
膠原病・リウマチ内科領域専門医	0		0	<u></u>	111	~
一般社団法人 日本リウマチ学会 リウマチ専門医	0.6	λ	3	,	112	~
一般社団法人 日本消化器外科学会 消化器外科専門医	0.0	f i	8	Ti	113	
		<u>^</u>		^	-1	
一般社団法人 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医	0	^	3	٨	114	~
一般社団法人 日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医	0	Д	0	人	115	~
一般社団法人 日本肝胆膵外科学会 高度技能専門医	0		1	人	116	~
一般社団法人 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医	0	λ	0	۸.	117	~
		1		,	4	
呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医	0	^	2	^	118	· ·
特定非営利活動法人 日本気管食道科学会 気管食道科専門医	0	Д	0	人	119	~
心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医	0	人	7	人	120	~
一般社団法人 日本小児外科学会 小児外科専門医	0	λ	0	,	121	~
一般社団法人 日本乳癌学会 乳腺外科専門医	0	1	0	1	122	~
		^		^	4	
一般社団法人 日本乳癌学会 乳腺専門医	0	Λ	1	人	123	~
特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医師	0	人	0	人	124	~
特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医師	0	人	0	人	125	~
公益社団法人 日本医学放射線学会 放射線診断専門医	0.14	λ	3	,	126	~
公益社団法人 日本医学放射線学会 放射線治療専門医	1	1	2	1	127	
		^			4	
一般社団法人 日本アレルギー学会 アレルギー専門医	0	Д	3	人	128	~
一般社団法人 日本感染症学会 感染症専門医	0	人	2	人	129	~
一般社団法人 日本老年医学会 老年科専門医	0	Д	0	人	130	~
公益社団法人 日本臨床腫瘍学会 腫瘍内科専門医	0	λ	0	,	131	~
一般社団法人 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	0		12	7	132	
	U	Α	12	^	-1	
特定非常利注動注入 日本版序簿返受会 がん恋物概注重照定						
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	0	Д	4	人	133	~
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医	0	Д	4	Д Д	133 134	<i>v</i>
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医		Д Д Д		Д Д Д	4	
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医	0	Д Д Д	0	Д Д	134 135	<i>V</i>
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	0 0	Д Д Д	0 3 4	Д Д Д	134 135 136	~
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医	0 0 0	Д Д Д	0 3 4 2	Д Д Д Д	134 135 136 137	\( \times \)
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医	0 0	Д Д Д Д	0 3 4	Д Д Д Д	134 135 136 137 138	<i>V</i>
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医	0 0 0	Д Д Д Д Д	0 3 4 2	Д Д Д Д Д	134 135 136 137	\( \times \)
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者	0 0 0 0	Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2	Д Д Д Д Д	134 135 136 137 138	\( \times \) \( \t
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 座科婦人科領域 技術認定取得者	0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2 0	Д Д Д Д Д	134 135 136 137 138 139	\( \times \) \( \t
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 離尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 產科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者	0 0 0 0 0 0 0	\( \) \( \)	0 3 4 2 2 0 1	Д Д Д Д Д	134 135 136 137 138 139 140	\( \times \) \( \t
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 萨科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 产科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者	0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2 0 1 1 3	\( \) \( \)	134 135 136 137 138 139 140 141	v v v v v v v v v v v v v v v v v v v
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 牌尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者	0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2 0 1 1 3	Д Д Д Д Д Д Д	134 135 136 137 138 139 140 141 142	V
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本棉尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 產科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 莲科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医	0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2 0 1 1 3	\( \) \( \)	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143	v v v v v v v v v v v v v v v v v v v
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 牌尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者	0 0 0 0 0 0 0 0	\( \) \( \)	0 3 4 2 2 0 1 1 3	Д Д Д Д Д Д Д Д	134 135 136 137 138 139 140 141 142	V
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本棉尿病学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 產科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 莲科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医	0 0 0 0 0 0 0 0 0	\( \) \( \)	0 3 4 2 2 0 1 1 3 0	Д Д Д Д Д Д Д Д Д	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
<ul> <li>一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医</li> <li>一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医</li> <li>一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医</li> <li>一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者</li> <li>中般社団法人 日本根親医療学会 緩和医療専門医</li> <li>一般社団法人 日本緩和医療学会 緩定専門医</li> <li>一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医</li> <li>一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医</li> <li>一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター</li> </ul>	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\( \) \( \)	0 3 4 2 2 0 1 1 3 0 0	\( \) \( \)	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145	V
<ul> <li>一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医</li> <li>一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医</li> <li>一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医</li> <li>一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本機和医療学会 泌尿器科領域 技術認定取得者</li> <li>特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 総定郵門医</li> <li>一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者</li> <li>一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医</li> <li>一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター</li> <li>一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医</li> <li>一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医</li> </ul>	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\( \) \( \)	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0	\( \) \( \)	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146	V
<ul> <li>一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医</li> <li>一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医</li> <li>一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医</li> <li>一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者</li> <li>中般社団法人 日本域和医療学会 緩和医療専門医</li> <li>一般社団法人 日本生殖医学会 認定専門指導者</li> <li>一般社団法人 日本生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター</li> <li>一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター</li> <li>一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医</li> <li>一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医</li> <li>一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医</li> </ul>	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0	\( \) \( \)	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147	V
-般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 -般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 -般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 -般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 -般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 -般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 -般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 -般社団法人 日本人類遺伝学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター -般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 -般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 -般社団法人 日本起音波医学会 超音波専門医	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A       B       B <t< td=""><td>134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149</td><td>  V</td></t<>	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149	V
<ul> <li>一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医</li> <li>一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医</li> <li>一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医</li> <li>一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者</li> <li>中般社団法人 日本域和医療学会 緩和医療専門医</li> <li>一般社団法人 日本生殖医学会 認定専門指導者</li> <li>一般社団法人 日本生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター</li> <li>一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター</li> <li>一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医</li> <li>一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医</li> <li>一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医</li> </ul>	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0	\( \) \( \)	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147	V
-般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 -般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 -般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 -般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 -般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 -般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 -般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 -般社団法人 日本人類遺伝学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター -般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 -般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 -般社団法人 日本起音波医学会 超音波専門医	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	\( \) \( \)	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149	V
-般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 -般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 -般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 -般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 -般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 -般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 -般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 -般社団法人 日本人類遺伝学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター -般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 -般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 -般社団法人 日本起音波医学会 超音波専門医	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A         B         B <td< th=""><th>134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150</th><th>  V</th></td<>	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150	V
<ul> <li>一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医</li> <li>一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医</li> <li>一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医</li> <li>一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本展和医療学会 緩和医療専門医</li> <li>一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者</li> <li>一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医</li> <li>一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医</li> <li>一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医</li> <li>一般社団法人 日本超音波医学会 回腔外科専門医(医師)</li> <li>一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師)</li> <li>歯科医師</li> </ul>	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д Д Д Д Д Д Д Д	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152	V
-般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 -般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 -般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 -般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 -般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 級和医療専門医 -般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 -般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 -般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター -般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター -般社団法人 日本がら、生殖医療学会 認定がら、生殖医療ナビゲーター -般社団法人 日本の授外科学会 口腔外科専門医(医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 2 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A       B       B <t< td=""><td>134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153</td><td>  V</td></t<>	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153	V
<ul> <li>一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医</li> <li>一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医</li> <li>一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医</li> <li>一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者</li> <li>一般社団法人 日本展和医療学会 緩和医療専門医</li> <li>一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者</li> <li>一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医</li> <li>一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医</li> <li>一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医</li> <li>一般社団法人 日本超音波医学会 回腔外科専門医(医師)</li> <li>一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師)</li> <li>歯科医師</li> </ul>	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 2 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A         B         B <td< td=""><td>134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154</td><td>  V</td></td<>	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154	V
-般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 -般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 -般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 -般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 -般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 -般社団法人 日本生殖医学会 起定専門医 -般社団法人 日本上殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター -般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 -般社団法人 日本人類遺伝学会 超テッドの -般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本超音波医学会 口腔外科専門医(医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 2 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A         B         B <td< td=""><td>134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155</td><td>  V</td></td<>	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155	V
-般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 -般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 -般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 -般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 -般社団法人 日本本疑性学会 認定専門塔 -般社団法人 日本本がか・生殖医療学会 認定がか・生殖医療ナビゲーター -般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 -般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 -般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 -般社団法人 日本超音波医学会 口腔外科専門医(医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 2 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A         B         B <td< td=""><td>134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 150 151 152 153 154 155 156</td><td>  V</td></td<>	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 150 151 152 153 154 155 156	V
-般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 -般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 -般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 -般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 -般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 -般社団法人 日本生殖医学会 起定専門医 -般社団法人 日本生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター -般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター -般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター -般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 -般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 2 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д Д Д Д Д Д Д Д	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155	V
-般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 -般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 -般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 -般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 -般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 -般社団法人 日本本疑性学会 認定専門塔 -般社団法人 日本本がか・生殖医療学会 認定がか・生殖医療ナビゲーター -般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 -般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 -般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 -般社団法人 日本超音波医学会 口腔外科専門医(医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д Д Д Д Д Д Д Д Д Д	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A         B         B         B         B         B         B         B         B         B         B         B         B         B         B         B         B         B         B <td< td=""><td>134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 150 151 152 153 154 155 156</td><td>  V</td></td<>	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 150 151 152 153 154 155 156	V
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本開職学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 游尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本機和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本の腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) ・一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) ・一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) ・一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) ・「一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157	V
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本線和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本が・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がら、生殖医療学会 認定がら、生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がら、生殖医療学会 認定がら、生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本月類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本周壁外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師)  「動料医師 公益社団法人 日本同理外科学会 口腔外科専門医(歯科医師) ・一般社団法人 日本同理外科学会 口腔外科専門医(歯科医師) ・一般社団法人 日本同理外科学会 口腔病理専門医(歯科医師) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159	V
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 認定すがん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本月類遺伝学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 「一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 「一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 「一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 「一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 「本語理解門看護師	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160	V
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本川化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本大類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 超音波専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 一般社団法人 日本大野遺伝学会 四腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 看護師(公益社団法人日本有護協会認定) がん看護専門看護師 精神看護専門看護師 精神看護専門看護師 地域看護専門看護師 地域看護専門看護師 急性・重症患者看護専門看護師	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 140 141 142 143 144 145 146 147 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161	V
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本上殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本超音波医学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 「一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) な益社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 看護師(公益社団法人日本看護協会認定) がん看護専門看護師 精神看護専門看護師 地域看護専門看護師 急性・重症患者看護専門看護師 急性・重症患者看護専門看護師 急性・重症患者看護専門看護師	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 140 141 142 143 144 145 150 151 152 153 155 156 157 158 159 160 161 162	V
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本川化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本大類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 超音波専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 一般社団法人 日本大野遺伝学会 四腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 看護師(公益社団法人日本有護協会認定) がん看護専門看護師 精神看護専門看護師 精神看護専門看護師 地域看護専門看護師 地域看護専門看護師 急性・重症患者看護専門看護師	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 140 141 142 143 144 145 146 147 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161	V
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 済化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本上殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本超音波医学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 「一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) な益社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 看護師(公益社団法人日本看護協会認定) がん看護専門看護師 精神看護専門看護師 地域看護専門看護師 急性・重症患者看護専門看護師 急性・重症患者看護専門看護師 急性・重症患者看護専門看護師	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 140 141 142 143 144 145 150 151 152 153 155 156 157 158 159 160 161 162	V
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本機和医療学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 超音波専門医 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本の腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 「一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) ・一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) ・一般社団法人 日本清護協会認定) がん看護専門看護師 精神看護専門看護師 急性・重症患者看護専門看護師 ・会任・重症患者看護専門看護師 家族支援専門看護師 家族支援専門看護師 家族支援専門看護師 家族支援専門看護師 家族支援専門看護師 家族支援専門看護師	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163	
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 神尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がり・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がい・生殖医療学会 超音波専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本月類遺伝学会 ロ腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) ・一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) ・一般社団法人 日本電護・門看護師 本社看護専門看護師 地域看護専門看護師 忠性・重症患者看護専門看護師 忠性・重症患者看護専門看護師 忠性・重症患者看護専門看護師 高性・重症患者看護専門看護師 高性・重症患者看護専門看護師 高性・重症患者看護専門看護師 高性・重症患者看護専門看護師	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 160 161 162 163 164 165	
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本月化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 座科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 产級保護等等 (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 160 161 162 163 164 165 166	
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 糖尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 摩吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 产級不動領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 淡尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本規管等会 認定専門語 一般社団法人 日本素煙学会 認定専門医 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療サビゲーター 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療サビゲーター 一般社団法人 日本がりを殖力で会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本和音波医学会 超音波専門医(医師) 一般社団法人 日本和音波医学会 四腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師)  「大田」、日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師)  「大田」、 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師)  「大田」、 日本病理等の 「大田」、 日本病理学の 「大田」、 日本語の 「大田」、 日本語の 「大田」、 日本語の 「大田」、 日本語の 「大田」、 日本語の 「大田」、 日本病理学の 「大田」、 日本語の	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 140 141 142 143 144 145 150 151 152 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167	
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 確尿病専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 適化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本線和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 尼定専門階導者 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本本規遺伝学会 臨床遺序門医 一般社団法人 日本和慶外科学会 口腔病理専門医 公益社団法人 日本和腔外科学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師)  「大田法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師)  「大田法」人 日本病理学会 口腔外科専門医(歯科医師)  「大田法」人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師)  「大田法」人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師)  「大田法」人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師)  「大田法」人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師)  「大田法」人 日本統定 中語 (意味)  「大田法」人 日本統定 (本述)  「大田法」人 日本統定 (本述)  「大田法」人 (本述)  「大	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168	
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本和視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 产級外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 道化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 淡尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本本極医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 超音波専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 超音波専門医 公益社団法人 日本人類遺伝学会 四腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 看護師(公益社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 若護専門看護師 精神看護専門看護師 本人看護専門看護師 恋染症看護専門看護師 恋朱症看護専門看護師 恋朱症看護専門看護師 恋朱症看護専門看護師 亦大身養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169	
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本内の必学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内の多性会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 滅不器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本線和医療学会 緩和医療専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 足重専門指導者 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本がん・生殖医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本和選音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本和音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本和音波医学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師)  -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師)  - 解社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師)  - 解社同法人 日本病理学会 口腔外科専門医(歯科医師)  - 解社同法人 日本経療 理学会 記述専門医(歯科医師)  - 解社同法人 日本病理学会 口腔外科専門医(歯科医師)  - 解社同法人 日本統定等 理事所を(歯科医師)  - 解社の法人 日本統定等 理事所を(歯科医師)  - 解社の法人 日本統定等 理事所を(歯科医師)  - 解析を(力・体験・発展・表述・表述・表述・表述・表述・表述・表述・表述・表述・表述・表述・表述・表述・	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168	
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本海化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本和視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 道化器・一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩配度療専門医 一般社団法人 日本基征医学会 起定専門海者 一般社団法人 日本基征医学会 起定専門医 一般社団法人 日本上類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本上類遺伝学会 臨床遺伝専門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 超床玻璃門医 一般社団法人 日本人類遺伝学会 四腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本人類遺伝学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本調理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) 看護師(公益社団法人日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 者護専門看護師 精神看護専門看護師 素体全種護専門看護師 憲朱症看護専門看護師 恋妹在看護専門看護師 恋妹在看護専門看護師 本人看護専門看護師 本人看護専門看護師 本人看護専門看護師 変体を看護専門看護師 変体を看護専門看護師 変体を看護専門看護師 変体を看護専門看護師 またはがん性疾痛看護認定看護師 または 集中ケア認定看護師 カリティカルケア認定看護師 または がん性疼痛看護認定看護師	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169	
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内で発生会 特別科育門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 神吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 海水器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 海水器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 認定事門海 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門医 一般社団法人 日本がル生殖医学会 超声専門医 一般社団法人 日本がル生殖医学会 認定がい・生殖医療・丁ゲーター 一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本の一般社団法人 日本原学会 超音波専門医 公益社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医 公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本有理学会 口腔病理専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 一般社団法人 日本有護師 公益社団法人 日本有護協会認定) がい看護専門看護師 または お生産患者看護専門看護師 念性・重症患者看護専門看護師 または がい性疼痛看護認定看護師 または 集中ケア認定看護師 または がい性疼痛看護認定看護師 または がいたりまる または 紫田 または 紫田 または 紫田 または 紫田 または 水田 素田 護認定看護師 または がいたり 表書護認定看護師 または 新田 素語認定看護師 または がいたり 表書護認定看護師 または がいたり 表書護認定看護師 または がいたり 表書護認定看護師 または あいたり 素書護認定看護師 または あいたり 表書護認定看護師 または またしま がいたり 表書護認定看護師 または またしま がいたり 表書護認定看護師 または あいたり 表書 表述認定者 表述記 またしま またしま がいたり またしま がいたり 表書 表述記述 またしま またしま がいたり 表述記述 またしまたしまたしまた。 またしまたり またり またしまたり またり またり またり またり またり またり またり またり またり	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 168 169 170	
一般社団法人 日本内分泌外科学会 内分泌外科専門医 一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医 一般社団法人 日本海化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医 一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 产程療力 海線 大衛 認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 海北縣市一般外科領域 技術認定取得者 一般社団法人 日本内視鏡外科学会 海尾線専門医 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門指導者 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門店 一般社団法人 日本禁煙学会 認定事門指導者 一般社団法人 日本禁煙学会 認定専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医 一般社団法人 日本生殖医学会 塩産液専門医 一般社団法人 日本生育医療学会 認定がん・生殖医療ナビゲーター 一般社団法人 日本内視鏡体学会 認定がの・生殖医療・アビゲーター 一般社団法人 日本人類遺伝学会 超音波専門医 公益社団法人 日本内理外科学会 口腔外科専門医(医師) 一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(医師) -般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) 本社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医(歯科医師) -般社団法人 日本病理等分 に病理等所 医(歯科医師) - 一般社団法人 日本病理 等節 または 水急看護認定看護師 または 集中ケア認定看護師 または 水の代疼痛看護認定看護師 または 集中ケア認定看護師 または 東中ケア認定看護師 または 非中ケア認定看護師 または 非中ケア認定看護師 または 非中ケア認定看護師 または 新の人業物療法看護認定看護師 または 非中ケア認定看護師 または まには 非中ケア認定看護師 または 計問看護認定看護師 または 集中ケア認定看護師 または 計問看護認定看護師 または 非中ケア認定看護師 または まには 非中ケア認定看護師 または 計問看護認定看護師 または まには 素質認定看護師 または まには 素質認定看護師 または まには まには まにな 集神ケア認定看護師 または 計問看護認定看護師 または 計画看護認定看護師 または 計画看護認定看護師 または 計画看護認定看護師 または 計画看護認定看護師 または または 計画看護認定看護師 または	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	0 3 4 2 2 0 0 1 1 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Д	134 135 136 137 138 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 170 170 170 170 170 170 170	

		0	į.			3	,	4	74	_
_ 悠栄官理認定有護師 - 手術看護認定看護師		0	Д Д			2	<u>^</u>		74 75	~
乳癌看護認定看護師		0	人			1	人	1	76	~
- 認知症看護認定看護師 		0	<u> </u>			1	人		77	
がん放射線療法看護認定看護師		0	۸			1	Λ		78 79	
③その他専門的技術・知識を有する医療従事者		非常勤	des			常勤			80	
一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定	薬剤師	※(常勤換)	<sup>算)</sup> 人			2	J.		81 82	
一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師	жлэн	0.2	Λ A			3	Д Д		83	· /
一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬		0	<u>ل</u>			1	人 ·		84	
<ul><li>一般社団法人 日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定 特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構</li></ul>		0.8	^			3	λ		85	~
検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	7	0	٨			15	人	1	86	~
放射線治療品質管理機構放射線治療品質管理士	88 +L 61 46 ++ 6T	0.1	<u>۸</u>			2	人		87	
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専 一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士	門放射線技師	0.1 0.1	<u> </u>			4 5	λ ,		88 89	
公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士		0.9	Д Д			9	Λ 人		90	~
一般社団法人日本人類遺伝学会及び日本遺伝カウンセリング等		0	<u>ل</u>			0	<b>Д</b>		91	~
一般社団法人日本家族性腫瘍学会 家族性腫瘍カウンセー 一般社団法人 日本病態栄養学会/	フー	0	^			0	٨		92	
公益社団法人 日本栄養士会 がん病態栄養専門管理栄	養士	0	٨			1	人	1	93	~
四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士		0	<u>۸</u>			12	人		94	<u> </u>
一般社団法人 日本生殖心理学会 がん・生殖医療専門心	<b>〉</b> 埋工	0	人			0	٨		95 96	
<b>①その他の従事者</b>							_		97	
診療録管理部門の職員		0.5	<u>ل</u> ا		<u> </u>	3	<u></u>		98	V
公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会 臨床心理: 臨床試験コーディネーター	I	0.8	Д Д			5	Д		99	<u> </u>
その他		U	ı, ,				1.,		01	
夜間(深夜も含む)救急対応の可否			·	•		可	(可/否)		02	V
②各種委員会の設置状況 倫理審査委員会	あり	(あり/な	1) 4	車 12	同開催(期門	· 会和5年1	月1日~12月3		03 04	
治験審査委員会		(あり/な		年 12 年 10			月1日~12月3 月1日~12月3		05	
医療安全委員会	あり	(あり/な	L) 4	車 12	回開催(期間	: 令和5年1	月1日~12月3	1日) 2	06	~
感染管理委員会	あり	(あり/な	L) f	年 12	回開催(期間	:令和5年1	月1日~12月3		07 08	~
患者数・診療件数の状況									08 09	
D 患者数等(期間:令和5年1月1日~12月31日)							_		10	
						21508	人		11	~
年間入院患者延べ数※1						6111	人	2	12	~
年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2						_	0/	0	10	
年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合						28.4	% 人		13 14	
年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療	こと。 寮、健康診断、人	、間ドック等を行い	、診療銀	の作成または	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追	% Д. Д.	2 2	13 14 15	<i>V</i>
年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・ ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来 加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者:	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療	こと。 寮、健康診断、人	、間ドック等を行い	、診療銀	の作成または	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追	人	2 2 2 2 2	14 15	
年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断、 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来 加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が 合、それぞれの外来患者として計上する。	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、	こと。 寮、健康診断、人	、間ドック等を行い	、診療銀	の作成または	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追	人	2 2 2 2 2 2 2 2	14 15 16 17 18 19	
年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断、※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、	こと。 寮、健康診断、人	、間ドック等を行い	、診療銀	の作成または	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追 を行った場	A A	2 2 2 2 2 2 2 2 2	14 15 16 17 18 19 20	
年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断、 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来 加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が 合、それぞれの外来患者として計上する。	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、	こと。 寮、健康診断、人	、間ドック等を行い	、診療銀	の作成または	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追	人	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	14 15 16 17 18 19	V
年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来 加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が 合、それぞれの外来患者として計上する。	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、	こと。 寮、健康診断、人	、間ドック等を行い	、診療銀	の作成または	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追 を行った場	人 人	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	14	V
年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者で数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、	こと。 寮、健康診断、人	、間ドック等を行い	、診療銀	の作成または	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追 を行った場	人 人 人	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	14	V V
年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断、※3 年間外来がん患者を必数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者なったが心患者の延べ数を記入する。同一患者なったが心患者の延べ数を記入する。同一患者なったが心患者の延べ数を記入する。同一患者ない。 2 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理組織診断 病理組織迅速組織顕微鏡検査	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、	こと。 寮、健康診断、人	、間ドック等を行い	、診療銀	の作成または	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追 を行った場	人 人 人	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	14	V V
年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来 加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が 合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理組織診断 病理組織迅速組織顕微鏡検査 グループ指定について 〕地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定先の医療機	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、 日)	ごと。 療、健康診断、人 それぞれの診 が が が が が が が が が が が が が	間ドック等を行い 療科で診療録の作	、診療参算を でんまた でんまん でんしょく こく	Rの作成またはは記載の追加 は記載の追加	28.4 148758 446 計上する。 ま記載の追 を行った場 12399 16255 432	件件件件	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	14	V V V
年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断、 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が 合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理細胞診断 病理細胞診断 病理組織迅速組織顕微鏡検査	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、 日)	ごと。 療、健康診断、人 それぞれの診 が が が が が が が が が が が が が	間ドック等を行い 療科で診療録の作	、診療参算を でんまた でんまん でんしょく こく	Rの作成またはは記載の追加 は記載の追加	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追答行った場 12399 16255 432	件件件件	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	14	v v
年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に当めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・ ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の近べ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織が強強を	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、 日)	ごと。 療、健康診断、人 それぞれの診 が が が が が が が が が が が が が	間ドック等を行い 療科で診療録の作	、診療参算を でんまた でんまん でんしょく こく	Rの作成またはは記載の追加 は記載の追加	28.4 148758 446 計上する。 ま記載の追 を行った場 12399 16255 432	件件件件	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	14	V V V
年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に当めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者びべ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織でがループ指定について 〕地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、 日)	こと。 原、健康診断、人 を それぞれの診 で が 指定を受けて で が 場合は、新旧同 で が で が で で で が で で で で で で で で で で で で で	間ドック等を行い 療科で診療録の化 いない場合、「指 あ方のグループ指	に 定なし」。 定なし」。 定なし」。	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 ご記入する 養機関名	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追 を行った場 12399 16255 432	人 人 件 件 件 (はい/いいえ)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	114	V V V V V
年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に当めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・ ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の近へ数を記入する。同一患者方合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織過速組織顕微鏡検査 グループ指定について 〕地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの経療にとった。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、 日)	こと。 原、健康診断、人 を それぞれの診 で が 指定を受けて で が 場合は、新旧同 で が で が で で で が で で で で で で で で で で で で で	間ドック等を行い 療科で診療録の化 いない場合、「指 あ方のグループ指	に 定なし」。 定なし」。 定なし」。	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 ご記入する 養機関名	28.4 148758 446 計上する。 ま記載の追 を行った場 12399 16255 432	人 人 件 件 件 (はい/いいえ)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	14   15   16   17   18   19   20   21   22   22   22   25   26   27   27   27   27   27   27   27	\( \times \)
年間入院患者延べ数※1 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に当めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に終定がの患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理細胞診断病理細胞診断病理細胞診断病理組織迅速組織顕微鏡検査 グループ指定について 〕地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定先の医療機こと。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定を受けている。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 「グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 「グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、 日)	こと。 原、健康診断、人 を それぞれの診 で が 指定を受けて で が 場合は、新旧同 で が で が で で で が で で で で で で で で で で で で で	間ドック等を行い 療科で診療録の化 いない場合、「指 あ方のグループ指	に 定なし」。 定なし」。 定なし」。	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 ご記入する 養機関名	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追 を行った場 12399 16255 432	人 人 件 件 件 (はい/いいえ)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	114	V V V V V
年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に当めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・ ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の近へ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断病理組織診断病理組織迅速組織顕微鏡検査 グループ指定について 〕地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定先の医療構こと。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定をの組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの組み合を記入すること。	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、 日)	こと。 原、健康診断、人 を それぞれの診 で が 指定を受けて で が 場合は、新旧同 で が で が で で で が で で で で で で で で で で で で で	間ドック等を行い 療科で診療録の化 いない場合、「指 あ方のグループ指	に 定なし」。 定なし」。 定なし」。	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 ご記入する 養機関名	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追 を行った場 12399 16255 432	人 人 件 件 件 (はい/いいえ)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	114	V V V V V
年間入院がの患者延べ数※2 年間入院がの患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に当めるがん患者の割合 年間外来がん患者至べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・ ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の近へ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理組織診断 病理組織過速組織顕微鏡検査 グループ指定について ②地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの医療機こと。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合を記入すること。	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、 日) 世別のでは、グルー で変更される予定がある。 世別のでである。 世別のでな。 世別のである。 世別ので。 世別のでな。 世別のでな。 世別のでな。 世別のでな。 世別のでな。 世別のでな。 世別のでな。 世別のでな	こと。 集、健康診断、人 を でれぞれの診 である。 では、 が指定を受けて であるは、 が指定を受けて であるは、 がお合は、 新旧で	間ドック等を行い 療科で診療録のイ いない場合、「指 両方のグループ指 いない場合、「指 両方のグループ指	定定な先 定定な先 定定な先	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 ご記入する 養機関名	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追 を行った場 12399 16255 432	人 人 件 件 件 (はい/いいえ)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	114	V V V V V
年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に当めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・ ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の近へ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断病理組織診断病理組織迅速組織顕微鏡検査 グループ指定について 〕地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定先の医療構こと。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定をの組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの組み合を記入すること。	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、 日) 日) 機関名を記入すること。グルー おわせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー おしせが変更される予定がある	こと。 集、健康診断、人 を でれぞれの診 である。 では、 が指定を受けて であるは、 が指定を受けて であるは、 がお合は、 新旧で	間ドック等を行い 療科で診療録のイ いない場合、「指 両方のグループ指 いない場合、「指 両方のグループ指	定定な先 定定な先 定定な先	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 に記入する を機関名	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追 を行った場 12399 16255 432	人 人 件 件 件 (はい/いいえ)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	114	V V V V V
年間入院がの患者延べ数※1 年間入院がの患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に当めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・ ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織認速組織顕微鏡検査  グルーブ指定について ①地域がん診療病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定をの組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定を受けている。 を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定を受けている。  「大腸がんら肺がん・間がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が大腸がん・肺がん・間がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が大腸がん・肺がん・間がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が大腸がん・同がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が大腸腫手術 K7193、K739\$、K740\$	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、 日) 日) 機関名を記入すること。グルー おわせが変更される予定がある 機関名を記入すること。グルー おしせが変更される予定がある	こと。 集、健康診断、人 を でれぞれの診 である。 では、 が指定を受けて であるは、 が指定を受けて であるは、 がお合は、 新旧で	間ドック等を行い 療科で診療録のイ いない場合、「指 両方のグループ指 いない場合、「指 両方のグループ指	定定な先 定定な先 定定な先	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 に記入する を機関名	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追 12399 16255 432 しいえ 指定なし しいえ 指定なし	件 件 件 (はい/いえ)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	114	V V V V V V
年間入院がん患者延べ数※2 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・ ※3 年間外来がん患者を変し、当年の新来、再来加を行ったがん患者の変に、当年の新来、再来加を行ったがん患者の近へ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理組織診断 病理組織診断 病理組織診断 病理組織逐動所 病理組織でグループ指定を受けている。 グループ指定について 〕地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの医療構こと。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定をの組み合を記入すること。 ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの組み合を記入すること。 ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定をの組み合を記入すること。 ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定をの組み合を記入すること。 ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定の組み合を記入すること。  ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。  グループ格定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。  ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。  グルーが指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。  ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。  グルーが指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。  ② がん診療連携拠点病院とグループ指定の組み合を記入すること。  各治療の状況について  「横襲を横下側がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・乳をいりの1.1、D01.2)の1.1  「関腹手術 K7193、K7393、K7405  「腹腔鏡下手術 K719-3、K740-2\$	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、  日)  日)  機関名を記入すること。グルー わせが変更される予定がある  機関名を記入すること。グルー わせが変更される予定がある	こと。 集、健康診断、人 を でれぞれの診 である。 では、 が指定を受けて であるは、 が指定を受けて であるは、 がお合は、 新旧で	間ドック等を行い 療科で診療録のイ いない場合、「指 両方のグループ指 いない場合、「指 両方のグループ指	定定な先 定定な先 定定な先	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 に記入する を機関名	28.4 148758 446 計上する。 ま記載の追答行った場 12399 16255 432 しいいえ 指定なし いいえ 指定なし	件	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	114	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
年間入院がん患者延べ数※2 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に当めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に3 年間内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・ ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の近へ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理組織診断 病理組織診断 病理組織過診断 病理組織過速組織顕微鏡検査 グループ指定について ② 地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの医療構こと。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合を記入すること。 ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 3 方、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合を記入すること。 各治療の状況について 下術等の状況  大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肝胆膵がん・肝胆膵がん・肝胆膵がん・肝胆膵がん・肝胆膵がん・肝胆膵がん・肝胆臓がん・肝胆臓がん・肝胆臓がん・肝胆臓がん・肝胆臓がん・肝胆臓がん・肝胆臓がん・肝胆臓がん・肝胆臓がん・肝胆臓がん・肝胆臓がん・肝胆臓がん・肝胆臓がん・肝胆臓がん・肝胆臓があり、では、アルース・アルース・アルース・アルース・アルース・アルース・アルース・アルース・	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、  日)  日)  機関名を記入すること。グルー わせが変更される予定がある  機関名を記入すること。グルー わせが変更される予定がある	こと。 集、健康診断、人 を でれぞれの診 である。 では、 が指定を受けて であるは、 が指定を受けて であるは、 がお合は、 新旧で	間ドック等を行い 療科で診療録のイ いない場合、「指 両方のグループ指 いない場合、「指 両方のグループ指	定定な先 定定な先 定定な先	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 に記入する を機関名	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追 12399 16255 432 しいえ 指定なし しいえ 指定なし	件 件 件 (はい/いいえ) (はい/いいえ)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	114	V V V V V V
年間入院がん患者延べ数※2 年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数※3 年間内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・ ※3 年間外来がん患者を変し、当年の新来、再来加を行ったがん患者の変に、当年の新来、再来加を行ったがん患者の近へ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理組織診断 病理組織診断 病理組織診断 病理組織逐動所 病理組織でグループ指定を受けている。 グループ指定について 〕地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの医療構こと。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定をの組み合を記入すること。 ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの組み合を記入すること。 ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定をの組み合を記入すること。 ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定をの組み合を記入すること。 ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定の組み合を記入すること。  ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。  グループ格定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。  ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。  グルーが指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。  ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。  グルーが指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。  ② がん診療連携拠点病院とグループ指定の組み合を記入すること。  各治療の状況について  「横襲を横下側がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・乳をいりの1.1、D01.2)の1.1  「関腹手術 K7193、K7393、K7405  「腹腔鏡下手術 K719-3、K740-2\$	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、  日)  日)  機関名を記入すること。グルー わせが変更される予定がある  機関名を記入すること。グルー わせが変更される予定がある	こと。 集、健康診断、人 を でれぞれの診 である。 では、 が指定を受けて であるは、 が指定を受けて であるは、 がお合は、 新旧で	間ドック等を行い 療科で診療録のイ いない場合、「指 両方のグループ指 いない場合、「指 両方のグループ指	定定な先 定定な先 定定な先	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 に記入する を機関名	28.4 148758 446 計上する。 ま記載の追 を行った場 12399 16255 432 しいえ 指定なし しいえ 指定なし 59 57 23	件	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	114	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
年間入院がの患者延べ数※1 年間入院がの患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がの患者延べ数に当めるがん患者の割合 年間外来がの患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・ ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断方時について ②かん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定免の経療性こと。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定をの組み合を記入すること。 ②かん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの組み合を記入すること。 ②かん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの組み合を記入すること。 ②かん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がんにある場合に対していて手術等の状況について手術等の状況について手術等の状況。 大腸がん、肺がん、胃がん、乳がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が大腸がん、193、K739\$、K740\$ 腹腔鏡下手術 K7193、K739-3、K740-2\$ うち、内視鏡手術 K7193、K731-3、K740-28 前がん、(C34\$、D02.2)の手術件数開胸手術 K511\$、K514\$、K518\$	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、  日)  日)  機関名を記入すること。グルー わせが変更される予定がある  機関名を記入すること。グルー わせが変更される予定がある	こと。 集、健康診断、人 を でれぞれの診 である。 では、 が指定を受けて であるは、 が指定を受けて であるは、 がお合は、 新旧で	間ドック等を行い 療科で診療録のイ いない場合、「指 両方のグループ指 いない場合、「指 両方のグループ指	た を 定定な た 定定 た に た に た に た に た に た に た に た に に に に に に に に に に に に に	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 に記入する を機関名	28.4 148758 446 計上する。 ま記載の追 12399 16255 432 しいえ 指定なし しいえ 指定なし いいえ 12399 16257 23 202	件 件 件 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	114	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に3 年間内院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・ ※3 年間外来がん患者が数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の変と記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織迅速組織顕微鏡検査 グループ指定について 〕地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 が、一方指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 が、一方指定の組み合を記入すること。  本語の状況 「大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん(に18\$、C19、C20、D01.0、D01.1、D01.2)の説 関腹手術 ド7193、ド739\$、ド7405 腹腔鏡下手術 ド7193、ド739、ド740-2\$ うち、内視鏡手術 ド719、、「大879-2、「大739-3 肺がん(C34\$、D02.2)の手術件数 関胸手術 ド511\$、「大514\$、「大51	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、  日)	こと。 集、健康診断、人 を でれぞれの診 である。 では、 が指定を受けて であるは、 が指定を受けて であるは、 がお合は、 新旧で	間ドック等を行い 療科で診療録のイ いない場合、「指 両方のグループ指 いない場合、「指 両方のグループ指	た を 定定な た 定定 た に た に た に た に た に た に た に た に に に に に に に に に に に に に	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 に記入する を機関名	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追 12399 16255 432 しいえ 指定なし しいえ 指定なし 18239 16255 1825 1832	件 件 件 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	114	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
年間入院がの患者延べ数※1 年間入院がの患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がの患者延べ数に当めるがん患者の割合 年間外来がの患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・ ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断方時について ②かん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定免の経療性こと。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定をの組み合を記入すること。 ②かん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの組み合を記入すること。 ②かん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの組み合を記入すること。 ②かん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定を受けている。 がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がんにある場合に対していて手術等の状況について手術等の状況について手術等の状況。 大腸がん、肺がん、胃がん、乳がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が大腸がん、193、K739\$、K740\$ 腹腔鏡下手術 K7193、K739-3、K740-2\$ うち、内視鏡手術 K7193、K731-3、K740-28 前がん、(C34\$、D02.2)の手術件数開胸手術 K511\$、K514\$、K518\$	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、  日)	こと。 集、健康診断、人 を でれぞれの診 である。 では、 が指定を受けて であるは、 が指定を受けて であるは、 がお合は、 新旧で	間ドック等を行い 療科で診療録のイ いない場合、「指 両方のグループ指 いない場合、「指 両方のグループ指	た を 定定な た 定定 た に た に た に た に た に た に た に た に に に に に に に に に に に に に	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 に記入する を機関名	28.4 148758 446 計上する。 ま記載の追 12399 16255 432 しいえ 指定なし しいえ 指定なし いいえ 12399 16257 23 202	件 件 件 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	114	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に当めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に3 年間内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合に ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・ ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の近へ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断病理組織過速組織顕微鏡検査 グループ指定について 〕地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定をのにている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定の組み合を記入すること。  グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。  ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がんにかいの場所とグループ指定の組み合を記入すること。  本語の状況について 「大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・削止がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・で38、C19、C20、D01.0、D01.1、D01.2)の可臓等手術 K719-3、K740-28 「対験手術 K719-3、K721-4、K739-2、K739-3 肺がん(C34\$、D02.2) の手術件数 関胸等術 K511\$、K514\$、K518\$  胸腔鏡下手術 K514-2\$ 「うち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの(ロボ	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、  日)	こと。 集、健康診断、人 を でれぞれの診 である。 では、 が指定を受けて であるは、 が指定を受けて であるは、 がお合は、 新旧で	間ドック等を行い 療科で診療録のイ いない場合、「指 両方のグループ指 いない場合、「指 両方のグループ指	た を 定定な た 定定 た に た に た に た に た に た に た に た に に に に に に に に に に に に に	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 に記入する を機関名	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追 12399 16255 432 しいえ 指定なし しいえ 指定なし 18239 16255 1825 1832	件 件件 件件 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	114	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に3 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者の延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織過速組織顕微鏡検査 グループ指定について )地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定免の経療を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの経療権こと。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がんにの場所を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ③がんに前がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・乳がん・乳がん・乳がん・乳がん・乳がん・乳がん・乳がん・乳がん・乳	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、  日)  ・ 関関名を記入すること。グルー の力せが変更される予定がある  ・ 機関名を記入すること。グルー の力せが変更される予定がある  ・ 大のに関する悪性腫瘍の手術作 手術件数  ・ ボット支援手術)	こと。 集、健康診断、人 それぞれの診 で が指定を受けて で が場合は、新旧司 で が場合は、新旧司 で は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に に は に に に に に に に に に に に に に	間ドック等を行い 原科で診療録の化 いない場合、「指 両方のグループ指 いない場合、「指指 ロカカのグループ指	療動を 変えた 定定 定定 た に に に に に に に に に に に に に	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 に記入する を機関名	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追称を行った場 12399 16255 432 しいいえ 指定なし しいいえ 指定なし いいえ 1329 16255 432 1132 202 18 113 20 26 25	件 件件 件件 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	114	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
年間入院患者延べ数※1 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・ ※3 年間外来がん患者が、数を記入する。同一患者が 合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理組織診断 病理組織診断 病理組織診断 病理組織過速組織顕微鏡検査 グループ指定について 〕地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定をついて 〕地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定をのはのよるなお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定の組み合を記入すること。 ③がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定の組み合を記入すること。 ③がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。  ③がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がルの側の場所を受けている場合、がループ指定を受けている場合、がループ指定の組み合を記入すること。  本記、ない、第一部に対して、第一部に対し、第一語に対して、第一語に対し、第一語に対して、第一語に対して、第一語に対し、第一語に対し、第一語に対し、第一語に対し、第一語に対し、第一語に対し、第一語に対し、第一語に対し、第一語に対し、第一語に対し、第一語に対し、第一語に対し、第一語に対し、第一語に対し、第一語に対し、第一語に対し、第一	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、  日)  ・ 関関名を記入すること。グルー の力せが変更される予定がある  ・ 機関名を記入すること。グルー の力せが変更される予定がある  ・ 大のに関する悪性腫瘍の手術作 手術件数  ・ ボット支援手術)	こと。 集、健康診断、人 それぞれの診 で が指定を受けて で が場合は、新旧司 で が場合は、新旧司 で は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に に は に に に に に に に に に に に に に	間ドック等を行い 原科で診療録の化 いない場合、「指 両方のグループ指 いない場合、「指指 ロカカのグループ指	療動を 変えた 定定 定定 た に に に に に に に に に に に に に	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 に記入する を機関名	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追 12399 16255 432 しいえ 指定なし しいえ 指定なし 18 59 57 23 202 18 113 20	件 件 件 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	14	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に3 年間外来がん患者延べ数※3 年間院内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者の延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織診断病理組織過速組織顕微鏡検査 グループ指定について )地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定免の経療を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの経療権こと。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がんにの場所を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 ③がんに前がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・乳がん・乳がん・乳がん・乳がん・乳がん・乳がん・乳がん・乳がん・乳	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、  日)  ・ 関関名を記入すること。グルー の力せが変更される予定がある  ・ 機関名を記入すること。グルー の力せが変更される予定がある  ・ 大のに関する悪性腫瘍の手術作 手術件数  ・ ボット支援手術)	こと。 集、健康診断、人 それぞれの診 で が指定を受けて で が場合は、新旧司 で が場合は、新旧司 で は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に に は に に に に に に に に に に に に に	間ドック等を行い 原科で診療録の化 いない場合、「指 両方のグループ指 いない場合、「指指 ロカカのグループ指	療動を 変えた 定定 定定 た に に に に に に に に に に に に に	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 に記入する を機関名	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追称を行った場 12399 16255 432 しいいえ 指定なし しいいえ 指定なし いいえ 1329 16255 432 1132 202 18 113 20 26 25	件 件件 件件 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	114	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に当めるがん患者の割合 年間外来がん患者が※3 年間内死亡がん患者数 ※1 例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断・ ※3 年間外来がん患者を変して、数を記入する。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理診断の件数 (期間:令和5年1月1日~12月31 病理組織診断 病理組織診断 病理組織診断 病理組織診断 病理組織が必診療病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定について 〕地域がん診療病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定を受けている場合、グルーブ指定の組み合を記入すること。 ②がん診療連携拠点病院とグルーブ指定を受けている。 グルーブ指定をのとが、令和7年4月1日時点でグルーブ指定の組み合を記入すること。 ②がんが心において手術等の状況  大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・肺がん・3、7、19、3、18、19、19、18、19、19、19、19、19、19、19、19、19、19、19、19、19、	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、  日)  日)  機関名を記入すること。グルー の力せが変更される予定がある  機関名を記入すること。グルー の力せが変更される予定がある  機関名を記入すること。グルー で力せが変更される予定がある  場際の手術や での手術や数  ボット支援手術)  ボット支援手術)	こと。 集、健康診断、人 それぞれの診 で が指定を受けて で が場合は、新旧司 で が場合は、新旧司 で は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に に は に に に に に に に に に に に に に	間ドック等を行い 原科で診療録の化 いない場合、「指 両方のグループ指 いない場合、「指指 ロカカのグループ指	療動を 変えた 定定 定定 た に に に に に に に に に に に に に	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 に記入する を機関名	28.4 148758 446 計上する。 ま記載の追答行った場 12399 16255 432 しいいえ 指定なし しいいえ 指定なし 1133 202 18 113 20 26 25 13 0	件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	144	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
年間入院がん患者延べ数※2 年間入院をがん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に当るのがん患者の割合 年間外来がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者を必数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の延べ数を記入する。同一患者が会について の大いののかままを受けている。 グループ指定について の地域がん診療病院とグルーブ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グルーブ指定の組み合を記入すること。 かん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グルーブ指定の組み合を記入すること。 かん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 かん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 たなお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合を記入すること。 かん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の組み合を記入すること。 かん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がんが応続度でグループ指定の組み合を記入すること。 かんが最連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がんにの指数の状況について 「大腸がん・肺がん・胃がん・乳がん・前立腺がん・肝胆膵が、大腸がん・同がん・開放・利力・利力・利力・利力・大腸がん・肝胆膵が、大腸がん・に18、C19、C20、D01.0、D01.1、D01.2)の 関腹手術 K7193、K739\$、K740\$ 腹腔鏡下手術 K7193、K739\$、K740\$ 腹腔鏡下手術 K711\$、K714\$、K518\$ 胸腔鏡下手術 K511\$、K514\$、K514\$、K518\$ 胸腔鏡下手術 K511\$、K514\$、K518\$ 胸腔鏡下手術 K5114。2\$  うち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの(ロボ胃がん(C16\$、D00.2)の手術件数 関腹手術 K654-2、K655-22、K655-52、K65-52、K65方数、腹腔鏡下手術 K654-3、K655-22、K655-52、K6572 腹腔鏡下手術 K654-3、K655-22、K655-52、K65方方数、腹腔鏡下手術 K654-3、K655-22、K655-52、K65-52、K65-52、K655-52、K65-52、K655-52、K655-52、K655-52、K655-52、K65-52、K655-52、K	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、  日)  日)  機関名を記入すること。グルー の力せが変更される予定がある  機関名を記入すること。グルー の力せが変更される予定がある  機関名を記入すること。グルー で力せが変更される予定がある  場際の手術や での手術や数  ボット支援手術)  ボット支援手術)	こと。 集、健康診断、人 それぞれの診 で が指定を受けて で が場合は、新旧司 で が場合は、新旧司 で は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に に は に に に に に に に に に に に に に	間ドック等を行い 原科で診療録の化 いない場合、「指 両方のグループ指 いない場合、「指指 ロカカのグループ指	療動を 変えた 定定 定定 た に に に に に に に に に に に に に	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 に記入する を機関名	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追答行った場 12399 16255 432 しいいえ 指定なし しいいえ 指定なし 1133 202 18 113 20 26 25 13 0 58	件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	144	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
年間入院がん患者延べ数※2 年間入院患者延べ数※2 年間入院患者延べ数に占めるがん患者の割合 年間外来がん患者延べ数に当の人院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者が当月中に2回入院した場合は ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断 ※3 年間外来がん患者延べ数は、当年の新来、再来加を行ったがん患者の近へ数を記入ま。同一患者が合、それぞれの外来患者として計上する。 ② 検査等の実施状況 ア 病理組織診断 病理組織診断 病理組織診断 病理組織診断 病理組織砂液が心診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定について ② 地域がん診療病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定をの医療機こと。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合を記入すること。 ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 グループ指定を受けている場合、グループ指定の態療権こと。なお、令和7年4月1日時点でグループ指定の組み合を記入すること。 ② がん診療連携拠点病院とグループ指定を受けている。 がループ指定を受けている場合、グループ指定の経療合を記入すること。	されたものについて計上する。 がん患者及び往診、巡回診療 が2つ以上の診療科を受診し、  日)  日)  機関名を記入すること。グルー の力せが変更される予定がある  機関名を記入すること。グルー の力せが変更される予定がある  機関名を記入すること。グルー で力せが変更される予定がある  場際の手術や での手術や数  ボット支援手術)  ボット支援手術)	こと。 集、健康診断、人 それぞれの診 で が指定を受けて で が場合は、新旧司 で が場合は、新旧司 で は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に は、新田司 に に は に に に に に に に に に に に に に	間ドック等を行い 原科で診療録の化 いない場合、「指 両方のグループ指 いない場合、「指指 ロカカのグループ指	療動を 変えた 定定 定定 た に に に に に に に に に に に に に	Rの作成またには記載の追加 は記載の追加 に記入する を機関名	28.4 148758 446 計上する。 は記載の追 12399 16255 432 しいえ 指定なし しいえ 指定なし 11339 202 18 113 20 26 25 13 0 58	件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件件	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	14	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V

3/44

様式4(全般事項)

乳房再建術(乳房切除後) 二次的に行うもの K476-32	0	件	254	~
前立腺がん(C61)の手術件数	•		255	
開腹手術 K843	0	件	256	~
腹腔鏡下手術 K843-2、K843-4	89	件	257	_
うち、腹腔鏡下手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの(ロボット支援手術)) K843-4口	89	件	258	
アラス	- 00	П	259	
	10	14		
開腹手術 K695\$	12	件	260	
腹腔鏡下手術 K695-2\$	2	件	261	
うち、内視鏡手術用支援機器を用いるもの(ロボット支援手術)	0	件	262	
マイクロ波凝固法 K697-2\$	1	件	263	
ラジオ波焼灼療法 K697-3\$	18	件	264	~
胆のうがん(C23)の手術件数		=	265	
開腹手術 K675\$	2	件	266	~
腹腔鏡下手術 K675-2	0	件	267	_
胆管がん(C240、C241、C248、C249)の手術件数			268	
開腹手術 K677, K677-2	2	件	269	_
膵臓がん(C250、C251、C252、C253、C254、C257、C258、C259)の手術件数		П	270	
開腹手術 K700-2、K702\$、K703\$、K704	15	<i>II</i> +		
	15	件	271	
腹腔鏡下手術 K700-3、K702-2\$、K703-2\$	1	件	272	
うち、内視鏡手術用支援機器(ロボット支援手術)を用いて行った件数	0	件	273	
線治療の状況			274	
以下、放射線治療件数に関する項目は、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。			275	
でのがんを対象としたのべ患者数 (令和5年1月1日~12月31日の間に放射線治療を開始した患者数)			276	
体外照射	589	人	277	-
定位照射(脳)	69	人	278	-
定位限射(体幹部)	68		279	<u> </u>
強度変調放射線治療(IMRT)	283	λ	280	
短及发词放列标/A 综 (IMR1) 粒子線治療 (重粒子線 、陽子線治療 )	0	<u>^</u>	281	
		^		
密封小線源治療	0	<u>^</u>	282	
核医学治療	29	人	283	~
<b>於「国に多いがんを対象としたのべ患者数 (令和5年1月1日~12月31日の間に放射線治療を開始した<u>患者数)</u></b>			284	
※原発巣に記載してください。		=	285	
肺がん	117	人	286	~
胃がん	18	人	287	~
肝がん	12	人	288	~
大腸がん	6	人	289	~
胆のう・胆管がん	0	λ	290	_
陸隣がん	0	λ	291	
乳がん	82	1	292	-
1-00		^		
前立腺がん	77	^	293	
ケアチームに対する新規診療症例の状況(重複可)(令和5年1月1日~12月31日)		7.	294	
}体症状の緩和を行った症例数	203	人	295	~
神症状の緩和を行った症例数	131	人	296	~
会的苦痛に対する緩和を行った症例数	53	人	297	~
			298	
設で実施したがんの治療に際する妊孕性温存治療の状況(令和5年1月1日~12月31日)		1 1	299	~
	7	人		_
ぶんの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数	7	<u> </u>	300	
「んの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数	0	<u>Д</u>		-
パんの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 パんの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子の凍結保存を行った患者の人数	0 2	Λ Λ Λ	301	
パんの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 パんの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子の凍結保存を行った患者の人数 パんの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数	0 2 1	Д Д	301 302	~
パんの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 パんの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子の凍結保存を行った患者の人数 パんの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数	0 2		301 302 303	~
ペルの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数	0 2 1	Д Д Д	301 302 303 304	7
パルの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 パルの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子の凍結保存を行った患者の人数 パルの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 パルの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 パルの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 患者の造血器腫瘍に対する自家造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。	0 2 1 0	人 人 人 (はい/いいえ)	301 302 303 304 305	\(\frac{1}{\pi}\)
係んの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 患者の造血器腫瘍に対する自家造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。	0 2 1 0 (はい	人 人 人 (はい/いいえ) (はい/いいえ)	301 302 303 304 305 306	\(\frac{1}{\pi}\)
係んの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 患者の造血器腫瘍に対する自家造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。	0 2 1 0	人 人 人 (はい/いいえ)	301 302 303 304 305	\(\frac{1}{\pi}\)
係んの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 患者の造血器腫瘍に対する自家造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。	0 2 1 0 (はい	人 人 人 (はい/いいえ) (はい/いいえ)	301 302 303 304 305 306	\(\frac{1}{\pi}\)
パルの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 パルの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子の凍結保存を行った患者の人数 パルの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 パルの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 患者の造血器腫瘍に対する自家造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。	0 2 1 0 (はい	人 人 人 (はい/いいえ) (はい/いいえ)	301 302 303 304 305 306 307	\(\frac{1}{\sqrt{1}}\)
ぶんの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 ぶんの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子の凍結保存を行った患者の人数 ぶんの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 ぶんの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 、これの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 患者の造血器腫瘍に対する自家造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。	0 2 1 0 はい はい はい	人 人 人 (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ)	301 302 303 304 305 306 307 308 309	\( \frac{1}{\sqrt{2}} \)
ペルの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 患者の造血器腫瘍に対する自家造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。 過がん患者への対応について 学級を開催している(院内学級とは、ここでは院内に設置された小・中学特別支援学級、特別支援学校を指す)。	0 2 1 0 はい はい はい	人 人 人 (はい/いれえ) (はい/いれえ) (はい/いれえ)	301 302 303 304 305 306 307 308 309 310	
ペルの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 患者の造血器腫瘍に対する自家造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。 見がん患者への対応について 学級を開催している(院内学級とは、ここでは院内に設置された小・中学特別支援学級、特別支援学校を指す)。 、児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に整備している。	0 2 1 0 はい はい はい はい	人 人 人 (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ)	301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311	
係んの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 パんの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子の凍結保存を行った患者の人数 パんの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 パんの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 患者の造血器腫瘍に対する自家造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。 とびん患者への対応について 学級を開催している(院内学級とは、ここでは院内に設置された小・中学特別支援学級、特別支援学校を指す)。 児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に整備している。	0 2 1 0 はい はい はい はい	人 人 人 (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ)	301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312	
ペルの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 ペルの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 患者の造血器腫瘍に対する自家造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。 見がん患者への対応について 学級を開催している(院内学級とは、ここでは院内に設置された小・中学特別支援学級、特別支援学校を指す)。 、児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に整備している。	0 2 1 0 はい はい はい はい	人 人 人 (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ)	301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312	\( \frac{1}{\sqrt{V}} \)
%人の治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 %人の治療に際する妊孕性温存目的で乗受精卵子の凍結保存を行った患者の人数 %人の治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 %人の治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 患者の造血器腫瘍に対する自家造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。 とがん患者への対応について 学級を開催している(院内学級とは、ここでは院内に設置された小・中学特別支援学級、特別支援学校を指す)。 リアがん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に整備している。 小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。 小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。	0 2 1 0 はい はい はい はい	人 人 人 (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ)	301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313	
がの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 がいの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 がいの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 がいの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 患者の造血器腫瘍に対する自家造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。  むがん患者への対応について 学級を開催している(院内学級とは、ここでは院内に設置された小・中学特別支援学級、特別支援学校を指す)。 児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に整備している。 小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。 小児がん患者と家族が利用できる院外の最寄宿泊施設院から自施設までの移動時間(該当施設がない場合には0を記入) の他の施設について	0 2 1 0 はい はい はい はい	人 人 人 (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ)	301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315	
びんの治療に際する妊孕性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 がんの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 がんの治療に際する妊孕性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 がんの治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 といる治療に際する妊孕性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 患者の造血器腫瘍に対する自家造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するCAR-T療法を自施設で行う体制を有している。 とがん患者への対応について 学級を開催している(院内学級とは、ここでは院内に設置された小・中学特別支援学級、特別支援学校を指す)。 児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に整備している。 リ児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。 リ児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。 ハ児がん患者と家族が利用できる院外の最寄宿泊施設院から自施設までの移動時間(該当施設がない場合にはOを記入)	0 2 1 0 はい はい はい はい	人 人 人 (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ) 分	301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313	
設で実施したがんの治療に際する好学性温存目的で精子凍結を行った患者の人数 上記のうち、精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数 がんの治療に際する好学性温存目的で未受精卵への凍結保存を行った患者の人数 がんの治療に際する好学性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 がんの治療に際する好学性温存目的で受精卵(胚)の凍結保存を行った患者の人数 がんの治療に際する好学性温存目的で卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数 患者の造血器腫瘍に対する自家造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するGAR-T療法を自施設で行う体制を有している。 患者の造血器腫瘍に対するGAR-T療法を自施設で行う体制を有している。 したいた患者への対応について 学級を開催している(院内学級とは、ここでは院内に設置された小・中学特別支援学級、特別支援学校を指す)。 い児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に整備している。 小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。 小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。 小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。 小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。 小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。 小児がん患者と家族が利用できるに対して 治療室を設置している。	0 2 1 0 はい はい はい はい	人 人 人 (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ) (はい/いえ)	301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \

	2 医療機関名	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	
	3 推薦類型	地域がん診療連携拠点病院	
	4 令和6年9月時点指定類型	地域がん診療連携拠点病院	To wit
Ε	5 6 【記入箇所】 7 1 都道府県がん診療連携拠点 8 地域がん診療連携拠点病院 9 特定領域がん診療連携拠点 10 地域がん診療病院	: I (※特定機能病院である場合には、IIにも回答すること。)	【只例】  A: 必須要件  B: 望ましい(★)  C: 望ましい  A: 参考(左記の紀入箇所に該当しない部分は回答不要)  -: 参考(左記の記入箇所に該当しない部分は回答不要)
$\vdash$			100000000000000000000000000000000000000

域がん診療病院 	â病院 : I · V : VI			箇所に該当しない部分は回答不要) 所に該当しない部分は回答不要) 
針の箇所	要件 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	要件区分	令和6年9月1 日時点の状況	備考欄
1 都道府県協議会		A	はい	
2 診療体制	その際、各かん後限圏におけるかん後限の寛を向上させるため、当該かん後限圏を代表して都迫府県協議会の連宮にあたるとともに、都府県協議会の方針に沿って各がん医療圏におけるがん医療が適切に提供されるよう努めている。	<u>а</u> А	はい	
(1) 診療機能 ① 集学的	台族等の提供体制及び標準的治療等の提供 	44		
7	表が関に多いがん(大腸がん、肺がん、胃がん、乳がん、前立腺がん及び肝・胆・膵のがんをいう。以下剛に。)を中心しその他各医療機関 専門とするがんについて、手術、放射線治療及び薬物療法を効果的に組み合わせた集学的治療、リハビリテーション及び緩和ケア(以下「 学的治療等」という。)を提供する体制を有するとともに、各学金の診療ガイドラインに半する標準的治療(以下[標準的治療)という。)等が、	A	はい	別紙2に詳細を記載してください。
	患者の状態に応じた適切な治療を提供している。 我が聞い多いがんの中でも症例の集勢化により治療成績の向上が期待されるもの等、当該施設において集学的治療等を提供しない場合 は、適切が原原・体験につかけることができない。	= A	はい	
1	は、適切な医療に確実につなげることができる体験を構造している。 国際からの診断機関を特殊の説明等した治療方針の決定時等には、以下の体制を整備している。 通常よその影像の構造を選ぶ、背景師や全部とは関係方が開床している。	A A	はいはい	
ウ	治療プロセス全体に関して、患者とも1.一番えながら方針を決定している。 標準治療として複数の診察科が関与する選択技がある場合に、その知見のある診療科の受診ができる体制を確保している。 が人患者の病則に応じたより適切なが人態度を提供できるよう。以下のカンファレンスをそれぞれ必要に応じて定期的に開催している。	A A	はい	
	個別もしくは少数の診療科の医師を主体とした日常的なカンファレンス 個別もしくは少数の診療科の医師に加え、看護師、薬剤師、必要に応じて公認心理師や緩和ケアチームを代表する者等を加えた、症例へ	A	はい	各診療科で日常的に開催している場合は"はい"を選択してくけい。 い。 各診療科で日常的に開催している場合は"はい"を選択してくけ
	対応方針を検討するかとファレンス   手術、放射総節版、洗料治療、薬物療法、病理診断及び緩和ケア等に携わる専門的な知識及び技能を有する医師とその他の専門を異 する医師等による。骨配移、原発不明がん・希かがんなどに関して顕器機断的にがん患者の診断及び接触を力針等を意見交換。共有・検討	=^	はい	い。 ・・ーケ月当たりの開催回数を記載してください。(●回/月)
	認等するためのカンファレンス   臨床倫理的、社会的な問題を解決するための、具体的な事例に則した、患者支援の充実や多職種間の連携強化を目的とした院内全体の		1	<ul><li>ヶ月当たりの開催回数を記載してください。(●回/月)</li></ul>
	職権によるカンファレンス   吹のカンファレンスを月1回以上開催している。  検討した内容について、診療機に記録の上、関係者間で共有している。	A	はい	・別紙4に詳細を記載してください。
I	院内の緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サポートチーム、感染防止対策チーム等の専門チームへ、医師だけではなく、看護師や楽》  節等他の診療従事者からも介入依頼ができる体制を整備している。		はい	別紙19に詳細を記載してください。
<del> </del>	保険適用外の免疫療法等について、治験、先進医療、臨床研究法(平成29年法律第16号)で定める特定臨床研究または再生医療等の安 性の確保等に関する法律(平成25年法律第35号)に基づき提供される属生医療等の枠組み以外の形では、果筋、推奨していない。 保険適用外の免疫療法等について、提供または推奨している場合は、上記のどの枠組みに該当するが関わすること。	È A	はい	
② 手術:	保険適用外の免疫療法等について、提供または推奨している場合は、上記のどの枠組みに該当するか明記すること。 (なお、提供または推奨していない場合は、「なし」と記入すること。) 去、放射線療法、薬物療法の提供体制の特記事項	-	なし	
7	術中迅速病理診断が可能な体制を確保している。(なお、当該体制は遠隔病理診断でも可とする。) 術中迅速病理診断を遠隔病理診断で対応依頼することがある。	A 5	はい はい	
7	新管理体制の一環上して、手術部位感染に関するサーベイランスを実施している。 厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 強度変類放射線治療を提供している。	C C	はい	
	外来での核医学治療(RI内用療法)を提供している。 密封小線源治療について、地域の医療機関と連携し、役割分担している。	C A	はい	
オ	自施設で密封小線源治療に必要な放射線治療病室を整備してい 専用治療病室を要する核医学治療(RI内用療法)や粒子線治療等の高度な放射線治療について、患者に情報提供を行うとともに、必要に して適切な医療機関へ紹介する体制を整備している。	A	いいえ はい	
b b	RI内用療法に必要な放射線治療病室を整備してい 転子総治療に必要な放射線治療療験 関連する学金のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、次数線治療の品の管理を行っている。	5 A	いいえいいえ	
	直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例: 2023)	9) –	20240717 医用原子力技	
	測定機関名を記入するこ 基準線量の±5%の水準以内であ		術研究振興財団	
<u>キ</u> ク	画像下治療(IVR)を提供している。 免疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携する等して対応している。	C A	はい	
	薬物底法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会を設置している。  アの提供体制   「かん診療に携わる全ての診療従事者により、全てのがん患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻	A	はい	
7	に苦痛の把握に努め、必要な緩和ケアの提供を行っている。 がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等の把握及びそれらに対する適切な対応を、	- A	はい	
	診断時から一貫して経過的に行っている。 診断や治療が身体の変更時には、ライフステン、 数学・数学、経済状況、家族との関係性等、がん患者とその家族にとって重要な問題につ て、患者の希望を誇まえて配慮や支援ができるよう努めている。	,\ A	はい	
ゥ	7、 〈在実施するため、がん診療に携わる全ての診療従事者の対応能力を向上させることが必要であり、これを支援するために組織上明記に位置付けられた規約ケアナームにより、以下を提供するよう体制を整備している。 「定期的に病様ラウント及びカンファレンスを行い、依頼を受けていないがん患者も含めて苦痛の把握に努めるとともに、適切な症状臓和に		はい	別紙8に詳細を記載してください。
	いて協議し、必要に必じて主体的に即員で領導等を打つている。 (2)の②のウに規定する看護師は、苦痛の把握の支援や専門的緩和ケアの提供に関する調整等、外来・病棟の看護業務を支援・強化する		はい	別紙8に詳細を記載してください。 別紙8に詳細を記載してください。
I	・受新を担っている。 主治度及び看護師、公認心理師等と協働し、適切な支援を実施している。 最者が必要な疑和ケアを受けられるよう、緩和ケア外来の設度など外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備している。	A A	はい	別紙5に詳細を記載してください。
	自能設のが4.患者に限らず、他能設でがん診療を受けている。または受けていた患者についても受入れを行っている。 接対ケラ外来等への患者部分について、地域の医機機関に対して血管等を行っている。 変度用来薬予の病薬の初回使用時や用量の増減時には、医節からの説明ともに素剤師や看護師等により、外来・病様を問わず医療	A A	はい	
	麻薬等を自己管理できるよう指導している。  その際には、自記すの駆逐記録を整備注目している。		はい	
	院内の診療従事者と譲和ケアチームとの連携を以下により確保している。 譲和ケアチームへが心患者の診療を依頼する手順等、評価された苦痛に対する対応を明確化し、院内の全ての診療従事者に周知すると に、患者よるの家族に顕和アブロ側する診療が発き戻っている。	ŧ A	はい	
	緩和ケアの提供体制について緩和ケアチームへ情報を集約するために、がん治療を行う病棟や外来部門に、緩和ケアチームと各部署を く役割を担うリンクナースなどを配置している。	な C	はい	リンクナース: 医療施設において、各種専門チームや委員会と 看護師等をつなぐ役割を持つ看護師をいう。 アドバンス・ケア・ブランニング: 人生の最終段階の医療・ケア
+	患者や家族に対し、必要に応じて、アドバンス・ケア・ブランニングを含めた意思決定支援を提供できる体制を整備している。	A	はい	いて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し プロセスのこと。
7	アからキにより、緩和アアの提供がなされる旨を、院内の見やすい場所での掲示や入院時の資料配布、ホームページ上の公開等により、 は、患者及び家族に対しわかりやすく情報提供を行っている。 かかりつけ後等の協力・連携を得て、主治度及び者護師が緩和ケアチームと共に、追院後の居宅における緩和ケアに関する依養上必要な	98	はい	
3	財政が指導を行っている。 係義緩和のための専門的な治療の提供体制等について、以下の適り確保している。 競技性疾患に対する特殊プランク等について、自施設における無熱利係等との連携等の対応力針を定めている。	A A	はい	別紙7に詳細を記載してください。
	自施設で実施が困難なために、外部の医療機関と連携して実施する場合には、その詳細な連携体制を確認している。	А	はい	76行目・77行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に" い"が選択されます。
	自施設で実施が可能であ 連携する外部の医療機関に患者を紹介して実施してい ホームページ等で、神経ブロック等の自族院における実施状況や連携医療機関名等、その実施体制について分かりやすく公差している。	5 A	はい いいえ はい	
	ホームペーン等で、神経プロック等の自能制における薬能状況や連携医療機関名等、その素素体制について分かりやすく公表している。 接触的放射機能を患者に退性できる体制を整備している。 自能能の診療使率者に対し、緩和的放射線治療の院内での連携体制について周知していることに加え、連携する医療機関に対し、患者の 人札等について周知している。	A 受 A	はい	
<b>"</b>	ホームページ等で、自施設におけるこれらの実施体制等について分かりやすく公表している。 全てのがん患者に対して苦痛の把握と適切な対応がなされるよう緩和ケアに係る診療や相談支援、患者からのPRO(患者報告アウトカム	. A	はい	PRO: 自覚症状やQOLに関する対応の評価のために行う患
	既衆用泉薬の処方重など、院内の緩利ケアに係る情報を把握し、検討・改善する場を設置している。 「それを語まえて自施設において組織的な改善策を滅しる等、緩和ケアの提供体制の改善に努めている。 例の推進体制	A	はい	主観的な報告をまとめた評価のこと。
7	がん患者の紹介、逆紹介に積極的に取り組むとともに、以下の体制を整備している。  緩和ケアの提供に関して 当該がよ魔病関内の緩和ケア病境やな空緩和ケアが提供できる診療所等のマップやリストを作成する等 非素	A c	はい	
	その実施に対し常に地域の緩和ケア提供体制について情報提供できる体制を影像している。 帯がからに関して、専門等による適切は集学的治療が提供されるよう。他の拠点病院等及び地域の医療機関との連携及び情報提供がで 活体制を整備している。	^	はい	
	高齢のがん患者や障害を持つがん患者について、患者や家族の意思決定支援の体制を整え、地域の医療機関との連携等を図り総合的に 支援している。 ・ 分援施設に入陸する高齢者がかんと診断された場合に、介護施設等と治療・緩和ケア・看取り等において連携する体制を整備している。	A	はい	
イウ	地域の医療機関の医師と診断及び治療に関する相互的な連携協力体制・教育体制を整備している。 当該が人医機関内のが心診律に関する情報を無知、、当該が人族機関内の原機機関やが人患者等に対し、情報提供を行っている。 が心患者に対して、周南第の口間を機能験管理や、治療や口部作用・合併症対象、口腔リアピリテーションなど、必要に応じて院内又は地域の	A A	はい	
I	科医師と連携して対応している。  地域連携時には、がん疼痛等の症状が十分に緩和された状態での退院に努め、退院後も在宅診療の主治医等の相談に対応するなど、院	^	はい	別紙29に詳細を記載してください。
b h	での緩和ケアに関する治療が在宅診療でも継続して実施できる体制を整備している。 ・	. ^	はい	
+	幸治線に推力、係節・心抗雨電機商率と当時前カンフトシスを革施している。 当該かん原産側において、地域の原産機関や在宅商東支援診療所等の医療・力量従事者とからに関する医療提供体制や社会的支援、 別グアについて情報支持者、役割が別さ支援等について検討する機を主目回は上談けている。	A	はい	
2	議和ケアチームが地域の原復機関や在宅療養支援診療所等から定期的に連絡・相談を受ける体制を確保し、 参展に応じむ助富等を行っている。 都道府県や地域の患者会等・連携を図り、患者会等の求めに応じてピア・サポートの質の向上に対する支援等に取り組んでいる。	A	はい	ピア・サポート:患者・経験者やその家族がピア(仲間)として(
⑤ セカン	趣意用系や地域の地有歌者に進挽を図り、地看歌寺の来のにんしくヒア・サホートの真切向上に対する文法寺に取り組んでいる。 <u>オビニオンに関する体制</u>   展節からの診断熱果や病状の説明時及び治療方針の決定時等において、すべてのがん患者とその家族に対して、他施設でセカンドオピ			共有し、共に考えることで、患者や家族等を支援すること。
ア	オンを受けられることについて説明している。  説明の際、心理的な障壁を取り除くことができるよう留意している。	A	はい	
1	いへ返者に対する0=00 砂液自動性を使用・2000 砂液自動性を使用・2000 (利用につれる年1月1日~12月31 ・ 国際に対応可能ながんについて、手術療法、放射線療法、薬物療法又は緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する医師によ セカンドオビニオンを提示する体制を整備し、患者にわかりやすく公表している。	3)I –	54 はい	
ウ ⑥ それっ	セカンドオビニオンを提示する場合は、必要に応じてオンラインでの相談を受け付けることができる体制を確保している。 れの特性に応じた診療等の提供体制	С	いいえ	

5 / 44 ページ 様式4(機能別)

11 指針	の箇所			要件	要件区分	令和6年9月1 日時点の状況	備考欄
105			7		А	自時点の状況はい	
106		-		介やコンサルテーションで対応している。 小児がん患者で長期フォローアップ中の患者については、小児がん拠点病院や連携する医療機関と情報を共有する体制を整備している。 各地域のがん・生殖医療ネットワークに加入し、「小児・AYA世代のがん患者等の好幸性温存療法研究促進事業」へ参画するととは、対象	Α	はい	
107		1	ゥ	各地域のかか、生殖医療ペアドノーグに加入し、パッツ・ATAETROかか患者等の対学性温存療法研究促進事業」へ参画するどともに、対象 となりう品素者や実験には必ず治療脂胎論に特殊提供している。 患者の希望を確認するとともに、がん治療を行う診療料が中心となって、院内または地域の生殖医療に関する診療科とともに、妊孕性温存療	Α	はい	
108				法及びがん治療後の生殖補助医療に関する情報提供及び意思決定支援を行う体制を整備している。	Α	はい	
109		-		自旅設において、がん・生殖医療に関する意思決定支援を行うことができる診療従事者の配置・音成に努めている。	A	はい	別紙10に詳細を記載してください。 妊孕性:子どもをつくるために必要な能力のこと。精子や卵子だけ
110			I	就学、就労、妊孕性の温存、アピアランスケア等に関する状況や本人の希望についても確認し、自施設もしくは連携施設のがん相談支援セン	Α	はい	ではなく、性機能や生殖器、内分泌機能も重要な要素である。 アピアランスケア: 医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外
				ターで対応できる体制を整備している。			見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減 するケアのこと。
111				それらの相談に応じる多職種からなるAYA世代支援チームを設置している。 一般社団法人AYAがんの医療と支援のあり方研究会の開催する「AYA世代がんサポート研修会」を受けた院内の診療従事者の人数	С	はい	別紙10に詳細を記載してください。
112		l L	_	(尚、AYA世代支援チームに在籍する者に限らない)	-	3	
113 114		'	t	高齢者のがんに関して、併存症の治療との両立が図れるよう、関係する診療科と連携する体制を確保している。 意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている。	A A	はい	
115 116		7		高齢のがん患者に関して、必要に応じて高齢者総合機能評価を行っている。 医療機関としてのBCPを策定している。	- В	はい	別紙10に詳細を記載してください。
117 118	(2)	1 事	<del>集事者</del> 評門的な	知識及び技能を有する医師の配置 ※以下、常勤職員の人数を回答する項目において、非常勤職員を常勤換算して常勤職員と合算することに	よ不可です。		
							常勤:原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をい う。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合
119		7	7	当該施設で対応可能ながんについて専門的な知識及び技能を有する手術療法に携わる常勤の医師の人数	Α	66	は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とす る。
$\vdash$		-					※一人以上の配置が必要です。 専任:専任とは当該診療の実施を専ら担当していることをいう。こ
120		l I.	1	専任の放射線診断に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	A	3	の場合において、「専ら担当している」とは、その他診療を兼任して いても差し支えないものとする。ただし、その就業時間の少なくとも
							5割以上、当該診療に従事している必要があるものとする。 ※一人以上の配置が必要です。
							専従:専従とは当該診療の実施日において、当該診療に専ら従事 していることをいう。この場合において、「専ら従事している」とは、
121			ゥ	専従の放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の医師の人数	Α	3	その就業時間の少なくとも8割以上、当該診療に従事していること
100			I	***************************************			をいう。 ※一人以上の配置が必要です。
122		7		専従の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の医師の人数 緩和ケアチームに配置されている、専任の身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の医師の人数	A	1	※一人以上の配置が必要です。 ※一人以上の配置が必要です。
124				緩和ケアチームに配置されている、専従の身体症状の緩和に挟わる専門的な知識及び技能を有する常動の医師の人数 緩和ケアチームに配置されている、専任の身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の医師のうち、	c	0	
126				緩和ケアに関する専門資格を有する者の人数	A	1	※一人以上の配置が必要です。
127		H	h	緩和ケアチームに配置されている。精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の医師の人数 無効ケアチームに配置されている。第七の精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の医師の人数 事徒の病理診断に携わる専門的な知識及び技能を考する常動の医師の人数	C A	0 2	※一人以上の配置が必要です。
129 130		- 2	+	母校の病理診断に残れの専門的な知識など技能を有する体動の医師の人数 リハビリテーションに携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数 知識及び技能を有する医師以外の診療校事者の配置	C	1	
131			Pittina P	知識及び技能を有する医師以外の診療促事者の配置 放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の診療放射線技師の人数	В	3	※二人以上の配置が望ましい(*)。少なくとも一人の配置は必要
132				上記の診療放射線技師のうち、放射線治療に関する専門資格を有する者の人数	c	3	C9 .
133				専従の放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の技術 者等の人数	Α	2	※一人以上の配置が必要です。
134 135				上記の技術者のうち、医学物理学に関する専門資格を有する者の人数 放射線治療部門に配置されている、専従の放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師の人数	C A	2	※一人以上の配置が必要です。
136 137		1 -	1	上記の看護師のうち、放射線治療に関する専門資格を有する者の人数 専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の薬剤師の人数	С	1 3	※一人以上の配置が必要です。
138			'	上記の薬剤師のうち、がん薬物療法に関する専門資格を有する者の人数	C A	3	
140				外来化学療法室に配置されている、専従の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師の人数 上記の看護師のうち、がん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する者の人数	C C	1	※一人以上の配置が必要です。
141			ゥ	議和ケアチームに配置されている。事後の緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する常動の看護師の人数 上記の看護師のうち、がん看護又は議和ケアに関する専門資格を有する者の人数 緩和ケアチームに配置されている、緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する事例師の入数(他影響との兼任を可ごする。) 上記の薬剤師のうち、緩和薬物療法に関する専門資格を有する者の人数	A	1	※一人以上の配置が必要です。 ※一人以上の配置が必要です。
143		=	I	緩和ケアチームに配置されている、緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する薬剤師の人数 (他部署との兼任を可とする。) 上記の薬剤師のうち、緩和薬物療法に関する専門資格を有する者の人数	A C	1	※一人以上の配置が必要です。
145				緩和ケアチームに配置されている。相談支援に携わる専門的な知識及び技能を有する者の人数 (他部署との兼任を可とする。) 上記エの相談支援に携わる者のうち、社会福祉士である者の人数	A C	1	※一人以上の配置が必要です。
146 147 148			t	上記エンロ組設を提出されている。 上記エンロ組設支援に携わる者のうち、精神保健福祉士である者の人数 緩和ケアチームに協力する、公認心理師等の医療心理に携わる専門的な知識及び技能を有する者の人数	C B	0 2	
149 150				オの医療心理に携わる者のうち、公認心理師である者の人数	-	2	
151 152			t t	専任の細胞診断に係る業務に携わる専門的な知識及び技能を有する者の人数 上記の診療従事者のうち、細胞診断に関する専門資格を有する者の人数	C C	10 8	※一人以上の配置が必要です。
153		-	#	がんのリハビリテーションに係る業務に推わる専門的な知識および技能を有する理学療法十 作業療法十 言語肺骨十等の 人数	C C	36 18	
154 155				がんのパパピリテーションに係る業界に終わる専門的な知識および独をを有する理学療法士の人教 がんのパパピリテーションに係る業別に終わる専門的な知識および独をを有する作業療法士の人教 がんのパピリテーションに係る業別に対しる専門的な知識および独能を有る首義機を主の人教	C C	11 7	
156 157	(3)	) その他 ①		整備等 患者とその家族が利用可能なインターネット環境を整備している。	С	はい	別紙9に詳細を記載してください。
158		2		事学的治療等の内容や治療前後の生活における注意点等に関して、冊子や視聴覚教材等を用いてがん患者及びその家族が自主的に確認。	A	はい	が表という。
159				できる環境を整備している。 その曲子や翅膀を敷む時はナンラインでも確認できる。 がん治療に早ろ外見の変化について、がん患者及びその家族に対する説明やアピアランスケアに関する情報提供・相談に応じられる体制を	С	いいえ	
160		(3) (4)		整備している。	Α .	はい	Third Shifted at State
162		4		がん患者の自殺リスクに対し、院内で共通したフローを使用し、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。 対応方法や関係機関との連携について、関係職種に情報共有を行う体制を構築している。	A	はい	別紙14に詳細を記載してください。
163 164				自施設に精神科、心療内科等がある。 自施設でがん患者の自殺リスクに対応できる。		はい	
165				自施設に精神科、心療内科等がない場合は、地域の医療機関と連携体制を確保している。	-		自施設に精神科はあるが、自施設単体で対応できない場合も回答 してください。
166 167 170	3 診療	<u>泰実績</u> )					
170		① 7	7	同一のがん医療圏内にすでに指定されているがん診療連携拠点病院が存在している。 院内がん登録数	A	いいえ 2304	計上方法:入院、外来は問わない自施設初回治療分。症例区分20
172		J .	,	(基準:年間500件以上、期間:令和5年1月1日~12月31日)	A	2304	および30の数をいう。 計上方法:医科診療報酬点数表第2章第 10 部に掲げる悪性腫瘍
173		-	1	悪性腫瘍の手術件数 (基準:年間400件以上、期間:令和5年1月1日~12月31日)	Α	1227	手術をいう。(病理診断により悪性腫瘍であることが確認された場合に限る。)なお、内視鏡的切除も含む。
174		Ш.	<del>ن</del>	がんに係る薬物療法のべ患者数	А	3142	計上方法:経口、静注または皮下注射による全身投与を対象とする。ただし内分泌療法単独の場合は含めない。なお、患者数につ
174			,	(基準:年間1,000人以上、期間:令和5年1月1日~12月31日)	^	3142	る。たたじり方が成本年後の場合は古めない。なお、思有数にフ いては1レジメンあたりを1人として計上する。
175				うち、外来化学療法のべ患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-	2287	
$\vdash \mid$				177   177   177   127    127    127    127    127    127    127    127    127    127    127    127    127     127			計上方法: 医科診療報酬点数表第2章第12部の放射線治療に含ま
176			I	放射線治療のべ患者数 (基準、年間200人以上、期間: 令和5年1月1日~12月31日)	Α	618	町エク法: 医性診療報酬点数表第2年第12前の放射線冶療に含まれるものとする。ただし、血液照射は除く。なお、患者数については複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1人として
ШΙ							計上する。
177		~ 7	t	緩和ケアチームの新規介入患者数 (基準:年間50人以上、期間:令和5年1月1日~12月31日)	A	257	計上方法:患者数については同一入院期間内であれば複数回介 入しても1人として計上する。
179	$\vdash$	(2)		当該がん医療圏に居住するがん患者の診療実績の割合(%)	A	57.0	右隣シート「(参考)診療割合算出表」を適宜ご参照ください。 「①を概ね満たすこと」については、「アからオのそれぞれの9割以
186				3(1)①または②を概ね満たすこと。 なお、同一がん医療圏に複数の地域拠点病院を指定する場合は、①の項目を全て満たすこと。	Α	はい	上であること」と定義され、「②を概ね満たすこと」については、当該 がん医療圏に居住するがん患者のうち、「18%以上の診療実績が
Ш				'900、同一か'の医療師に関数の心臓を開発を指定する場合は、UVV項目を至く満たすこと。			あること」と定義されている。なお、同一がん医療圏に複数の地域 拠点病院を指定する場合は、①の項目を全て満たすこと。
187 188	4 人権	才育成等 )		自施設において、2に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。	A	はい	
189	(.,			日本語が記されています。17、17、17、17、17、17、17、17、17、17、17、17、17、1	A	はい はい	
191	(2)	)		病院長は、自施設においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医	A	はい	
				<u>師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。</u> 「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成29年12月1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長通知の			
192	(3)	,		別添)に準拠し、当該がん医療圏においてがん診療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道府県と協議の上、開催している。 	Α	はい	
193				自施設の長、および自施設に所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修了する 体制を整備している。	Α	はい	
194 195				受護率を現況報告において以下の通り報告する。 令和6年9月1日時点で自施設に所属する初期臨床研修医の人数	A	はい 38	
196 197				うち当該研修会修了者数 受講率(%)		18 47.4%	
198 199				1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師の人数(初期臨床研修医を除く) うち当該研修会修了者数	-	82 74	
200				受議率(%) 医師・歯科医師と協働し、緩和ケアに従事するその他の診療従事者についても受講を促している。	- A	90.2%	
202	(4)			国際に適け民間の反映関し、務が2/1-5次半3名文が配り砂球改成半点1-,ルパトな実践で成じたい分。 研修修子者について、書走子の家族に対してわかりやで代替指提供している。 連携する地域の医療施設におけるがん診療に携わる医師に対して、緩和ケアに関する研修の受講動奨を行っている。	Α	はい	
203	(5)			(3)のほか、当該がん医療圏において顔の見える関係性を構築し、がん医療の質の向上につながるよう、地域の診療従事者を対象とした研	A	はい	
205	(6)			修やカンファレンスを定期的に開催している。  自施設の診療従事者等に、がん対策の目的や意義、がん患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供してい	A	はい	
206	(0)			る診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。 自施設のがん診療に携わる全ての診療従事者が受講している。	C	いいえ	
207				<u> </u>	-	6 がん地域連携	-
208				令和5年1月1日~12月31日の期間に実施した研修のうち、代表的な内容を一つ記載してください。	-	パスの運用に	
209	(7)	)		院内の看護師を対象として、がん看護に関する総合的な研修を定期的に実施している。	Α	ついて はい	
210				令和5年1月1日~12月31日の開催回数	-	3	
211				令和5年1月1日~12月31日の期間に実施した研修のうち、代表的な内容を一つ記載してください。	-	がん看護基礎 研修	
212	(8)			他の診療後事者についても、各々の専門に応じた研修を定期的に実施するまたは、他の施設等で実施されている研修に参加させている。	A	はい	
213	5 相談	》 淡支援及	び情報	医科歯科連携による口腔健康管理を推進するために、歯科医師等を対象とするがん患者の口腔健康管理等の研修の実施に協力している。の収集提供	Α	19:01	

6 / 44 ページ 様式4(機能別)

11 指	針の篋	所		要件	要件区分	令和6年9月1 日時点の状況	備考欄
215		(1) 7	がん相談支援	<del>センター</del> 相談支援を行う機能を有する部門(がん相談支援センター)を設置し、①から⑧の体制を確保した上で、がん患者や家族等が持つ医療や療 養等の課題に関して、病院を挙げて全人的な相談支援を行っている。	A	はい	別紙11に詳細を記載してください。
217 218				東京が原域に関いて、民間なデナルでよったが次加減とはなれています。 必要に応じてオンラインでの知識を受け付けるなど、情報通信技術等も活用している。 コミュニケーションに配慮が必要な者や、日本語を短国語としていない者等への配慮を適切に実施できる体制を確保している。	A A	はい	
219			1	情報取得や意思疎通に配慮が必要な者に対するマニュアルを作成している 国立がん研究センターによるがん相談支援センター相談員基礎研修(1)~(3)を修了した専従及び専任の相談支援に携わる者をそれぞれ1	- A	いいえ はい	別紙13に詳細を記載してください。
221				人ずつ配置している。 がん相談支援センター相談員基礎研修(1)~(3)を修了した専従の相談支援に携わる者の人数	A	1	上記の専従の者は含めないでください。
222				がん相談支援センター相談員基礎研修(1)~(3)を修了した専任の相談支援に携わる者の人数 当該相談支援に携わる者のうち1名は、社会福祉士である。	A C	1 はい	(専任であり、かつ専従でない者の人数を記載ください。)
224 225			2	がん相談支援センター相談員基礎研修(1)~(3)を修了した専催もしくは専任の相談支援に携わる者のうち、社会福祉士の人数 相談支援に携わる者は、対応の質の向上のために、がん相談支援センター相談員研修等により定期的な知識の更新に努めている。	C A	1 はい	一人以上配置されていることが望ましい
226			3	院内及び地域の診療従事者の協力を得て、院内外のがん患者及びその家族並びに地域の住民及び医療機関等からの相談等に対応する体 動を整備している。 相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築に精極的に取り組んでいる。	A A	はい	別紙12に詳細を記載してください。
228			4 7	がん相談支援センターについて周知するため、以下の体制を整備している。  外来初診時から治療開始までを目処に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問(必ずしも具体的な相談を伴わ	A	はい	別紙14に詳細を記載してください。
229			1	ない、場所等の確認も含む)することができる体制を整備している。 治療に備えた事前の面談や準備のフローに組み込む等、診療の経過の中で患者が必要とするときに確実に利用できるよう	B A	はい	別紙13に具体的な取り組みを記載してください。
231 232			ウェ	繰り返来内を行っている。 際内の見やすい場所にがん相談支援センターについて分かりやすく掲示している。 地域の住民や医療・在宅・小類掲録を第の関係機関に対し、がん相談支援センターに関する広報を行っている。	A	はい	
233			<del> </del>	自施設に通院していない者からの相談にも対応している。  がん相談支援センターを初めて訪れた者の数を把握し、認知度の継続的な改善に努めている。	A A	はい	
235 236			5	がん相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを得る体制を整備している。 フィードバックの内容を自施設の相談支援の質の向上のために活用するとともに、都道府県協議会で報告し、他施設とも情報共有している。	A A	はい	
237			6	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Α	はい	
238			⑦ 8	がいては、大きないでは、いいとの、いいとの、いいとの、いいとの、いいとの、いいとの、いいとの、いいと	A A	はい	
240				その際には、一定の研修を受けたピア・サポーターを活用する、もしくは十分な経験を持つ患者団体等と連携して実施するよう努めている。 オンライン環境でも開催できる。	A C	はい はい	
242			院内がん登録 ①	を がん登録等の推進に関する法律(平成25年法律第111号)第44条第1項の規定に基づき定められた、院内がん登録の実施に係る指針(平成 27年厚生労働者告示第470号)に即して院内が人登録を実施している。	A	はい	
244 245		(	2	国立がん研究センターが実施する研修で中級認定者の認定を受けている、車従の院内がん登録の実務を担う者を1人以上配置している。 中級認定者の認定を受けている、専従の院内がん登録の実務を担う者の人数	A A	はい 2	別紙16に詳細を記載してください。
246		(	3	毎年、最新の登録情報や予後を含めた情報を国立がん研究センターに提供している。  院内がん登録を活用することにより、都道府県の実施するがん対策等に必要な情報を提供している。	A A	はい はい	
248 249			情報提供·普達 ①	及啓発   国施設で対応できるがんについて、提供可能な診療内容を病院ホームページ等でわかりやすく店報している。   希少がん、小児がん、AYA世代のがん患者への治療及び支援(好学性温存療法を含む)やがんゲノム医療についても、自施設で提供できる	A	はい	
250 251				者グがん、かだかが、ATAELTOかん思看への治療及び支援(女学に進仕療法を含む)やかんグラム医療に、かても、自意感で提供できる 場合や連携して実施する場合はその旨を広報している。 希少がんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。	A -	はい	
252 253				提供できる治療・支援の内容を広報している。 小児がんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。	A -	はい はい	
254 255 256 257 258				提供できる治療・支援の内容を広報している。 AYA世代のがんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。	A .	はいはい	
257				提供できる治療・支援の内容を広報している。 妊命性温存療法を自施設も人は連携する施設への紹介等で提供できる。 提供できる治療・支援の内容を広報している。	- A	はい	
259 260				がんゲノム医療への治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。 提供できる治療・支援の内容を広報している。	- A	はい	
261 262			2	大規模災害・感免症の近行などにより目除の診療状況に変化が至いた場合には、速やかい信頼分階をするよう努めている。 当該が人馬成器内のがん診察に関する情報について、病院ホームページ等でわかりやすく広報している。 特に、我が個に多いがんの中で、自然数で対応しない診療内容についての直接先や事件的治療等が発すした後のフォローアップについて地	A A	はい はい	
263 264			3	特に、我が国に多いがんの中で、目総能で対応しない診療内容についての連携先や集学的治療等が終了した後のフォローアップについて地 域で連携する医療機関等の情報提供を行っている。 地域を対象として、緩和ケアやが人教育、患者向け・一般向けのガイドラインの活用法等に関する普及啓発に努めている。	A A	はい	
265 266			4	取場を対象として、数化ケアマかん教育、患者向け、一般向けのガイマオンの活用活きに関する言葉を含まし分のしてる。 地域を対象として実施した。がんに関するセミナー等の開催回数(総数) 参加中の治験についてその対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報している。	- A	3 はい	地域の定義としては少なくとも市民を含むこと。
267			5	患者に対して治験も含めた医薬品等の臨床研究、先進医療、患者申出療養等に関する適切な情報提供を行うとともに、必要に応じて適切な 医療機関に紹介している。	A	はい	別紙17に詳細を記載してください。
268			6	がん教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正し い知識の普及啓発に努めている。	A	はい	
269 270	6	陈庆初	研究及び調査	が人教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な配慮を 行っている。 職者	A	はい	
271 272 273		(1)	WINDOW BOLL	政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力している。 これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立がん研究センターに登録する。	A	はい	別紙18に記載してください。
273 274		(2)		治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。 治験を含む医薬品等の臨床研究を行っている。		はい	委託も可
274 275 276 277 278				臨床研究コーディネーターを配置している。 臨床研究コーディネーターとして勤務している者の人数 はたけるが展示しているという。	A A	2	274が"はい"の場合は要件区分がAになります。 
278 279				治験を除く医薬品等の施床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備すること。 治験を除く医薬品等の施床研究を行っている。 施床研究法に則った体制を整備している。	- A	はい	278が"はい"の場合は要件区分がAl=なります。
280 281	7	医療の	の質の改善の	実施内容の広報等に努めている。 取組及び安全管理	A	はい	
282		(1)		自施設の診療機能や診療実績、地域連絡に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内 の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じている。 その際にはOutily Indicatorを利用するなどして、PDCAサイクルが確保できるよう工夫をしている。	A	はい	
283 284		(2)		医療法等に基づく医療安全にかかる適切な体制を確保している。	A A		別紙20に詳細を記載してください。 別紙20に詳細を記載してください。
285		(3)		日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けている。	A	日本医療機能	日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。
286				第三者の名称	-	院機能評価	別紙20に詳細を記載してください。
287 288	8	グル-	ープ指定	<u> </u>	-	Sep-24	別紙20に詳細を記載してください。
289				ルマボルの砂板物成とファーブ相上を大いる場合には、以下の体制を主摘することでによりフルーノ相上を大いる地域が必要な物域と協同して当該地域におけるが心診療等の提供体制を確保すること。 地域が心診療病院とのグルーブ指定を受けている。	-	いいえ	別紙27に詳細を記載してください。
291 292		(1)		連携協力により手術療法、放射線療法、薬物療法を提供する体制を整備している。  標準的な薬物療法を提供するためのレジメンの審査等における支援を行っている。	-		
293 294		(3)		確実な連携体制を確保するための定期的な合同カンファレンスの開催を行っている。 連携協力により相談支援や緩和ケアを充実させる体制を整備している。	-		
295 296 297		(5) (6) (7)		診療機能確保のための支援等に関する人材交流の計画策定及び実行の体制を整備している。 診療機能確保のための診療情報の共有体制を整備している。 病院ホームページ、パンプレット等による連携をの地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等についてわかりやすく広報している。	-		
298 III	特定	機能	病院を地域が	(国際は、一名、マン・ハンプング・新による連接状の原因がの必要技術は石やでの連携内容、連携美和新にした。このでは、 大きな連携状態有限として指定する場合の指定を付こういて 医療法第4条の2に基づく特定機能病院を地域拠点病院として指定する場合には、当該医療機関はⅡの地域拠点病院の指定要件に加え、			
299				国際法系4年の27に基づく特定機能病院を取場機能病所にとく情定する場合には、自該医療機関は100地域機能病院の4位を要件に加え、他の拠点病院等に対する医師の派遣や人材育成による診療支援に積極的に取り組み、その観点から都道府県協議会にも積極的に参画すること。			
300 301				他の拠点病院等に対する医師の派遣や人材育成による診療支援に積極的に取り組んでいる。 他の拠点病院等に対する医師の派遣や人材育成による診療支援に関する観点を念頭に、都追府県協議会に積極的に参画している。			
302 IV 303	都道		がん診療連携 符県における	扱点病院の指定要件について 診療機能強化に向けた要件			
304 305		(1)		当該都道府県においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を実施している。 当該都道府県の拠点病院等及び地域におけるがん医療を担う者に対し、情報提供、症例相談及び診療支援を行っている。	-		・別紙28に詳細を記載してください、
306		(3)		都道府県協議会の事務局として、主体的に協議会運営を行っている。	-		・別級28に詳細を記載してください、 ・別添資料で、都道府県協議会の議題や議事録等、議論の内容が わかる資料を添付してください。
307 308	2	都道所	符県における	都道府県協議会の開催回数(期間:令和5年4月1日~令和6年3月31日) 相談支援機能強化に向けた要件			511-2011-1-1-1-1-1-1-X
309 310		(1)		相談支援業務として、都道府県内の医療機関で実施されるがんに関する臨床試験について情報提供に努めている。  がん相談支援センターに国立がん研究センターによるがん相談支援センター相談員基礎研修(1)~(3)を修了した専従の相談支援に携わる	-		別紙13に詳細を記載してください。
311 312				表を2人以上配置している。 相談支援に携わる者のうち、少なくとも1人は国立がん研究センターによる相談員指導者団修多修了している。 相談支援に携わる者のうち、国立がん研究センターによる相談員指導者研修を修了している者の人数			一人以上配置が必要
313		(3)		外来初診時から治療開始までを目途に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問(必ずしも具体的な相談を伴わ  ない、場所等の確認も含む)することができる体制を整備している。	-		外級工机區が必要 別級13に詳細を記載してください。
314 315		(4)	女 日 州 上 一一	緩和ケアセンターとの連携を図り、がん患者とその家族に対して、緩和ケアに関する高次の相談支援を提供する体制を確保している。   当該都道府県の拠点病院等の相談支援に携わる者に対する継続的かつ系統的な研修を行っている。	-		
316	3	都迫h (1)	可乐拠息病院	の診療機能強化に向けた要律   当該都道府県における能和ケア提供体制の中心として、緩和ケアチーム、緩和ケア外来、緩和ケア病株等を有機的に統合する緩和ケアセン ケーを要用、上鉄緩和ケアセンターを組織上明確に位置づけている。(緩和ケアセンターは、緩和ケアチームが主体となり以下の活動を行	-		別紙21に詳細を記載してください。
318			1	・ 原列の 当80% (東京 大学	-		
319 320			3	緊急緩和ケア病床を確保し、かかりつけ患者や連携協力リストを作成した在宅療養支援診療所等からの紹介患者を対象として、緊急入院体	-		
321		H	4	制を整備している。 地域の病院や在宅成養支援診療所、ホスピス・緩和ケア病棟等の診療従事者と協働して、緩和ケアにおける連携協力に関するカンファレン  スを月1回程度定期的に開催している。	-		
322			5	緩和ケアセンターの構成員が参加するカンファレンスを週1回以上の頻度で開催し、緩和ケアセンターの業務に関する情報共有や 検討を行っている。	-		
323			6	緩和ケアセンターは、都道府県と協力する等により、都道府県内の各拠点病院等が、緩和ケア提供体制の質的な向上や、地域単位の緩和ケアに関する取組について検討できるように、支援を行っている。	-		
324 325			7	緩和ケアセンターには、II の2の(2)の①のオに規定する緩和ケアチームの医師に加えて、以下の専門的な知識及び技能を有する医師を配  置している。	-		
326			,	緩和ケアセンターの増齢を練試する医師を駆射ケアセンター長上して1人配置している。 当該医師については、常勤であり、かつ、院内において音響的立場の医師である。 緊急緩和ケア病床を担当する専門的な知識及び技能を有する常勤の医師を1人以上配置している。			
327 328			1	(なお、Ⅱの2の(2)の①のオに規定する緩和ケアチームの医師との兼任を可とする。) 当該医師については、夜間休日等も必要時には主治医や当直担当医と連絡を取ることができる体制を整備している。	-		
329			8	緩和ケアセンターには、II の2の(2)の②のウからオに規定する緩和ケアチームの構成員に加えて、以下の専門的な知識及び技能を有する 医師以外の診療従事者を配置している。	-		
330	1	1	7	緩和ケアセンターの機能を管理・調撃する、専従のジェネラルマネージャーを配置している。	-		ı

7 / 44 ページ 様式4(機能別)

### 1995   1995	1 指針の箇所		要件	要件区分	令和6年9月1 日時点の状況	備者欄
The control of the	31		ジェネラルマネージャーは、常勤であり、かつ院内において管理的立場にある看護師である。	-	日時点の状況	and Go tree
### 1985年 1987年	32	7	当該看護師はがん看護に関する専門資格を有する者である。 アに規定するジェネラルマネージャーとは別に、専従かつ常動の看護師を2人以上配置している。	-		
### 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1997 1	34		当該看護師はかん看護に関する専門資格を有する者である。 (また、当該看護師はTの2の(2)の②のウに規定する看護師との事件を可とする。)	-		
### 1995   Part	35	ゥ	場合に自動を直接できまっている。 場和ケアセンターの業務に協力する薬剤師を配置している。			
### 1982 - 198	36		(また、当該薬剤師はIIの2の(2)の②のエに規定する薬剤師との兼任を可とする。)	-		
### 1997年	37	I		-		
### 1985年	-		ことを可とする。)			
### 1997年	38	オ		-		
### 1995	39 V 特定領域: 40 1	がん診療連携	拠点病院の指定要件について 特定のがんについて、集学的治療等を提供する体制を有している。	-		別紙22に詳細を記載してください。
### 1997 (1997)	4.					
10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-1	41			-		
1	42 43		標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。 ・ 当該がんについて当該製造存用力で最も多くの事業を診察している。			
### 100				-		12~290に関して、区分Aの要件に未充足がない場合に"はい"を
### 1997年				-		選択してください。 別紙23に詳細を記載してください。
### 1985	46 4		特定領域における高い診療技術や知識を共有する観点から、拠点病院等との人材交流、合同のカンファレンス、診療業務や相談支援業務に	-		
### 1997			定要件について			
	48 49 1 都道》	村県協議会に	おける役割 各都道府県の他の拠点病院等と協働して都道府県協議会を設置し、その運営に主体的に参画すること。	-		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	50		その際、各が人医療圏におけるが人医療の質を向上させるため、当該が人医療圏を代表して都道府県協議会の運営にあたるとともに、都道 応見が禁令の古針に入って多が人医療関におけるが人医療が発力に担供されるようなのよう。	-		
************************************	51 2 診療		WANTED STANDING TO STAND TO STAND TO STAND THE STANDING S			
### 1995	53					
	54	ア	我が国に多いがんを中心として、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携して集学的治療等を提供する体制を有するとともに、 標準的治療等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。	-		別紙25に詳細を記載してください。
Table	55	1	確実な連携体制を確保するため、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と定期的な合同のカンファレンスを開催している。	-		
### 1997 (1997) (1997	57		路即からの診断検集、汚衣の説明時や治療力針の決定時上は、以下の体制を発揮している。 患者とその家族の希望を踏まえ、看護師や公認心理師等が同席している。			
### 1997 (1997) (1997	59	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	治療プロセス全体に関して、患者とともに考えながら方針を決定している。 標準治療として複数の診療科が関与する選択時がある場合に、その知見のある診療科の受診ができる体制を確保している。			
************************************	30	Ι	診療機能確保のための支援等に関し、グループ指定を受けるが人診療連携拠点病院との人材交流計画を策定・実行している。			別紙26に詳細を記載してください。
で、一点の基本を受けられたが必要がある。	61		等に努めている。	-		別紙3に詳細を記載してください。
### 1985 (1997) 1997 (1998)	32		がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう以下のカンファレンスをそれぞれ必要に応じて定期的に開催している。			久診査到で口管的に開催している場合は"はい"す ※和してない
「大きなでは、1997年である。	63	i	個別もしくは少数の診療科の医師を主体とした日常的なカンファレンス	-		で 100 水中 でロ 吊りに 用催している場合は "はい"を選択してください。
### 1	34	ii	個別もしくは少数の診療科の医師に加え、看護師、薬剤師、必要に応じて公認心理師や緩和ケアチームを代表する者などを加えた、症例への対応、方針を捻討するか、ファレンス	-		- *** 各診療科で日常的に開催している場合は"はい"を選択してくださ い
1	-		手術、放射線診断、放射線治療、薬物療法、病理診断及び緩和ケア等に携わる専門的な知識及び技能を有する医師とその他の専門を異に			υ· <sub>0</sub>
### 1985年の1985年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	65	iii	する医師等による、骨転移・原発不明がん・希少がんなどに関して臓器横断的にがん患者の診断及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確	-		・一ヶ月当たりの開催回数を記載してください。(●回/月)
1	66	iv	臨床倫理的、社会的な問題を解決するための、具体的な事例に則した患者支援の充実や多職種間の連携強化を目的とした院内全体の多職	-		
# 2	67		種によるカンファレンス Ⅳ のカンファレンスを定期的に開催している。			・別紙4に詳細を記載してください。
# 2	68	<del> </del>	検討した内容について、診療験に記録の上、関係者間で共有している。	-		
### (新聞の) 「「「「「「「「「」」」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「	69	カ	院内の緩和ケアチーム、口腔ケアチーム、栄養サホートチーム、恋染防止対策チーム等の専門チームへ、医師だけではなく、看護師や染剤 師等、他の診療従事者からも介入依頼ができる体制を整備している。	-		別紙19に詳細を記載してください。
	70		保険適用外の免疫療法等について、治験、先進医療、臨床研究法で定める特定臨床研究または再生医療等の安全性の確保等に関する法	-		
□ 中国	71		保険適用外の免疫療法等について、提供または推奨している場合は、上記のどの枠組みに該当するか明記すること。			
東中のから東京のは、東京の大きの中央の大きの大きのできまたが、かった。東京のイン・一方であるというの人の企業を表現していません。     マングでは、大きいの人は、ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・			(なお、提供または推奨していない場合は、「なし」と記入すること。)	-		
### 18 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12		② 手術療法				
### 2004年記載102-2022年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	73		特に以下に対応すること。			
であり、動き物質を含め、ことに、香味品は高級性では、「なった」という。  東京の自動を対していまった。「一般の自動を対していまった」  「日本の自動を対していまった」  「日本	74	ア	供できる体制を整備している。	-		
② 関連管理技術の一般に大、手供を認識を対している。「から、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	75	1	グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより術中迅速病理診断を提供できる体制を整備している。	-		
***	76		術中迅速病理診断を遠隔病理診断で対応依頼することがある。	-		
### 2007日 3月1日 OVT たかが出るのの様の目間であるも今に、グリープ語を受けるい。中国 は では できません できまった こというな	77					
### 2017年の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の	/8	ゥ	術後常理体制の一環として、主術部位際梁に関するサーベイランスを実施している。 その際 厘生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。			
### 2007年のアイバックインとも考生、第15条機能による心力を整定を行い、機能能力の高度需要を行っている。 ### 2007年のアイバーの大阪 日本教育で素別しているい場合には、 ### 2007年のアイバーの大阪 日本教育で素別しているい場合には、 ### 2007年のアイバーの大阪 日本教育で素別しているい場合には、 ### 2007年のアイバーの大阪 日本教育で素別しているい。 ### 2007年のアイバーの大阪 日本教育で素別しているい。 ### 2007年のアイバーの大阪 日本教育で表別しているい。 ### 2007年のアイバーの大阪 日本教育を表別しているい。 ### 2007年のアイバーの大阪 日本教育により、またが、	78 79		その際、厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備や人材配置の点から放射線治療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放	-		380行目・381行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"に
### 1000-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00	79 80		その際、原生労働名院内保受対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備へ入材記画のあため放射経済の保援が行困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 射線治療を提供できる体制を整備すること。 - 自族設で放射線治療を提供している。			
度の実施した最近を表現した。	79 80 81	Ι	その際、原生労働名院内保受対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備や入村配置のあため放射経済の保援が招願である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 射線治療を提供できる体制を整備すること。 ・ 自施設で放射線治療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。	-		い"が選択されます。
### 第2章 ### 12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	79 80	Ι	その際、原生労働名院内保受対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備や入村配置のあため放射経済の保援が招願である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 射線治療を提供できる体制を整備すること。 ・ 自施設で放射線治療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。	-		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
の	79 80 81 82 83	Ι	その際、原生労働名院内院と対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備へ入材配置のあため設け終う機の保援が日間である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 射線治療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 労ループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 働きる学会のガイドライン等も参考に、第二者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックア・フルア(※母等数字主集)でいる場合のない	-		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
カーカルできたと発生、でいるが、参加の高速のである。	79 80 81 82 83 84	Ι	その際、原生労働省施内機と対策サーベイランス事業(JANIS)、合着は、Tいる、 設備さ入材配置のあため設特等が機の規模が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 射線治療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射接治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施設で乗除し、Tいる場合のた)。 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例: 202209)			い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
東京の大学の東京を大きな大きを表していまった。	79 80 81 82 83 84	Ι	その際、原生労働名館内限を対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備と入材配置のあため数特勢なの提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 就検治療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。  グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。  側連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。  ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のみ)	-		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
② 19 1年 日本の主席は、1.5 (19 1年) 「日本の主席を担いている。 「日本の主席を担いている。 「日本の主席を記している。 「日本の主席を記している。」 「日本の主席を記している。 「日本の主席を記している。」 「日本の主席を記している。 「日本の主席を記している。」 「日本の主席を記し	79 80 81 82 83 84	т *	その際、原生等単名協内保登対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備で入材配置のあから数時制を機の保険が開催である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 財機治療を提供できる体制を整備すること。 「カループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 がループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
アメリン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン	79 880 881 882 833 844 85 866	エ オ カ キ	その際、原生等単名陸内保登対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備で入材配置のあから数時制を機の関係が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 財税設療を提供できる体制を整備すること。 「カループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 例上のフィースを必要している。 「関連する学会のガイドライン等も参考に、第二者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 「リニアックについて(※自施設で実施している場合のか) 連述で実施した第二者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例:202309) 測定機関名を記入すること。 「本年経費の主ち始の水準以内である。 水水化学療法を実施しているがん患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。 基準経費の主ち始の水準以内である。 水水化学療法を実施しているがん患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。	-		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
	79 80 81 81 82 82 83 83 84 84 85 86 87 7 88 88 89	ェ オ カ キ ク	その際、原生等単名院内院と対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備で入村配置のあから放け締役機の原規が問題である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放 財税治療を提供できる体制を整備すること。 「カループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自除設で業施している場合のか)。 直述で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例:202309) 測定機関名を記入すること。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
### 1985年の一月1、日本的に対している。一つ、他一名の、語子が見、音楽との関係性等、が必要とその実施にとて言葉を問題につい て、最近の影子を建まて記念が必要ができたも知った。「 「「、最近の影子を建まて記念ができたがら、がいき間に関わらなくの影響に考した。」 「「、最近の影子を建まて記念が必要ができたも知られている。」 「「、最近の影子を建まて記念ができたがら、がいき間に関わらなくの影響に表している。」 「「、「「、最近の影子のアンドラグア・ファイン・アンドリス・	779 90 81 81 82 83 84 84 85 86 87 87 88 88 89	エ オ カ キ ク 3 緩和ケア	その際、原生労働名院内院会対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備や人材配置のあため放射的液の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射検治療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。  グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。  ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のみ)  ・ 選述で実施した第三者機関による出力経量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例: 202309)  ・ 測定機関名を記入すること。    基準経費の±5%の水準以内である。  外来化学療法を実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。  免疫関連者事事を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携する等して対応している。  ・ 公理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
・ 「一般で対象を変形している。この主ないとなった。この主ないという。 「一般では、100mmのでは、100m	779 90 81 81 82 83 84 84 85 86 87 87 88 88 89	エ オ カ キ ク 3 緩和ケア ア	その際、原生労働名院内院と対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備や人材配置のあため放射的液の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。  ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のか)  ・	-		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
□ 7 「・ ( * 大き乗事 もたか。 が、 いか	779 80 81 81 82 83 84 85 86 87 88 88 89 90	カ キ ク (3) 緩和ケア ア	その際、原生労働名院内院と対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備へ入材配置のあため設特等は務の原授が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射検決療を提供できる体制を整備すること。 グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携すること。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施設で実施している場合のか)。 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(ソソソソ/MM、例:202309) 測定機関を記入すること。  サ来化学療法を実施しているがん患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。  基準接置の±5%の水準以内である。  外条化学療法を実施しているがん患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。  条佐岡連者管事象を含む名音享事品に対して、価診療料や施術院と選携する等して対応している。  条佐岡連者管事象を含む名音享事品に対して、価診療料や施術院と選携する等して対応している。  条佐岡連者管事象を含む名音享事場に対して、価診療料や施術院と選携する等して対応している。  ※佐田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
1	79 80 81 81 82 82 83 83 84 84 85 86 87 7 88 88 89	エ オ オ ク ③ <b>臓和ケア</b> ア イ	その際、原生等機を施内機と対電サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 製作人材配置のあから数料的表の環境が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携すること。 自指程で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。  ●リニアックについて(※自飾院で実施している操会のか)。 直追で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(パソソソ/MM、例 202309) 測定機関名を記入すること。  ・ 基準練蕾の主ち味の水準以内である。  ・ 基準接着の主ち味の水準以内である。  ・ 大水化学療法を実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。  ・ クループ指定を受けるが心診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレンジンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を使用している。 の理解体制が心診療治療が急を対象が必要が適性を行っている。 の理解体制が心診療治療が急を対象が必要が適性を行るが必診療選集機は有限との連携に対し、策物療法のレンジンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を修用に対しているの理解体制が心診療治療が発力での理様と行っている。  ・ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	79 90 81 82 83 84 84 85 86 87 88 88 89 90 91	エ オ オ ク ③ <b>臓和ケア</b> ア イ	その際、原生等機を施内機と対電サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 製作人材配置のあから数料的表の環境が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携すること。 自指程で放射線治療を提供している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。  ●リニアックについて(※自飾院で実施している操会のか)。 直追で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(パソソソ/MM、例 202309) 測定機関名を記入すること。  ・ 基準練蕾の主ち味の水準以内である。  ・ 基準接着の主ち味の水準以内である。  ・ 大水化学療法を実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。  ・ クループ指定を受けるが心診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレンジンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を使用している。 の理解体制が心診療治療が急を対象が必要が適性を行っている。 の理解体制が心診療治療が急を対象が必要が適性を行るが必診療選集機は有限との連携に対し、策物療法のレンジンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を修用に対しているの理解体制が心診療治療が発力での理様と行っている。  ・ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。
議議という。	79 80 81 81 82 82 83 84 84 85 85 86 86 87 87 88 89 89 99 99 91 92 92 93 93 94 94	エ オ オ ク ③ <b>臓和ケア</b> ア イ	その際、原生労働名院内侵受対策サーベイランス事業(JANIS)へ登積している。 設備さ入村配置のあため設特等は務の原現所が開催するも場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射検決療を提供できる体制を整備することにより放射検決療を提供できる体制を整備すること。  グループ指定を受けるが必要連携が高いた。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。  ●リニアックについて(※自除設で実施しているは会のかた) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。  ●リニアックについて(※自除設で実施している場合のかた) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例: 202309) 測定機関を犯入すること。   本準機量の±5%の水準以内である。  本準機量の±5%の水準以内である。  本準機量の±5%の水準以内である。  本準機量の±5%の水準以内である。  本準機量の±5%の水準以内である。  なら機能連携を要素と含むて着等事象に対して、物態を持ちで強いて対応している。  のを関連者書事をと含む有害事象に対して、地部設料や他病院と選集する等して対応している。  なら機能と指導するが必定を提供している。  なら機能と対している。  なら機能と対している。  なら機能と対している。  なら機能と対している。  なら機能と対している。  なら機能と対している。  なら機能と対している。  なら機能と対している。  ならしている。  なるといるのとは対している。  なるとは対している。  なるとは対している。  なるとは対している。  なるといるが表に対している。  なるとは対している。  なるとは対している。  なるとは対している。  なるとは対している。  なるといるが表に対している。  なるとは、対したが表に対している。  なるとは、対したが表に対している。  は、対しては、対したが表に対している。  なるといる。  は、対したが表に対している。  は、対しては、対したが表に対している。  は、対しては、対しているのとともに、連切な音を検験でしている。  は、対しては、対しなが、ととさいに対している。  は、対しては、対しななど、検討を発情している。  なるが、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しては、対しななど、検討を発情している。  なるが、対しな性に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しては、対しては、対しな様に対している。  は、対しては、対しな様に対している。  は、対しては、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しな状況には、対しな状況に対しなが表しましている。  は、対しなが表しましている。  は、対しなが、対しなが、対しなが、対しなが、対しなが、対しなが、対しなが、対しなが	- - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。
また、生治療及が重複像・分配と連絡性を一般でした。	79 80 81 81 82 83 84 84 85 86 88 89 99 90 91 92 93 93 94 94 95 5	ま オ カ キ ク (3) 臓和ケア イ	その際、原生労働名院内侵受対策サーベイランス事業(JANIS)へ登積している。 設備さ入村配置のあため設特等は務の原現所が開催するも場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射検決療を提供できる体制を整備することにより放射検決療を提供できる体制を整備すること。  グループ指定を受けるが必要連携が高いた。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。  ●リニアックについて(※自除設で実施しているは会のかた) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。  ●リニアックについて(※自除設で実施している場合のかた) 直近で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例: 202309) 測定機関を犯入すること。   本準機量の±5%の水準以内である。  本準機量の±5%の水準以内である。  本準機量の±5%の水準以内である。  本準機量の±5%の水準以内である。  本準機量の±5%の水準以内である。  なら機能連携を要素と含むて着等事象に対して、物態を持ちで強いて対応している。  のを関連者書事をと含む有害事象に対して、地部設料や他病院と選集する等して対応している。  なら機能と指導するが必定を提供している。  なら機能と対している。  なら機能と対している。  なら機能と対している。  なら機能と対している。  なら機能と対している。  なら機能と対している。  なら機能と対している。  なら機能と対している。  ならしている。  なるといるのとは対している。  なるとは対している。  なるとは対している。  なるとは対している。  なるといるが表に対している。  なるとは対している。  なるとは対している。  なるとは対している。  なるとは対している。  なるといるが表に対している。  なるとは、対したが表に対している。  なるとは、対したが表に対している。  は、対しては、対したが表に対している。  なるといる。  は、対したが表に対している。  は、対しては、対したが表に対している。  は、対しては、対しているのとともに、連切な音を検験でしている。  は、対しては、対しなが、ととさいに対している。  は、対しては、対しななど、検討を発情している。  なるが、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しては、対しななど、検討を発情している。  なるが、対しな性に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しては、対しては、対しな様に対している。  は、対しては、対しな様に対している。  は、対しては、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しな様に対している。  は、対しな状況には、対しな状況に対しなが表しましている。  は、対しなが表しましている。  は、対しなが、対しなが、対しなが、対しなが、対しなが、対しなが、対しなが、対しなが	- - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" かいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。
### 18 日本日本美年の日本美化の日本日本での日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	79 80 81 81 82 83 84 84 85 86 86 87 87 88 89 99 90 91 1 922 933 94 95 96 86 86 86 86 86 86 86 86 86 86 86 86 86	エ オ カ <u>キ</u> ク 緩和ケア ア イ	その際、原生等単名陸内保急対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。  製作の人材に置めるから放け締め機能の原便が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備すること。  「加ープ指定を受けるがん診療を提供している。  グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供している。 グループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。  ●リニアックについて(※自施設で実施している機会のか)。  東道で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(パソソソ/MM、例 (202309)  測定機関名を記入すること。  「メイソソリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" かいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。
### 18 日本日本美年の日本美化の日本日本での日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	79 80 81 81 82 83 84 84 85 86 88 89 99 90 91 92 93 93 94 94 95 5	エ オ オ ク (3) 緩和ケア イ	その際、原生等機を強肉を発育を、	- - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射総治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。
	79 80 81 81 82 82 83 84 84 85 86 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89	エ オ オ ク (3) 緩和ケア イ	その際、原生等機を強肉を発育を、	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射総治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。
### ( ***)	79 90 90 90 91 91 91 91 91 91 91 91 91 91 91 91 91	エ オ カ キ ク ア イ ウ	その際、厘字等地名陸内保急対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。  「原本分本配面のあから数時報の機の保護が開催である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備すること。  「日本行った。第二者機関による出力線量測定を行い、放射総治療の品質管理を行っている。  ●リニアンウについて(※自無限で実施している機会のみ)  第二本で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309)  瀬定場際のように、第二者機関による出力線量測度の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309)  ※定義機関を起えた。  ※定義機関を記入すること、  基準機関のよちが心を改進機関との連携により、薬物療法のビスを使促している。  免疫関連者事業を含む有重事業に対して、他診療科や他病限と連携する等して対応している。  の度機構制  がん参索に持ちらなての診療技事者に対して、他診療科や他病限と連携する等して対応している。  ので表検験がいた。日本行る大力を改進機がつかり提供されて、他診療科や病療法のサンシンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を参加に対した。  のの表検験制  がん参索に持ちるその診療技事者に対し、会でのがん患者に対し入院、外来を関わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回と対心を診断や心療力針の変更換には、ライフステーツ、様本分に、機能を対している。  が必要が、日本の表検している。  を持ちられている影響と対応できるよう時が、自然を対し、表している。  表もの表を表している。  は、現代のカンファンレンスを行い、依頼を受けていないがん患者も含めて苦痛の把握に努めるとともに、適切な彼な緩和についてい意用、のまりでは、といまの表検を表している。  に対している。  定期的に病様ランレスを対した。といる理由の支援や実施している。  正規がに病様ランレスを表が、後述り表しまれて、原内の対象を、外来・病体の者護業務を支援・強化する  を終えれる場がで、アルストルもよれる。  を持ちの表が表しまれて、表している。  最近が必ずる機能がである機能が表しまった。と述りを発展している。  最近が必ずる機能ができる機能が表しまります。を発用の表は機能がより、外来・偏様を削りず、医療用	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。
に、患者とその実施に緩やアンに関する診療力格と提示している。	79 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	エ オ カ キ ク マ イ ウ iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	その際、原生等機を強肉を対策サーベイランス事業(JANIS)へ参良している。  「原生等機を接換できる体制を登儀すること。  「日本など、日本など、日本など、日本など、日本など、日本など、日本など、日本など、	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。
「	79 80 80 81 81 82 82 83 84 4 85 85 86 87 88 89 99 90 99 19 1 92 2 93 3 94 94 95 96 97 99 99 90 90 10 10 27 27 30 3	エ オ カ キ ク マ イ ウ iiii エ オ	その際、原生学権を施内総会対策サーベイランス事業(JANIS)へ参視している。  設備や入材配置のあから数特別を原便所が開催である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射視流療を提供できる体制を整備である。  グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携すること。  関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。  ●リニアックについて(※自除投で業施しているが人態産連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。  ●リニアックについて(※自除投で業施しているが人患者のか)。  道道で業施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(YYYY/MM、例:202309)  測定機関名を記入すること。  外来化学療法を業態しているが人患者が急変等等の緊急時に入院できる体制を確保している。  基準鍵できるがある。  本準鍵できるが、多なと認知する事態を受けして、飲食のより、  本生療法を実施しているが人患者が急変等等の緊急時に入院できる体制を確保している。  基準鍵できるが、各事を受けるである。  本生療法を実施しているが人患者が急変等等の緊急時に入院できる体制を確保している。  本生療理のようちの水準以内である。  を経過している。  グループ指定を守けるがん診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジメンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を登場している。  の理解体制が人診療と見から必要と認知するというのが人患者に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど傾回 に苦慮の問題に努み、必要に緩和カアの提供を行っている。  の理解体制が心を書も内がの裏で伸い音により、実施の問題等の把握及びそれらに対する適切な対応を、  診断や治療力がの裏で動きに大きないが必要には関係の主でいる。  記録はおりたり、実施の表でというが、というに関係の表できる場である。  記述したして、実施が、まり、というに、まり、というに対している。  記述的心を登録まてに虚や実施が定するよう対象でいる。  には関係に対しているが必要と呼ばいる。とは新きを増加について、は悪人のを受け、大きないが心を着も含めて苦痛の抱傷に努めるとともに、適切な症が緩和について、過度の表とされる。を提出している。  経験は対している。  は親いてが未まれる。主動を対している。  医療用は薬等の患者に関係している。  医療用は薬等の能は素が、初回を開始に対している。  医療用は薬等の患者に関係している。  医療用は薬等の能は素が、初回を特を整備に対している。  医療用は薬等の能は素が、初回を機能に対している。  医療用は薬等の能は素が、初回を情能を確しまいで、または実現すること  医療用は薬等の能は素が、心臓を使じでなるとが観に表している。  医療用は薬等の能は素が、心臓を関係により、または実現がや者護師等により、外来・病様を問わず医療用により、外来・病様を問わず医療用により、外来・病様を問わず医療用により、外来・病様を問わず医療用により、外来・病様を問わず医療用により、外来・病様の者健康が等により、外来・病様の者健康が等により、外来・病様の者健康が等により、外来・病様の者健康が等により、外来・病様の者健康が等により、外来・病様の者健康が等により、外来・病様の者健康が等により、大きないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		い"が選択されます。 オについては、自施設で放射総治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。
### お書や家族に対し、必要に応じて、アドハンス・ケア・ブランニングを含めた意思決定支援を提供できる体制を整備している。    アドハシス・ケア・ブランニング・人生の最終段階の施術・ケアに   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の最終段階の施術・ケア・ブランニング・人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・クロースのと   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・クロースのこと   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・クロースのこと   アドハシス・ケア・ブランニング・クロースのこと   アドハシス・ケア・ブランニング・人生の人生の表別に   アドハシス・ケア・ブランニング・人を見ている。  アドハシス・ケア・ブランニング・人を見ている。  アドハシス・ケア・ブランニング・人を見において 原列の アドリス ともに アドルタ ア・ブランニング・クロース ア・ブランニング・人を見において 原列の ア・ブランニング・クロース ア・ブランニング・クロース ア・ブランニング・人を見において アドハシス・クロース ア・ブランニング・クロース ア・ブランニング・クロース ア・ブランニング・クロース ア・ブランニング・クロース ア・ブランニング・クロース ア・ブランニング・クロース ア・ブランニング・フロース ア・ブランニング・クロース ア・ブランニング・クロース ア・ブランニング・クロース ア・ブランニング・クロース ア・ブランニング・フロース ア・ブランニング・クロース ア・ブランニング・フロース ア・ブランニング・フロース ア・ブランニング・フロース ア・ブランニング・フロース ア・ブランニング・フロース ア・ブランニン ア・ブランニング・フロース ア・ブランニング・フロース ア・ブランニン ア・ブ	79 80 80 81 81 82 83 84 84 85 85 86 86 87 97 99 99 99 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	エ オ カ キ ク (3) 繊和ケア イ く ウ に エ オ	その際、原生学権を陸内保急対策サーベイランス事業(JANIS)へ登積している。  「原本の本配面のあから放射線が最か度の提供が国際である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備すること。  「自指費で放射線治療を提供している。  グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供している。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			い"が選択されます。  オについては、自施設で放射線治像を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。
###	79 80 80 81 81 82 82 83 84 4 85 85 86 87 88 89 99 90 99 19 1 92 2 93 3 94 94 95 96 97 99 99 90 90 10 10 27 27 30 3	エ オ カ キ ク 緩和ケア イ ウ に に オ カ	その際、原生学権を陸内保急対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。 設備や入村配置のあから数時報を原便所が開催である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備すること。  「グループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供している。 グループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射能治療の品質管理を行っている。  ●リニアングについて(※自施設で実施している機会のか)。 直追で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例 202309) 測定機関名を記入すること。  ・			い"が選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙号に詳細を記載してください。  別紙号に詳細を記載してください。  別紙号に詳細を記載してください。  別紙号に詳細を記載してください。  別紙号に詳細を記載してください。
7 からそにより、緩和ケアの提供が立たも言を、院内の思やすい場所での提示や人族時の資料配布、ホームページ上の公開等により、が 人	79 80 80 81 81 81 82 83 84 4 85 85 86 87 77 87 87 88 89 99 90 91 91 92 92 93 93 99 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	カ キ ク 類和ケア イ ウ に ボ オ	その際、原生等単名陸内保急対策サーベイランス事業(JANIS)へ登積している。  「原生等単名陸内保急対策ののおから放け路が最後の保険が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供してきる体制を整備している。  「カループ指定を受けるが心を連携があると  「関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。  「リーアイン・第二条のでは、第二条機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。  「リーアイン・第二条で実施しているが必要連携が高くない。  「東道で実施した。第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(イソイン・JANIS と呼じている。  「リーアインについて(※自無限で実施している機会のか)  「東道で実施した。第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(イソイン・JANIS と呼じている。  「東道で実施した。第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること。(イソイン・JANIS と呼じている。  「外来化学療法を実施しているが必要等の緊急時に入後できる体制を確保している。  「外来化学療法を実施しているが必要等の緊急時に入後できる体制を確保している。  小来化学療法を実しているが必要等の緊急時に入後できる体制を確保している。  小来化学療法を実けるが心診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のリンジンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を登出しているが必要がある。  がいる場合の手を持ち続いるが、「おいまないないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないま			い"が選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙目に詳細を記載してください。  別紙目に詳細を記載してください。  別紙目に詳細を記載してください。  別紙目に詳細を記載してください。  別紙目に詳細を記載してください。  別紙目に詳細を記載してください。  別紙目に詳細を記載してください。
のかいりつけ後等の協力・連携を得て、主治医及び看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する像養上必要な設 男	79 80 80 81 81 82 82 83 84 4 85 85 86 87 87 88 89 99 90 91 91 92 2 93 93 94 94 95 96 97 7 98 99 99 90 00 01 01 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07	カ キ ク 類和ケア イ ウ に ボ オ	その際、原生学権を陸内後と対策サーベイランス事業(JANIS)へ参報している。 設備や入村配置のあから数時は発療の提供が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備すること。 「カループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することの グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。  関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。  ●リニアックについて(※自施設で実施している機会のか)。 直述で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例 202309) 測定機関名を記入すること。  ・ ***・・ **・ **・ **・ ** **・ **・ **・ **・			い"が選択されます。  オについては、自施設で放射線治像を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  アドバンス・大変を変化する音響をないう。 アドバンス・ケアドランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、大利に、
の 別数な指導を行っている。     コ	79 80 80 81 81 81 82 83 84 4 85 85 86 87 77 87 87 88 89 99 90 91 91 92 92 93 93 99 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	エ オ カ キ ク イ ウ 「!!!! エ オ カ	その際、原生等機を陸内を対策サーベイランス事業(JANIS)へ参観している。  (原体) A 財産の自かの政情報を受けるが関係の保険が困難である場合には、グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備している。  グループ指定を受けるが心診療連携があると、  (関連する学会のガイトライン等も参考に、第三者整側による出力線量測定を行い、放射総治療の品質管理を行っている。  (リーアンルで) ※自然院で実施している場合のか、  東道で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309)  東道で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309)  東道で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309)  東連機関名を記入すること、  基準接間の上5%のが患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。  金の間温者重要を含む有重要象に対して、他診療科や他側原と連携する事にプロルしている。  クループ指定を受けるが心診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレンシンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を整備しているが必要を制しているが必要を制しているが必要を制しているが必要を制しているが必要を制しているが必要を制しているが必要を制しているが必要を制しているが必要を制しているが必要を制しているが必要を制しているが必要を制しているが表をしているが必要を対して、他診療科学の影響を対象に対して、他診療科学の影響を対象に対して、他診療科学の影響をは、対象に対しているが必要をしているが必要を対しているが表を制しているが必要のとかな場所ができるとうが思しているが必要があるともに、は、またが必要が表しているが必要があるととれて、場のを受けている。とのでは、技術的にプロン・イ、患者の多性を記載の必要な機能を見かている。  診断や治療力等の変しを指することが表しましている。  定所的に病様ランド及びがンファレンスを行い、依頼を受けていないが必要も含めて苦痛の把握に努めるとともに、適切な症状臓和についに組織との例で、表が多な変しましている。  直接的が必要な維制シアクトを対めたとれるよう。基地ケアが来来の機能を対している。  直接的が必要な維制シアクトを対した。といる、原理のとなるとは関係といる。  成別の影像は事者と認り、ので、原理を使用を表している。  成別の影像は関連に関すての最重のと見ましている。  成別の影像は事者と関係といる。  成別のアの後は対している。  成別の影像は同じないるに対している。  成別の影像は事者と関係といる。  成別の影像を対すている。  成別の子をは関係といる。  成別のアクを表したいが、影響でも成りを影響のを関係でいる。  成別のアクを表したいが、影響のとともに素がありまといが、影響のを影響により、外来・病様を問わずとともに、悪がアクを表したい、機能やアクトとも部着をないに、いる。  はなりアクトとしている。  はなりないるといる。  はなりないるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるとい			い"が選択されます。  オについては、自施設で放射線治像を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  アドバンス・大変を変化する音響をないう。 アドバンス・ケアドランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、大利に、
□ 競技性係傷に対する神経プロック等について、自意設における解除利養等との連携等の対応方針を定めている。	79 80 80 81 81 82 83 84 84 85 85 86 86 88 89 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	エ オ カ キ ク ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	その際、原生等機を強肉を受対電サーベイランス事業(JANIS)へ参観している。 顕像令人材配置のあから数時報の原便が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。  グループ指定を受けるが必要を増加すること。  関連する学会のガイトライン等も参考に、第三者整関による出力線量測定を行い、放射線治療の設質管理を行っている。  ●リニアンクについて(※自無限で実施している場合のか)  第連びて実施した第三者機関による出力線量測定の時期を排記すること、(YYYY/MM、例 202300)  第連びて実施した第三者機関による出力線量測定の時期を排記すること、(YYYY/MM、例 202300)  ※定義限を実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入版できる体制を確保している。  基準接種のような心影を提供できる体列を発達しているが心患者が急変時等の緊急時に入版できる体列を確保している。  本準接種のような心影を表しているが心患者が急変時等の緊急時に入版できる体列を確保している。  多度関連者事業を含む有罪事業に対して、他診療科や他病版と連携する事にプロしている。  グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレンジンを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体列を参加しているが必要を提供のようなが必要を提供のようなが必要を担けて、他診療科や病臓と連携する事に対し入院、外来を問わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回が必要が、対したとないが必要を指するをできるが表があるがでは、大きがな問題をの把握及びそれらに対する適切な対応を、診断や治療力料の変更強いでした。分析の表を指しているが必要が対しているが必要が対している。  が必要をおり含体を指導も理的苦痛、社会的な問題をの把握及びそれらに対する適切な対応を、診断や治療力外の変更は、ナイステープ、後ず・彼が、接着の把握の変形が、が必要とでして重要な問題について、人を物力を含ままてに固定を支援ができるよう数のとしままいと、対しまが力となしたがと対している。  定期的に海線ランド及びカンプレンスを行い、依頼を受けていないが必要も含めて苦痛の把握に努めるとともに、適切な症が緩和について組織と対しているとも、とは対してシアルを表がしましている。  直接的が必要と関係といては、表がないが必要を受けている。とないなが必要を指している。  直接的が必要とは関ルファルを持ずるようは解しないで、表が多くとは、薬剤がや看護師等により、外来・病様を問わず医療用・直接的アクトルが心・患者が多くを持つがで表が多いましている。  認知のアラは表は関ルファルと、対しな対象を表がしている。  認知のアラの提供を表が上にいて、機能を見ででいる。  認知のアラの提供を表が上にいて、機能がよりの表がを表が下により、外来・病様を問わず医療用に関わずるとともに、連和アファームとを部着と向いで、機能がアラームとを部着と向いで、対したがあるとともに、適知アファームとを部着と同いで、機能がアラームとを部着といて、機能があるので、対しためでは関するとともに、適知アファームとの主ながあるとともに、適切の定義を持つている。  認知アファームへが、表がなでは、対しためでは、表がなどのでは、対しためでは、対しためでは、表がなどのでは			い"が選択されます。  オについては、自施設で放射線治像を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  アドバンス・大変を変化する音響をないう。 アドバンス・ケアドランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、ストケア・ブランニング・人生の最終時間の医療・ケアに、大利に、
2	79 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	エ オ カ キ ク (3) 緩和ケア イ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	その際、原生学権を陸内後と対策サーベイランス事業(JANIS)へ参観している。  設備さ入材配置のあから数時は発療の環境が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射接流療を提供できる体制を整備すること。  のループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携すること。  関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の過質管理を行っている。  ●リニアックについて(※自除設て業施」、ている場合のか)。  道道で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例:202309)  測定機関を記入すること。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			いが選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  プリンクナース:液療施設において、各種専門チームや委員金と病 書類締集を2支化(を設定者)の看類節をいう。  アドレウス・アナフランニング・人との最終原間の医療・ケアについて、ネ人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うフロセスのこと。
選携する外部の景像機関に具体を紹介に実施している。	79   30   30   31   31   32   33   34   34   34   34   34   34	カ カ キ ク で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	その際、原生学権を陸内後と対策サーベイランス事業(JANIS)へ参観している。  「歴帝人材配置のあから数時報の機の所属での関係が国際である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備すること。  「カルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携すること。  「関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。  ●リニアングについて(※自無限で実施している機会のか)。  東道で実施した、第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例 202309)  測定機関名を記入すること。  「メースをは、第二者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(YYYY/MM、例 202309)  測定機関名を記入すること。  「メースを開きまたというが、必要は関係との連携により、薬物療法のいうが発展では、大きに関係している。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			いが選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙8に詳細を記載してください。  プリンクナース:液療施設において、各種専門チームや委員金と病 書類締集を2支化(を設定者)の看類節をいう。  アドレウス・アナフランニング・人との最終原間の医療・ケアについて、ネ人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うフロセスのこと。
ボームペーン等で、神経プロン学の白色施設における実施状況や連携販売機関を考、その実施体制について分かりやすく公表している。	79 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	カ カ キ ク で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	その際、原生学働金院内院と対策サーベイランス事業(JANIS)へ参良している。  設備で入れ配置のあから数け結び機の環境が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射接流療を提供できる体制を整備している。  グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携すること。  関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力設置測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。  ●リニアックについて「※自除設て来拠」、ている場合のかり。			いが選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙目に詳細を記載してください。  別紙月に詳細を記載してください。  別紙月に詳細を記載してください。  別紙月に詳細を記載してください。
入力無について開始している。	79 80 80 81 81 82 83 84 84 85 86 86 87 7 88 88 89 89 89 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	エ オ カ ラ マ イ ウ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ	その際、原生学権を陸内を対策が、インス事業(JANIS)へ参良している。  原体の大利を適のあから数時報の原便が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備している。  グループ指定を受けるが、 のプループ指定を受けるが、 のプループ指定を受けるが、 のでは、第三者機関による出力機量測定を行い、放射総治療の経済管理を行っている。  ●リニアンクについて(※自無限で実施している機会のみ)  第点で実施した第三者機関による出力機量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309)  第点で実施した第三者機関による出力機量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309)  ※定義関連者事業を含む有重量事業に対して、配強機合のみ)  第点を実施した第三者機関による出力を使用している。  本華経費のよりが小が連接・特別で、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ので			いが選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙目に詳細を記載してください。  別紙月に詳細を記載してください。  別紙月に詳細を記載してください。  別紙月に詳細を記載してください。
入力無について開始している。	79 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	エ オ カ ラ マ イ ウ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ ロ	その際、原生学権を陸内を対策が、インス事業(JANIS)へ参良している。  原体の大利を適のあから数時報の原便が困難である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備している。  グループ指定を受けるが、 のプループ指定を受けるが、 のプループ指定を受けるが、 のでは、第三者機関による出力機量測定を行い、放射総治療の経済管理を行っている。  ●リニアンクについて(※自無限で実施している機会のみ)  第点で実施した第三者機関による出力機量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309)  第点で実施した第三者機関による出力機量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309)  ※定義関連者事業を含む有重量事業に対して、配強機合のみ)  第点を実施した第三者機関による出力を使用している。  本華経費のよりが小が連接・特別で、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ので			いが選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙目に詳細を記載してください。  別紙月に詳細を記載してください。  別紙月に詳細を記載してください。  別紙月に詳細を記載してください。
8 全てのがん患者に対して苦痛の把握と適切はがかなされるとう緩和ケアに係ら節後や相談支援、患者からのPRO(患者報告アウトカム)、 東保育展案の処理するだと、院内の展別でアに係る情報を開発、検討、立要者する場合を提出した。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	79 80 81 81 82 82 83 84 84 85 86 86 87 87 88 89 89 99 00 99 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	エ オ ク (3) (3) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	その際、原生学権を協内後と対策サーベイランス事業(JANIS)へ参観している。 国施育でお配施の急体的会社機能の受け扱い関係である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を経現できる体制を整備すること。 「グループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を経現できる体制を整備している。 グループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。  ●リニアングについて(※自施設で実施している機会のか) 直追で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309) 測定機関名を記入すること。  基準接着のよういの水準以内である。 及庭間選者事業を含む者事業を見して、いる施食料である。  ・			いが選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙9に詳細を記載してください。  別紙9に詳細を記載してください。  別紙9に詳細を記載してください。  別紙9に詳細を記載してください。
接機用麻薬の処力者など、院内の腫和ケアに係る情報を押機し、接針・改業する場象を設置している。	79 80 81 81 82 83 84 84 85 85 86 86 87 87 88 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89	エ オ ク (3) (3) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	その際、原生学権を協内後と対策サーベイランス事業(JANIS)へ参観している。 国施育でお配施の急体的会社機能の受け扱い関係である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を経現できる体制を整備すること。 「グループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を経現できる体制を整備している。 グループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。  ●リニアングについて(※自施設で実施している機会のか) 直追で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309) 測定機関名を記入すること。  基準接着のよういの水準以内である。 及庭間選者事業を含む者事業を見して、いる施食料である。  ・			いが選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には" いいえ"を選択してください。  別紙目に詳細を記載してください。  別紙月に詳細を記載してください。  別紙月に詳細を記載してください。  別紙月に詳細を記載してください。
① 地域連携の建連体制	79 80 80 81 81 82 83 84 84 85 86 86 87 97 99 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	エ オ カ キ ク フ イ つ し コ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ	その際、原生学書を協内を対策サーベイランス事業(JANIS)へ参報している。 国施育な対応認力のあため支持総合機の提供が国際である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力終量測定を行い、放射総治療の品質管理を行っている。 ●リニアンウについて(深自無険で実施している機会のみ)  第二版で実施した第三者機関による出力線量測定を行い、放射総治療の品質管理を行っている。  ※定義関の主ちが会のが得きの場合で実施している機会のみ)  第二版で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309)  ※定義関の主ちが会のが成りで実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。  基準整要の主ちがの水準以内である。  免疫関連者事業を含む有重事業に対して、他診療科や他病院と連携する事としている。  免疫関連者事業を含む有重事業を対して、他診療科や他病院と連携する事としたがしたいる。  プループ指定を受けるが心診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジンとを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を整備しているの必要機構制 が心診療に持わる全ての診療技事者により、でのが心患者に対し入院、外来を関わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回と対した。  大き他の影響に対して、他が必要が表したが、のとでは、他を受けないから必要に持ちなのと思想が使えるが表したが必要が表している。  大き他の影響には、カイフステーン、提供子行っている。  技術が出るしたが必要であり、これを支援ができるよう発のより、これを支援するために組織上明確に設定がある方針の変更強には、カイフステーン、就能を受けていないが人患者も含めて苦痛の把握に努めるとともに、適切な症状縁和についてい誤し、必要には、主を対し、と述し、関係を関するとないを経験と対し、と述し、関係を関するとないを経験を表している。  定期的に病様ラウンド及びカンファンスを行い、依頼を受けていないが人患者も含めて苦痛の把握に努めるとともに、適切な症状縁和についてい誤し、と述しないました。と述の経験を持ちる上の実施が出る対したいる。  理能が力を表した。と述し、他ので変更を実施と支援。  また、主は意义の意味を発している。  認われる場合には、またの、対域を関係といる。  認われる場合に関係である。力は関係とは多な、対域を受けないる。  認定が表しました。と述りなが、対域を受けている。  認われる場合に関するとなと検討を予止している。  認われる場合に関するとと検討をできる。と様のアルエモリースを使用している。  は影が力がまましましましましましましましましましましましましましましましましましまし			ル・が選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を配載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  り20年70~2 と  127日 - 413行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"にいか選択されます。
2	79 80 80 81 81 82 82 83 84 84 85 86 86 87 87 88 89 990 991 91 92 92 93 93 94 94 95 86 87 87 88 88 89 990 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90 9	エ オ カ キ ク フ イ つ し コ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ ニ	その際、原生学書を協内を対策サーベイランス事業(JANIS)へ参報している。 国施育な対応認力のあため支持総合機の提供が国際である場合には、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより放射機治療を提供できる体制を整備している。 グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射能治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力終量測定を行い、放射総治療の品質管理を行っている。 ●リニアンウについて(深自無険で実施している機会のみ)  第二版で実施した第三者機関による出力線量測定を行い、放射総治療の品質管理を行っている。  ※定義関の主ちが会のが得きの場合で実施している機会のみ)  第二版で実施した第三者機関による出力線量測定の時期を明記すること、(ソソソ/MM、例 202309)  ※定義関の主ちが会のが成りで実施しているが心患者が急変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。  基準整要の主ちがの水準以内である。  免疫関連者事業を含む有重事業に対して、他診療科や他病院と連携する事としている。  免疫関連者事業を含む有重事業を対して、他診療科や他病院と連携する事としたがしたいる。  プループ指定を受けるが心診療連携拠点病院との連携により、薬物療法のレジンとを審査するとともに、標準的な薬物療法を提供できる体制を整備しているの必要機構制 が心診療に持わる全ての診療技事者により、でのが心患者に対し入院、外来を関わず日常診療の定期的な確認項目に組み込むなど頻回と対した。  大き他の影響に対して、他が必要が表したが、のとでは、他を受けないから必要に持ちなのと思想が使えるが表したが必要が表している。  大き他の影響には、カイフステーン、提供子行っている。  技術が出るしたが必要であり、これを支援ができるよう発のより、これを支援するために組織上明確に設定がある方針の変更強には、カイフステーン、就能を受けていないが人患者も含めて苦痛の把握に努めるとともに、適切な症状縁和についてい誤し、必要には、主を対し、と述し、関係を関するとないを経験と対し、と述し、関係を関するとないを経験を表している。  定期的に病様ラウンド及びカンファンスを行い、依頼を受けていないが人患者も含めて苦痛の把握に努めるとともに、適切な症状縁和についてい誤し、と述しないました。と述の経験を持ちる上の実施が出る対したいる。  理能が力を表した。と述し、他ので変更を実施と支援。  また、主は意义の意味を発している。  認われる場合には、またの、対域を関係といる。  認われる場合に関係である。力は関係とは多な、対域を受けないる。  認定が表しました。と述りなが、対域を受けている。  認われる場合に関するとなと検討を予止している。  認われる場合に関するとと検討をできる。と様のアルエモリースを使用している。  は影が力がまましましましましましましましましましましましましましましましましましまし			ル・が選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を配載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  り20年70~2 と  127日 - 413行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"にいか選択されます。
は、	79 80 80 81 81 82 82 83 84 84 85 86 86 87 87 88 89 990 99 191 99 99 99 99 99 99 99 99 99 99 99	エ オ カ	その際、原生等等金度内段と対策サーベイランス事業(JANIS)へ参視している。 国施分々配置のあから数時報の原の原状が開催である場合には、グルーブ指定を受けるが心診療達携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 グルーブ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力設量測定を行い、放射線治療の品質管理を行っている。 ●リニアソフについて(※自施設で実施している場合のか)			ル・が選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を配載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  り20年70~2 と  127日 - 413行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"にいか選択されます。
は、	79 80 81 81 82 83 84 84 85 85 86 86 87 87 88 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89	エ オ カ キ ク フ イ ウ ニ ニ ニ ニ キ ク ケ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ	その際、原生学権を陸内を対策すーベイランス事業(JANIS)へ参視している。			ル・が選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を配載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  り20年7日 - 413行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"いか選択されます。
議論的がん患者や障害を持つが、患者で実施の意思決定支援の体験を整え、地域の高度機関との連携等を図り絵合的に  「実施している。 」 、 介護施設に入居する高齢者ががん。診断された場合に、介護施設等と治療・緩和ケア・看取り等において連携する体制を整備している。 ・ イ 地域の医療機関の感染と診断及ど治療に関する相互的企業機の人体制・数 食店体制を整備している。 ・ ク 当該が人医療理内のがん・診察に関する情報を集制し、当該が人医療関内の医療機関やが心患者等に対し、情報提供を行っている。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	79 80 81 81 82 83 84 84 85 85 86 86 87 87 88 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89	エ カ カ キ ク イ ウ iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	その際、原生学権を陸内を対策すーベイランス事業(JANIS)へ参視している。			ル・が選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を配載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  り20年7日 - 413行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"いか選択されます。
5 i iv i 分議物設に入居する高齢者ががんと診断された場合に、介護施設を上治療・緩和ケア・看取り等において連携する体制を整備している。 - イ 地域の医療機関の保護・診断とが大き 連続 は 大郎	79 80 81 81 82 83 84 84 85 85 86 86 87 87 88 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89	エ カ カ キ ク イ ウ iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	その際、理学等性会認的概念分類サーベーターン工業第(JANIS)へ参称している。  整確へ入格に置めらか、反射程度が高から、  のルーブ指定を受けるが、といる。  当当りでおき継が高さまり、 のルーブ指定を受けるが、といる。  のルーブルで、 のままして、 のまました、 第三者機関による出力経算測定をの時期を排足できる体制を提出している。  現定機関をを記入すること。  本準値響の上5年のルーズ  別連する学会のガイドライン等も参考に、第三者機関による出力経算測定を行い、放射解治療の急員管理を行っている。  ●リニアックについて(※自施段で実施しているが、  のままして、 第二者機関による出力経算測定の時期を排足すること。  本準値響の上5年のルーズ  別定機関をを記入すること。  本準値響の上5年の水準以内である。  を登録している。  のまましている。  のまましている。  のまましている。  のまましている。  のまましている。  のなまましている。  のなまました。  のなまましている。  のなまました。  のなまました。  のなまました。  のなまました。  本準値響の上5年の水準以内である。  を登録している。  のなまましている。  のなまましている。  のなまましている。  のなまましている。  のなまましている。  のなまましている。  のなまましている。  のなままままままままままままままままままままままままままままままままままま			ル・が選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を配載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  り20年7日 - 413行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"いか選択されます。
6 イ 地域の医療機関の医師と診断及び治療に関する相互的な連維能力体制・教育性制を参慮している。 - ウ 当該が小医療機関の医療機関やが心患者等に対し、情報提供を行っている。 - ウ 当該が小医療機関のの医療機関やが心患者等に対し、情報提供を行っている。 - かい思考に対して、開解期の日産機関管理や、治療中の副作用・合併症対策、口腔リハビリテーションなど、必要に応じて院内又は地域の歯 料医師と連携して対応している。 - 別紙29に詳細を記載してください。 - 対処理振動には、が心疼痛等の症状が十分に緩和された状態での退院に努め、退院後も在宅診療の主治医等の相談に対応するなど、院内での緩和ケアに関する治療が在宅診療でも機能して実施できる体制を発揮している。 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	79 80 80 81 81 82 83 84 84 85 85 86 86 86 87 87 88 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89	エ オ カ キ ク ケ コ に に は ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	その際、理学等性会認時成後が関サーベーターン工業室(JANIS)へ参側している。 設備の人材配合のよかに対解されるの登場の関係の関係である場合によったリーブ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携することにより放射機能を設備してなら体的を関連する。と  のルーブ指定を受けるが心診療と関係できる体制を登積している。 のルーブ指定を受けるが心診療連携拠点病院との機能である場合により取射線治療を提供できる体制を整備している。 関連する学会のカイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量速度を行い、放射線治療の過程できる体制を整備している。 関連する学会のカイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量速度を行い、放射線治療の過程できる体制を整備している。 関連する学会のカイドライン等も参考に、第三者機関による出力線量速度を行い、放射線治療の過程管理を行っている。 ●リニアックについて(※自施程で実施している)総合の外)  第正で実施した第三者機関による出力線量速度を行い、放射線治療の過程管理を行っている。  ・本生検室の上5%の水準以内である。  本生検室の上5%の水準以内である。  本生検室の上5%の水準以内である。  本生検室の上5%の水準以内である。  本生検室の上5%の水準以内である。  本生検室の上5%の水準以内である。  本生検をととしている。  小果化学療法を実施しているが心患者が全変時等の緊急時に入院できる体制を確保している。  本生検室の上2%の水準以対してあるが、  本生検室の上2%の水準以対してあるが、  本を使用している。  小型が促生があるが表が接触が高いまからいる場所に対した。  が、ル型をの身体が自然が自然のよりが表がまる。  は、いるのの機能と対か、必要なは緩和アフの建物を行っている。  が、必要をの身体が高級や特別を構ましましましましましましましましましましましましましましましましましましまし			ル・が選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を配載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  り20年7日 - 413行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"いか選択されます。
8 がん患者に対して、関係第の口腔健康管理や、治療中の副作用・合併症対策、口腔リハビリテーションなど、必要に応じて院内又は地域の歯 - 別紙29に詳細を記載してください。	779 80 80 81 81 82 82 83 84 84 85 85 86 86 87 87 88 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89	エ オ カ キ ク マ イ ウ エ オ カ iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	その際、原生学動金製肉肉酸と強情することにより放 製造の人材を図るのから取得は過度の発便が顕常である場合と、。 ・ 国施育で発生を含めたとのでは、 がループ指定を受けるがん診療連携ある内臓と連携を関している。 のアープログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ			ル・が選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。  別紙8に詳細を配載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  り20年70~2 と  127日 - 413行目のいずれかが"はい"の場合のみ、自動的に"にいか選択されます。
特技術と選集技に対応している。 9 対 地域議議時には、がら保護等の症状が十分に緩和された状態での退除に努め、退院後も在宅診療の主治医等の相談に対応するなど、院内 での緩和ケアに関する治療が在宅診療でも緩接して実施できる体制を整備している。 4 過度支援に当たっては、主治医、緩和ケアチーム等の連携により産業研究等に関する意思決定支援を行うとともに、必要に応じて地域の在	779 80 80 81 81 82 82 83 83 84 84 84 85 85 86 86 87 87 88 89 99 90 91 91 92 92 92 93 93 93 93 93 93 93 93 93 93 93 93 93	カ カ キ ク マ イ ウ IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	その際、理性が動き繰り飛り返り推進している。  最後のでは、利益に関うから、政権は過度の提供が固定である場合には、ブループ制度で受けるが人が影像連携形点病院と連携することにより放射に成る技術である。  動場でも発生の人体を開からから、大きないのと様が関する。  プループ制度を受けるが人が登場連携を急げてきる体制を登場している。  プループ制度を受けるが人が登場連携を急げます。 プループ制度を受けるが人が登場連携形点病院と連携することにより放射線治療の登場できる体制を登場している。  関連する子会のガイドライン等も参考に、第二者機関による出力線量測定を合け、放射線治療の品質管理や行っている。  単プニアペプについて(※自然院で実際している場合のか)  悪地で実際した第三者機関による出力線量測定の時期を明むすること、(YYYY/MM、例、202390)  満定機関名を記入すること  基準接着のようないる。  本連接着のようないる。  本連ないる。  本連接着のようないる。  本連ないる。  本連			ル・が選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には、 いいえ、を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  別紙7に詳細を記載してください。  り以かが選択されます。
ての緩和ケアに関する治療が在宅診療でも機能して実施できる体制を容値している。     は、    は、   は、    は    ま    は    ま    は    ま    は    ま    は    ま    は    ま    は    ま    ま    は    ま    ま    は    ま    ま    は    ま    ま    は    ま    は    ま    ま    ま    は    ま    ま    ま    ま    ま    は    ま    ま    ま    ま    ま    ま    ま    ま	779   300   301	エ オ カ マ イ ウ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	その際、原生学動を認知内感を対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している。  (国施力な利産の企め、対策制度の企業の経験が関係の必要を持ている。)  (国連する学会のガイドライン等も考し、第二条を関けている。)  (アルーブ用定を受けるがん)・診療は海豚の食物が関係である。  (アルーブ用で受けるがん)・診療は海豚の食物が関係である。  (アルーブ用で受けるがん)・診療は海豚の食物が関係である。  (アルーブ用で受けるがん)・診療は海豚の食物が関係である。  (アルーブ用で受けるがん)・診療は海豚の食物が関係である。  (アルーブ用で受けるがん)・診療は海豚の食物が関係である。  (アルーブルで)・一般に対している。  (日本アックについて)・(米自原段で実際している。  (国連する学会のガイドライン等も考し、第二条を機関による出力経量測定を行い、放射線治療の必質管理を行っている。  (国連する学会のガイドライン等も考し、第二条を機関による出力経量測定を行い、放射線治療の必質管理を行っている。  (国連する学会のガイドライン等も考し、第二条を機関による出力経量測定の時期を実践すること、(YYYY/MM、例、20239)  (第二年アックについて)・(米自原段で実際して)・(本ののか)  (第二年アックについて)・(米自原段で実際して)・(本ののか)  (第二年アックについて)・(米自原段で実際して)・(本ののか)  (第二年アックについて)・(米自原段で実際して)・(本ののか)  (第二年アックについて)・(米自原段で実際して)・(本ののか)  (第二年アックについて)・(本ののか)  (第二年アックに対して)・(本ののか)  (第二年アックに対して)・(本ののか)  (第二年アックに対して)・(本ののか)  (第二年アックに対して)・(本ののか)  (第二年アックに対して)・(本のの)  (第二年アックに対して)・(本のの)  (第二年アックに対して)・(本のの)  (第二年アックに対して)・(本のの)  (第二年アックに対して)・(本の)  (第二年アックに)  (第二年アックに対して)・(本の)  (第二年アックに)  (第二年アックに対して)・(本の)  (第二年アックに対しで)  (第二年アッのに)  (第二年アッのに)  (第二年アッのに)  (第二年アッのに)  (第二年アッのに)  (第二年アッのに)  (第二年ア			ル・が選択されます。  オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には、いいえ、を選択してください。  別紙8に詳細を記載してください。  7日セスのこと。  和127日 - 413行目のいずれかが「はい"の場合のみ、自動的に"にいか"選択されます。
リ	779 800 811 82 82 83 84 84 85 85 86 86 87 87 88 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89	エ オ カ キ ク ケ コ に に は に は に に に に に に に に に に に に に に	その際、理性が動き認り内感を対策である。  (主) というない。  (主) といっない。  (主) と			ルンが選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙のに詳細を記載してください。 知識には非細を記載してください。 17日 と 19行目のいずれかが「はい"の場合のみ、自動的に"はい"が選択されます。
	79 80 81 81 82 82 83 84 85 85 86 86 87 87 87 87 87 87 87 87 87 87 87 87 87	エ カキーク ク (3) 臓和ケア イ ウ には、 ボース カ には、 ボース カ には、 ボース カ には、 ボース カ には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	その際、理性が動き設け、内部との企業を指揮している。  「日本の本語を表現している。  「日本の本語を表現している。  「日本の本語を表現している。  「日本の本語を表現している。  「日本の大語を表現している。			ルンが選択されます。 オについては、自施設で放射線治療を提供していない場合には"いいえ"を選択してください。 別紙のに詳細を記載してください。 知識には非細を記載してください。 17日 と 19行目のいずれかが「はい"の場合のみ、自動的に"はい"が選択されます。

8 / 44 ページ 様式4(機能別)

TT			要件	要件区分	令和6年9月1 日時点の状況	備考欄
	+		当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とかんに関する医療提供体制や社会的支援、緩 和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討する場を年1回以上設けている。	-	II NO MILOS DEISC	
	<u> </u>		接和ケアチームが地域の医療機関や在宅療養支援診療所等から定期的に連絡・相談を受ける体制を確保し、 必要に応じて助言等を行っている。	-		ピア・サポート:患者・経験者やその家族がピア(仲間)として体
Œ	ク シ セカ		都道府県や地域の患者会等と連携を図り、患者会等の求めに応じてピア・サポートの質の向上に対する支援等に取り組んでいる。 ビニオンに関する体制	_		共有し、共に考えることで、患者や家族等を支援すること。
	ア		医師からの診断結果や病状の説明時及び治療方針の決定時等において、すべてのがん患者とその家族に対して、他施設でセカンドオピニ オンを受けられることについて説明している。	-		
			説明の際、心理的な課壁を取り除くことができるよう留意している。 がん典者に対するB-010 診療情報提供書(II)の算定件数(期間:令和5年1月1日~12月31日)			
	イウ		当該施設で対応可能ながんについて、手術療法、放射線療法、薬物療法又は緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する風跡により セカンドギビニオンを提示する体制が整備し、最初にかかりやす公室すること。 セカンドギビニオンを提示する場合は、必要に応じてナンラインでの制能を受け付けることができる体制を確保している。	-		
(6	<ul><li>きま</li><li>ア</li></ul>	1ぞれ(	D特性に応じた診療等の提供体制 希少がん・報治がんの患者の診断・治療に関しては、精極的に都道府県協議会における役割分担の整理を活用し、対応可能な施設への紹			
	7		介やコンサルテーションで対応している。 小別が心患者で長期フォローアップ中の患者については、小児が心拠点病院や連携する医療機関と情報を共有する体制を整備している。 各地域のがが、生殖医療ネットワークに加入し、「小児・AYA世代のが心患者等の好孕性温存療法研究促進事業」へ参画するとともに、対象	-		
	ゥ		台地域のかん・土地区版ペンドノーノー加入し、「小YANALINOが小型自分の対学は温仕旅法研究促進事業」へ参加するCCもに、対象 となりら高素者や変態には必ず治療開始前に情報提供している。 患者の希望を確認するとともに、が必治療を行う診療料が中心となって、院内または地域の生殖医療に関する診療科とともに、妊孕性温存療	-		
		2	法及びがん治療後の生殖補助医療に関する情報提供及び意思決定支援を行う体制を整備している。 自施設において、がん・生殖医療に関する意思決定支援を行うことができる診療従事者の配置・育成に努めている。	-		別紙10に詳細を記載してください。
	I		放学、就労、妊孕性の温存、アビアランスケア等に関する状況や本人の希望についても確認し、自施設もしくは連携施設のがん相談支援セン テーで対応できる体制を整備している。	-		妊孕性:子どもをつくるために必要な能力のこと。精子や卵子ではなく、性機能や生殖器、内分泌機能も重要な要素である、 アピアランスケア: 医学的・整容的・心理社会的支援を用いて見の変化を補完し、外見の変化に起因するが心患者の苦痛
			それらの相談に応じる多職種からなるAYA世代支援チームを設置している。 一般社団法人AYAがんの医療と支援のあり方研究金の開催する「AYA世代がんサポート研修会」を受けた院内の診療従事者の人数 (尚、AYA世代支援チームに在籍する者に限らない)	-		するケアのこと。 別紙10に詳細を記載してください。
	オ		高齢者のが人に関して、併存症の治療との両立が図れるよう、関係する診療科と連携する体制を確保している。 また、意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている。			
	b	ŀ	高齢のが心患者に関して、必要に応じて高齢者総合機能評価を行っている。 医療機関としてのBCPを策定している。	-		別紙10に詳細を記載してください。
(2) 診	療従事	事者 門的な9	ロ議及び技能を有する医師の配置 ※以下、常勤職員の人数を回答する項目において、非常勤職員を常勤機算して常勤職員と合算することに	は不可です。		
	ア		対応可能ながんについて専門的な知識及び技能を有する手術療法に携わる医師の人数	-		※一人以上の配置が必要です。専従:専従とは当該診療の実施日において、当該診療に専ら
	1		専従の放射総治僚に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の人数(※放射総治療を実施する場合)	-		していることをいう。この場合において、「専ら従事している」と その就業時間の少なくとも割以上、当該診療に従事している をいう。 ※自施設で放射線治療を実施している場合は、一人以上の が必要です。
	ゥ	:	専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	-		専任:専任とは当該診療の実施を専ら担当していることをいっ の場合において、「専・担当している」とは、その他診療を兼 いても差し支えないものとする。ただし、その戦業時間の少な 5割以上、当該診療に従事している必要があるものとする。 ※一人以上の配置が必要です。
	Ι	i	緩和ケアチームに配置されている、専任の身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の医師の人数	-		常勤:原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者 う。病院で定めた医師の1週間の勤務時間初、23時間式、23時間は、32時間以上勤務している者を常動とし、その他は非常動 る。 ※一人以上の配置が必要です。
			当該医師のうち専従の者の人数 緩和ケアチームに配置されている、精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の人数 ************************************			※一人以上の配置が必要です。
	+	-	当該医師のうち、専任の者の人数 当該医師のうち、常勤の者の人数 専任の病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の人数			
G	2) 直門	明的な	学ないが理念的に抜いる学口的はA知識及び及能を有うる医師の人数 リルビリテーションに構わる専門的な知識法とは代格を有する医師の人数 知識及び技能を有する医師以外の診療従事者の配置	-		
	ア	-	放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の診療放射線技師を2人以上配置している。(放射線治療を実施する場合) 放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の診療放射線技師の人数	-		※放射線治療を自施設で実施する場合には、2人以上の配
			からでは「おうでからない」というでは、「おうでからないない」というでは、「おうでからないないからないからないからないからないからないからないからないからないから			要です。
		ľ	学士の放射線治療に携わる専門的は知識及び技能を有する常動の看護師を1人以上配置している。(放射線治療と実施する場合) 専任の放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常動の看護師の人数	-		※放射線治療を自施設で実施する場合には、1人以上の配きし、
	_	-	上記の看護師のうち、放射線治療に関する専門資格を有する者の人数 外来化学療法室に配置されている、専任の薬物療法に携わるがん看護又はがん薬物療法に関する専門的な知識及び技能を有する常動の	-		W INTO THE CASE OF
	1		看護師の人数 当該看護師のうち、専従である者の人数	-		※一人以上の配置が必要です。
			外来化学療法室に配置されている、専任の薬物療法に携わるがん看護又はがん薬物療法に関する専門的な知識及び技能を有する常動の 春理師のうち、がん看護又はがん薬物療法に関する専門的な知識及び技能を有する常動の薬剤師の人数 毎任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の薬剤師の人数	-		
	ゥ	i	等性の条例放流に残りる等下的はA加減及び技能を有する希別の条例側の人数 緩和ケアテームに配置されている、専従の緩和ケアに携わるが人看護又は緩和ケアに関する専門的な知識及び技能を有する 常数の看護師の人数	-		※一人以上の配置が必要です。
	I		当該看護師のうち、がん看護又は緩和ケアに関する専門資格を有する者の人数 緩和ケアチームに協力する薬剤師、社会福祉士等の相談支援に携わる者、公認心理師等の医療心理に携わる者を	-		
	-	ļ	それぞれ1人以上配置している。 緩和ケアチームに協力する薬剤師の人数 緩和ケアチームに協力する社会福祉士等の相談支援に携わる者の人数			
	オ	-	緩和ケアチームに協力する公認心理師等の医療心理に携わる者の人数			
	-		機能診断に係る業務に携わる専門的な知識及び技能を有する者の人数 当該診療従事者のうち、細胞診断に関する専門資格を有する者の人数 がんのリハビリテーションに係る業務に携わる展門的な知識および技能を有する理学療法士、作業療法士、直接原生す等の人数 がんのリハビリテーションに係る業別に携わる専門的な知識および接続を有する哲学療法よの人数 がんのリハビリテーションに係る業別に携わる専門的な知識および接続を有する首体業療法士の人数 がんのリハビリテーションに係る業別に携わる専門的な知識および接続を有する首体業療法士の人数 がんのリハビリテーションに係る業別に携わる専門的な知識および接続を有する首体業療法士の人数			
(3) そ	の他の	り環現3	を領寺 以頭に広! ゲルーブ指令を受けるがん診療連準拠占確院と連準する等により IT の2の(3)に令める悪性を落たすこと			
(2			患者とその家族が利用可能なインターネット環境を整備している。 集学的治療等の内容や治療前後の生活における注意点等に関して、冊子や視聴覚教材等を用いてがん患者及びその家族が自主的に確認	-		別紙9に詳細を記載してください。
			できる環境を整備している。 その冊子や視聴覚数材等はオンラインでも確認できる。			
(4			がん治療に伴う外見の変化について、がん患者及びその家族に対する説明やアビアランスケアに関する情報提供・相談に応じられる体制を整備している。	-		ロログディオーラングニナ ラフキナト・アノナ・ナト、
(4	U		な感じている。 が気息者の自身リスクに対し、膣内で共通したフローを使用し、対応方法や関係機関との連携について明确にしている。 対応方法や関係機関との連携について、関係職種に情報共有を行う体制を模型している。 自施設に精神料、心療内科等がある。			別紙14に詳細を記載してください。
		-	自施設でがん患者の自殺リスクに対応できる。			自施設に精神科はあるが、自施設単体で対応できない場合:
3 診療実	<b>(積</b>		自施設に精神科、心療内科等がない場合は、地域の医療機関と連携体制を確保している。			してください。
			当該が心医療圏のが心患者を一定程度診療していること。 当該が心医療圏のが心患者の診療割合(%)			右隣シート「(参考)診療割合算出表」を適宜ご参照ください。
			院内がん登録数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-		計上方法: 入院、外来は問わない自施設初回治療分。症例区 および30の数をいう。 計上方法: 医科診療報酬点数表第2章第10部に掲げる悪性
			悪性腫瘍の手術件数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-		手術をいう。(病理診断により悪性腫瘍であることが確認され 合に限る。)なお、内視鏡的切除も含む。
			がんに係る薬物療法のべ患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-		計上方法:経口、静注または皮ト注射による全身投与を対象 る。ただし内分泌療法単独の場合は含めない。なお、患者数
		ŀ	うち、外来化学療法のべ患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	_		いては1レジメンあたりを1人として計上する。
			2 52 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			計上方法: 医科診療報酬点数表第2章第12部の放射線治療
			放射線治療のべ患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-		れるものとする。ただし、血液照射は除く。なお、患者数につし
		_	放射総治療のべ患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 緩和ケアチームの新規介入患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-		れるものとする。ただし、血液照射は除く、なお、患者数につし 複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば!人と 計上する。 計上方法:患者数については同一入院期間内であれば複数
4 人材育	成等		緩和ケアチームの新規介入患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)	-		れるものとする。ただし、血液照射は除く。なお、患者数につし 複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1人と 計上する。
4 人材育	成等	-	緩和ケアチームの新規介入患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 必要に応じグループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携する等により、耳の4に定める要件を満たすこと。 自該版において、2に掲げる診療体制での他要件に関連する影響のために必要な人材の確保や可原に積極的に取り組んでいる。 機能、診療の原本系あるために必要な、各種学金的哲質する音響等の問題についても構物的に実現している。 機能、診療の原本系あるために必要な、各種学金的哲質する音響等の問題についても特殊的に実現している。	-		れるものとする。ただし、血液照射は除く、なお、患者数につし 複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば!人と 計上する。 計上方法:患者数については同一入院期間内であれば複数
	成等		緩和ケアチームの新規介入患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日) 必要に応じグルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携する等により、且の4に定める要件を満たすこと。 自該版において、2に掲げる診療体制その他要件に関連する原規のために必要な人材の確保や育成に積積的に取り組んでいる。			れるものとする。ただし、血液照射は除く。なお、患者数につ 複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1人と 計上する。 計上方法:患者数については同一入院期間内であれば複数
(2)	成等		議和ケアチームの新規介入患者数 (期間:令和5年1月1日~12月31日)  必要に応じグルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携する等により、Ⅱの4に定める要件を満たすこと。 自然院において、2に掲げる診療体制その他要性に関連する影響のためた必要な人材の確保や可求に積極的に取り組んでいる。 機能、診療の原生系のあるために必要なな、各種学会が民間である。 成者可能な資格を有する者のが仏診療への配置状況について積極的と必要している。 関係民は、自然的においてが仏感療化、伊田園社の規定とついて積極的と公表している。 関係民は、自然的においてが仏感療化、伊田園社の規定とついて積極的と公表している。 関係民は、自然的においてが仏影像で、の配置状況について積極的と公表している。 制御法とする整件を手分と参拝できる体制が参考機している。 が仏等の診療においては一般できる体制が参考機と同様に対している。 別法に主味し、当該が仏影像圏においてが仏診療に携わる医師を対策との関係は針に対で見まり目付け健康120第22月至5月目代の第2年度生労働省健康局長通知の別法)に実地、当該が仏影像圏においてが仏診療に携わる医師を対策とした。 また、自然後の長、および自然的に対してが仏診療に携わる医師を対策とが、経験により、 ・ また、自然後の長、および自然的に対してが仏診療に携わる医師を対策とが仏診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修 できる体制を発展している。  実施を発現を指すにおいて以下の通り報告する。 今旬8年9月1日の自然では、またいに表している。  実施を発現を指すにおいて以下の通り報告する。	- - - - -		れるものとする。ただし、血液照射は除く、なお、患者数につし 複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば!人と 計上する。 計上方法:患者数については同一入院期間内であれば複数
(2)	成等		議和ケアチームの新規介入患者数 〈期間: 令和5年1月1日~12月31日)  必要に応じがルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携する等により、且の4に定める要件を満たすこと。 自然院において、2に揚げる診療体験をの他要性に関連する影像のために必要な人材の確保や資料に積極的に取り組んでいる。 構造、診路の原本系のために必要な、各種学金件が設定する音楽をの影視についても無疑的に変現している。 「機能な資格を有する音のがん診療への配置状況について極極的これ表している。 「機能な資格を有する音のがん診療への配置状況について極極的これ表している。 「機能な資格を有する音のがん診療への配置状況について極極的これ表している。 「動きがたの趣門性を十分に急種できる体験がを機している。 が人等わ診療においてがん患が機能である機能が、単位している。 が人等わ診療に持ちる医師ではよりを準備している。 が人等の診療に持ちる医師ではよりを構作がある医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、都道所泉と協議のよ、開催している。  また、自然後の長、および自然設定・所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が自該研修を修 でする体験を表し、たいる、 ・・表に自然の長、および自然設定・所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が自該研修を修 でする体験を表している。 ・・表に自然を表している。 ・・表に表している。 ・・表に自然の長、および自然設定・所属する部は保持を多の関性情報を表しましている。 ・・表に自然なの長、および自然設定・所属する部は保持を多のできない。 ・・表に自然ないる場合は、これないる。 ・・表に表している。	-		れるものとする。ただし、血液照射は除く、なお、患者数につし 複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば!人と 計上する。 計上方法:患者数については同一入院期間内であれば複数
(2)	成等		認力を発生している。  「おおいます。 および自然的である。 および自然的である。 またい、 1004に定める要件を満たすこと。 1000によいて、 212場でも設備を発生している。 1000によいて、 212場でも設備を発生している。 1000によいて、 212場でも設備を発生している。 1000によいて、 212場でも設備を持ちる時代を持ちている。 1000によいて、 212場でも設備を対している。 1000によいてが、 2020によりを発生している。 1000によいてが、 2020に関するでは、 1020によいには、 2020に関するとは、 1020に対しては、 2020に対しては、 2020に対しては、 2020に対しては、 2020に対しては、 2020に対しては、 2020に対しては、 2020に対してが、 2020に対しては、 2020に対してが、 2020に対しては、 2020に対しては、 2020に対しては、 2020に対しては、 2020に対しては、 2020に対しては、 2020に対しては、 2020に対しては、 2020に対しては、 2020に対し、	- - - - - - - - -		れるものとする。ただし、血液照射は除く、なお、患者数につい 複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1人と 計上する。 計上方法:患者数については同一入院期間内であれば複数
(2)	成等		議和ケアチームの新規介入患者数 〈期間:令和5年1月1日~12月31日〉  必要に応じブルーブ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携する等により、且の41に定める要件を満たすこと。 自意談において、21に掲げる診療体制での他要件に関連する影射のためこ必要な人材の確保や音点に関係した。 自意談において、21に掲げる診療体制での他要件に関連する影射のためこ必要な人材の確保や音点に指揮的に取り組んでいる。 例は、診療の質を高めなため」必要な、各種学会が認定する意務等の取倒についても精神的に変視している。 とも可能な質様を有する者のが必要への能量が実について精神的に必要している。  解及長は、自意設においてが小原療に携わる毎門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師事が行の動門性を分ける機できる体験が参加している。  がん等の診療に携わる医師等に対する経費やアは呼吸をの間では、1月1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長過知の がん等の診療に携わる医等に対してが心が表で、1世末のと呼び上の其で見ずりである時を、都道所泉に協議のよ、開催している。  を表しましまいまし、「一般に対してが心診療に持ちる際を対象とした緩和ケアに関する時を、都道所泉に協議のよ、開催している。  を表しまいまして、10人の表し機能が当該研修を修  でする場別を機している。  ・ および自然的を機能している。  ・ および自然のよりましての過じ機能する。  ・ おもび自然のよりましての過じ機能する。  ・ おもび自然研修を修了者数  ・ うち当該研修を修了者数  ・ 「本は、10人の過じ機能する。  ・ 「本は、10人の過じ機能が一般に対している。  ・ 「本は、10人の過じ機能が、10人を表しましている。  ・ 「本は、10人の過じ機能が、10人の過じ機能が、10人を表しましている。  ・ 「本は、10人の過じ機能を対しませ、10人の過じ機能が、10人の過じ機能が、10人の過じ機能が、10人の概能に対しませ、10人の概能を対しませ、10人の過じ機能を表しましている。  ・ 「本は、10人の場合と表しましている。  ・ 「本は、10人のの場合と表しましている。  ・ 「本は、10人ののは、10人ののは、10人ののは、10人ののは、10人ののは、10人ののは、10人ののは、10人の	-		れるものとする。ただし、血液照射は除く、なお、患者数につい 複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1人と 計上する。 計上方法:患者数については同一入院期間内であれば複数

9 / 44 ページ 様式4(機能別)

11 #	11 指針の箇所			要件	要件区分	令和6年9月1	備考欄
_	IS V			□ 自施設の診療従事者等に、がん対策の目的や意義、がん患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供してい	安計區方	日時点の状況	调
527		(6)		目記成の必然体争有等に、かん対象の目的で思義、かん思有でもの家族が利用できる制度で関係機関との連携体制、目記版で提供している診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。	-		
528				自施設のがん診療に携わる全ての診療従事者が受講している。			
529				令和5年1月1日~12月31日の開催回数			
530				令和5年1月1日~12月31日の期間に実施した研修のうち、代表的な内容を一つ記載してください。	-		
F01		(7)		Donn 系統はも4会して よ( ) 系統に関すて係るからではすってのかにつかに アンフ			
531 532		(7)		院内の看護師を対象として、がん看護に関する総合的な研修を定期的に実施している。 令和5年1月1日~12月31日の開催回数			
533				令和5年1月1日~12月31日の期間に実施した研修のうち、代表的な内容を一つ記載してください。	-		
534				他の診療従事者についても、各々の専門に応じた研修を定期的に実施するまたは、他の施設等で実施されている研修に	_		
535		(8)		参加させている。			
536	5		援及び情報	医科歯科連携による口腔健康管理を推進するために、歯科医師等を対象とするがん患者の口腔健康管理等の研修の実施に協力している。 ・の収集提供	_		
537			(ん相談支援	センター			
538				がん相談支援センターを設置し、①、②の体制を確保した上で、グループ指定のがん診療連携拠点病院との連携と役割分担によりIIの5の (1)の③から③に規定する相談支援業務を行っている。	-		
539				必要に応じてオンラインでの相談を受け付けるなど、情報通信技術等も活用している。 コミュニケーションに配慮が必要な者や、日本語を母国語としていない者等への配慮を適切に実施できる体制を確保している。			
540 541				コミューケーンヨンに配慮が必要な者や、日本語を時間語としていない看等への配慮を適切に実施できる体制を確保している。 情報取得や意思疎通に配慮が必要な者に対するマニュアルを作成している			
541 542		(	D	国立がん研究センターによるがん相談支援センター相談員研修を修了した専従及び専任の相談支援に挟わる者を1人ずつ配置している。			
543 544		C	2)	当該者のうち、1名は相談員基礎研修(1)、(2)を、もう1名は基礎研修(1)から(3)を修了している。 相談支援に進わる表は、対応の質の向上のために、が6、相談支援センター相談員研修等に上り定期的な知識の重新に努めている。			別紙13に詳細を記載してください。
545			3)	相談支援に携わる者は、対応の質の向上のために、がん相談支援センター相談員研修等により定期的な知識の更新に努めている。 院内及び地域の診療従事者の協力を得て、院内外のがん患者及びその家族並びに地域の住民及び医療機関等からの相談等に対応する体	-		別紙12に詳細を記載してください。
546			~	制を整備している。  相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築に積極的に取り組んでいる。	-		別紙14に詳細を記載してください。
547		(	4)	がん相談支援センターについて周知するため、以下の体制を整備している。	-		Minute in the Character of the Character
548			ア	外来初診時から治療開始までを目処に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問(必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も含む)することができる体制を整備している。	-		別紙13に具体的な取り組みを記載してください。
549			1	治療に備えた事前の面談や準備のフローに組み込む等、診療の経過の中で患者が必要とするときに確実に利用できるよう	_		
550			7	繰り返し来内を行っている。  院内の見やすい場所にがん相談支援センターについて分かりやすく掲示している。			
551			Í	地域の住民や医療・在宅・介護福祉等の関係機関に対し、がん相談支援センターに関する広報を行っている。	-		
552 553			*	自施設に通院していない者からの相談にも対応している。 がん相談支援センターを初めて訪れた者の数を把握し、認知度の継続的な改善に努めている。			
554			4				※指定された期間以前に、がん相談支援センターを利用した者の
555		e	E)	令和5年1月1日~12月31日の期間に、がん相談支援センターを初めて利用した者の相談件数			件数については、計上しないようご注意ください。
556			9)	がん相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを得る体制を整備している。 フィードバックの内容を自施設の相談支援の質の向上のために活用するとともに、都道府県協議会で報告し、他施設とも情報共有している。			
557		0	6)	患者からの相談に対し、必要に応じて速やかに院内の診療従事者が対応できるよう、病院長もしくはそれに準じる者が統括するなど、がん相	-		
_		-		談支援センターと院内の診療従事者が協働する体制を整備している。 がん相談支援センターの相談支援に携わる者は、Nの2の(4)に規定する当該都道府県にある都道府県拠点病院が実施する相談支援に携			
558			D	わる者を対象とした研修を受講している。			
559 560		(4	8)	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための患者サロン等の場を設けている。  その際には、一定の研修を受けたピア・サポーターを活用する、もしくは十分な経験を持つ患者団体等と連携して実施するよう努めている。			
560 561				オンライン環境でも開催できる。	-		
562 563			内がん登録	t  院内がん巻級の実施に係る指針に即して院内がん巻級を実施している。	-		別紙16に詳細を記載してください。
564		Ġ		国立がん研究センターが実施する研修で認定を受けている、専従の院内がん登録の実務を担う者を1人以上配置している。			初級認定者または中級認定者の1人以上配置が必要です。
565 566				中級認定者の認定を受けている、専従の院内がん登録の実務を担う者の人数 初級認定者の認定を受けている、専従の院内がん登録の実務を担う者の人数			
567		C		毎年、最新の登録情報や予後を含めた情報を国立がん研究センターに提供している。	-		
568 569		(3) 情	報提供・普及	及啓発   II の5の(3)に定める要件を満たすこと。			
570		(	D	自施設で対応できるがんについて、提供可能な診療内容を病院ホームページ等でわかりやすく広報している。			
571				希少がん、小児がん、AYA世代のがん患者への治療及び支援(妊孕性温存療法を含む)やがんゲノム医療についても、自施設で提供できる場合や連携して実施する場合はその旨を広報している。	-		
572 573				希少がんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。			
573 574				提供できる治療・支援の内容を広報している。 小児がんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。	A/		
575				提供できる治療・支援の内容を広報している。	A/-		
576				AYA世代のがんへの治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。 提供できる治療・支援の内容を広報している。	- A/-		
577 578				<u> </u>			
579 580				提供できる治療・支援の内容を広報している。 がんゲノム医療への治療及び支援を自施設もしくは連携する施設への紹介等で提供できる。	A/-		
581				ががノイム医療への治療及び支援を自認度ないには連携する認度でいればするに使いてきる。 提供できる治療・支援の内容を広報している。 大規模災害や感染症の流行などにより自院の診療状況に変化が生じた場合には、速やかに情報公開をするよう努めている。	A/-		
582 583		0	2)	大規模災害や感染症の流行などにより自院の診療状況に変化が生じた場合には、速やかに情報公開をするよう努めている。			
584			~	当該がん医療圏内のがん診療に関する情報について、病院ホームページ等でわかりやすく広報している。 特に、我が国に多いがんの中で、自施設で対応しない診療内容についての連携先や集学的治療等が終了した後のフォローアップについて地			
585		-	3)	域で連携する医療機関等の情報提供を行っている。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育、患者向け・一般向けのガイドラインの活用法等に関する普及啓発に努めている。			
586				地域を対象として実施した、がんに関するセミナー等の開催回数(総数)			地域の定義としては少なくとも市民を含むこと。
587			4)	参加中の治験についてその対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報している。 患者に対して治験も含めた医薬品等の臨床研究、先進医療、患者申出療養等に関する適切な情報提供を行うとともに、必要に応じて適切な	-		
588		(	5)	医療機関に紹介している。	-		別紙17に詳細を記載してください。
589		0	6	がん教育について、当該がん医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として診療従事者を派遣し、がんに関する正しい知識の普及啓発に努めている。	-		
590				なお、がん教育の実施に当たっては、児童生徒が当事者である場合や、身近にがん患者を持つ場合等があることを踏まえ、対象者へ十分な	-		
591	6	施庄和	究及び調査	配慮を行っている。			
592		(1)		政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究に協力に努めている。			
Enn				これとの草本の物もは経に対応する空口の連絡は本国立が人草本はいた。 にきぬまで			別紙18に詳細を記載してください。別紙18へ記載して現況報告書
593				これらの研究の協力依頼に対応する窓口の連絡先を国立がん研究センターに登録する。	-		を厚生労働省に提出することをもって、本要件は充足したとしてくだ さい。
594		(2)		治験を含む医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置すること。			
595 596				治験を含む医薬品等の臨床研究を行っている。 臨床研究コーディネーターを配置している。	-		
597				臨床研究コーディネーターとして勤務している者の人数			
598 599				治験を除く医薬品等の臨床研究を行う場合は、臨床研究法に則った体制を整備している。 治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。			
600				臨床研究法に則った体制を整備している。			
601 602	7	医病の	質の改善の	実施内容の広報等に努めている。			
603	,	(1)	・異い政告の	自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内			
604		(1)		の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じている。 その際にはQuality Indicatorを利用するなどして、PDCAサイクルが確保できるよう工夫をしている。			
605		(2)		その除しはQuality Indicatorを利用するなどして、PDCAサイクルが確保できるよう工夫をしている。  医療法等に基づく医療安全にかかる適切な体制を確保している。			別紙20に詳細を記載してください。
606		(3)		日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けている。	_		別紙20に詳細を記載してください。
500		(5)					日本医療機能評価機構に加え、JCI、ISO9001の認定も該当する。
607				第三者の名称	-		
608				直近で評価を受けたタイミング(YYYY/MM、例: 202309)	_		
				BLEE CAT BEING X 1771—27 1 1 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			

10 / 44 ページ 様式4(機能別)

### 様式4(機能別)の該当指定要件のAのうち満たしていない項目について

記載の有無:入力済/未入力あり/不要 不要

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 時期·期間: 令和6年9月1日時点

時期・期 ※様式4(機能別)の該当指定要件のAのうち満たしていない項目について、満たしていない項目とその理由と今後の見通し等について具体的に記載してください。 ※適し番号については、様式4(機能別)シートのA列(左端)の番号を記入してください。 ※令和の年9月2日以降に、要件の充足状況に変動があった場合には、別途、都道府県を通じて文書で厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課へ届け出てください。 ※右上について、最初は「不要」と表示されます。様式4(機能別)を入力後に、上部にある「様式4(機能別)シートの入力後、クリックしてください。」ボタンを押下ください。未充足要件が抽出されます。 参和の年9月1日時台で基本サイでいない事件

	通し番号	令和6年9月1日時点で満たせていない要件 (通し番号を入力すれば、自動入力されます。)	現状の説明	充足見込み時期
例	120	専任の放射線診断に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の人数	令和6年9月1日時点では専任の医師は配置できていない(兼任で配置している)。	令和7年3月1日段階での整備を行う予定である。
例	176	放射線治療のベ患者数 (基準: 年間200人以上、期間: 令和5年1月1日~12月31日)	令和5年○月○日~令和5年○月○日までの期間、放射線治療機器の入れ替えを行ったため同期 間の治療ができなかった。令和5年○月○日以降は通常通りの治療を行っている。また、直近1年間 の治療美額は○件であった。	令和6年は基準の治療数を達成できる見込み。
例	278	治験を除く医薬品等の臨床研究を行っている。	日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けていない。	令和7年1月に日本医療機能評価機構の第三者評価を受審予定である。
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

11/44

_		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		
37		
38		
39		
40		

12/44 別紙1未充足要件

### 専門とするがんの診療状況

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

時期・期間: 令和5年1月1日~12月31日

時期・期間: 令和5年1月1日~12月31日 我が国に多いがんと、希少がんを含むそれ以外のがんの各がん種において、
■診断および初発例に対する各治療、再発例への治療について自施設の専門レベルを専門: ②、対応可: 〇、他施設へ紹介: △で記入してください。
・専門(③): 当該がんを特に専門とする医師がおり、周囲の施設から患者を積極的に集めている
・対応可(○): (積極的に患者を実体のあわけではないがの受診された患者は自施設で標準的な対応(診断・治療)が可能である
・他施設へ紹介(△): 他の施設に紹介することで対応している
■診断あるいは、いずれかの治療について、「専門④」あるいは「対応可○」と記載した場合は、2022年、2023年の治療開始数(院内がん登録の、症例区分20, 21, 30)を、国立が仏所文センターにおいて計算し提供しますので記入不要です。その際には、より詳細な区分で集計します。
■ 歯者には、手術・放射線・薬物療法以外で行っている治療や特に当該がん種に関する窓口などがあれば、記載して下さい。
■ 恒底に試験の実績の有無については、過去5年間の底床試験の参加実績の有無についてご記入ださい(有・無)。
■ 特に明記されていないところでは、各臓器でリンバ腫を除く各部位のがんについてお答えください。
■ 通常初回治療として行われない治療については、記入不要です(グレー青景)。それ以外は全てご回答ください。

注1 専門(◎):当該がんを特に専門とする医師がおり、周囲の施設から患者を積極的に集めている 対応可(O): (積極的に患者を集めるわけではないが)受診された患者は自施設で標準的な対応(診断・治療)が可能である 他施設へ紹介(A): 他の施設に紹介することで対応している 際床試験=:治験であれば」~ III 利いずれでもよい。

1 = 2 臨床試験=治験であれば I $2 = 2$ 回相いずれでもよい。							-			
					↓どれかに専門/対応可としたときは公開 治療開始数			<b>进</b> 本		
		専门 型 / 対応	初発例への治療	で紹介立(注1.	1	-	石景	<b>荆妇</b> 剱		備考
成人(15歳以上)	診断 (生検等)	手術	放射線	薬物療法	再発例への治療	臨床試験(注 2)の実績の有 無	2022年	2023年	担当診療科 (複数記載可)	公開の窓口・特記事項など
脳腫瘍(リンパ腫以外)	0	0	0	0	0	無	(良悪性を別に	集計表示)	脳神経外科	
脳腫瘍(リンパ腫)	0		0	0	0	無			血液内科	
脊髄腫瘍	0	Δ	Δ	Δ	Δ	無無			整形外科	
眼腫瘍(眼瞼以外)	Δ (6)	Δ	Δ ©	Δ ©	Δ ©	無無			眼科 田 自 刊	
鼻腔・副鼻腔がん 口腔がん	0	<u> </u>	0	0	0	<del>#</del>			<u>耳鼻科</u> 耳鼻科	
咽頭がん(上・中・下)	0	Ā	0	0	0	無	(上・中・下咽頭	を別に集計表示	T島科	
喉頭がん	0	0	0	0	0	無		C 777 - 214 H 1 24 17	耳鼻科	
唾液腺がん	0	0	0	0	0	無			耳鼻科	
外耳道がん	0	Δ	0	0	0	無			<u>耳鼻科</u> 耳鼻科	
<u>頭頚部肉腫</u> 甲状腺がん	0	<u>∆</u>	0	0	0	無無			<u> 耳鼻科</u> 耳鼻科・外科	
乳がん	0	0	0	0	0	有			<u> </u>	
気管がん	0	0	0	0	0	無			呼吸器内科·呼吸器	
非小細胞肺がん	0	0	0	0	0	有			<u>外科</u> 呼吸器内科·呼吸器	
									<u>外科</u> 呼吸器内科·呼吸器	
小細胞肺がん	0	0	0	0	0	無			外科	
胸腺がん	0	0	0	0	0	無			呼吸器内科·呼吸器 外科	
胸腺腫	0	0	0	0	0	無			呼吸器内科·呼吸器 外科	
縦隔胚細胞腫瘍	0	0		0	0	無			呼吸器内科·呼吸器 外科	
縦隔腫瘍(上記以外の腫瘍)	0	0	0	0	0	無			呼吸器内科·呼吸器 外科	
中皮腫(胸膜)	0	0	0	0	0	無			呼吸器内科·呼吸器	
中皮腫(腹膜)	0	Δ	Δ	Δ	Δ	無			外科 消化器内科·外科	
食道がん	0	<u> </u>	©	0	<u> </u>	無			消化器内科·外科	
胃がん	Ö	0	<u></u>	Õ	0	無			消化器内科·外科	
小腸がん	0	0	0	0	0	無			消化器内科·外科	
大腸がん(結腸・直腸)	0	0	0	0	0	有			消化器内科·外科	
肛門・肛門管がん	0	0	0	0	0	無			消化器内科·外科	
消化管間質性腫瘍(GIST) 消化管の神経内分泌腫瘍(NET/NEC)	<u> </u>	0	0	0	0	無無	(NET,NECは別	に作計主ニ)	消化器内科·外科 消化器内科·外科	
肝臓がん	0	0	0	0	<u></u>	# #	(NET,NEOLAZI)	三未訂 仅小/	消化器内科・外科	
胆のう・胆管がん	0	0	0	0	0	無	(肝内、肝外を)	別に集計表示)	消化器内科·外科	
膵臓がん(NET/NEC以外)	0	0	0	0	0	無			消化器内科·外科	
膵臓の神経内分泌腫瘍(NET/NEC)	0	0	0	0	0	無	(NET,NECは別	に集計表示)	消化器内科·外科	
腹膜偽粘液腫(他のがんの腹膜播種を除く)	0	Δ.		Δ.	Δ.	無			消化器内科・外科	
デスモイド腫瘍	00	Δ	Δ	<u> </u>	Δ	無有			整形外科 血液内科·外科	
<u>後腹膜肉腫</u> 腎がん	0	<u> </u>	Δ	<u>∆</u>		無			腎臓内科·泌尿器科	
褐色細胞腫·傍神経節腫瘍(頭頸部以外)	ŏ	ŏ	0	ŏ	ŏ	無			泌尿器科	
副腎皮質がん	0	0	0	0	0	無			泌尿器科	
腎盂尿管がん・膀胱がん	0	0	0	0	0	有	(腎盂·尿管·膀	胱は別に集計表		
精巣腫瘍	0	0	0	0	0	無			泌尿器科	
<u>前立腺がん</u> 子宮頸がん(上皮性)	0	© ©	© ©	© ©	0	無			<u>泌尿器科</u> 産婦人科	
子宮類がん(工及性) 子宮体がん(上皮性)(子宮がん肉腫を含む)	0	0	0	0	0	無無			<u> 産婦人科</u> 産婦人科	
子宮肉腫	Ö	0	0	0	0	無			産婦人科	
卵巣がん、卵管がん、腹膜がん(上皮性)	0	0		0	0	無			産婦人科	
卵巣悪性胚細胞腫瘍	0	0		0	0	無			産婦人科	
外陰がん	0	0	0	0	0	無			産婦人科	
四肢・表在体幹の悪性軟部腫瘍 四肢の悪性骨腫瘍	0	 △		 Δ	 △	無無			皮膚科	
四肢の悪性骨腫瘍 脊椎・骨盤の悪性骨腫瘍	0	Δ	Δ	Δ	Δ	無無			整形外科 整形外科	
皮膚の悪性黒色腫	0	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		無			皮膚科	
皮膚がん(悪性黒色腫以外)	0	0	0	0	0	無			皮膚科	
悪性リンパ腫	0		0	0	0	有			血液内科	
急性白血病(骨髄性、リンパ性)	0		0	0	0				血液内科	
慢性白血病(骨髄性、リンパ性) 多発性骨髄腫	0		0	0	0	無有			血液内科	
原発不明がん	0	0	<u></u>	<u> </u>	<u></u>	<del>-1</del>			血液内科 血液内科	
			対応可〇/他施			Ans.	治療	開始数		備考
小児(15歳未満)	診断 (生検等)	手術	初発例への治療 放射線	薬物療法	再発例 への治療	臨床試験の 実績の有無	2022年	2023年	担当診療科 (複数記載可)	公開の窓口・特記事項など
小児脳腫瘍	0	0	0	0	Δ	無			小児科	
小児眼腫瘍	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	無			小児科	
小児悪性骨軟部腫瘍	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	有			小児科	
小児造血器腫瘍 小児固形腫瘍(脳・目・骨軟部以外)	0	0	© O	0	Ŏ	有			小児科	
小元回形腥煬(脳・日・育戦部以外)	)	)	)	)	Δ	無			小児科	1

### 我が国に多いがんに対して、自施設で対応しない診療内容

記載の有無:入力済/未入力あり 入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 時期・期間: 令和6年9月1日時点

我が国に多いがんに対して、下の表に状況を記載してください。

我が国に多いがん	自施設で対応している記 自施設で対応しない診察	疹療内容について"○"を 療内容について"×"を入	.、 、カしてください。	自施設で対応していない診療内容についての連携先		
2 2	手術療法 薬物療法 加		放射線療法	(施設名·診療内容)		
(例)膵臓がん	×	0	×	手術を要する膵臓がん患者は、連携する××病院に紹介している。 手術後の薬物療法については、自施設で対応している。		
大腸がん	0	0	0			
肺がん	0	0	0			
胃がん	0	0	0			
乳がん	0	0	0			
前立腺がん	0	0	0			
肝がん	0	0	0			
胆のう・胆管がん	0	0	0			
膵臓がん	0	0	0			

# カンファレンスについて

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

※この別紙は任意記載です。整備指針Ⅱの2の(1)の①のウ及びⅥの2の(1)の①のオに定めるカンファレンスのうち、iv について記載してください。 なお、記載がない場合は、「記載なし」と記入してください。

ivのカンファレンスについて、検討している症例・テーマ・参加する職種等について自由記載してください。

定期的な開催が現状難しい場合には、その理由を記載してください。

- ・子どもを看取る親への関わり
- ・緩和ケア病棟に入院する患者の心理的アプローチ、家族のアプローチについて(揺れ動く心理面の援助) ・患者対応(暴言など)が難しい時の対応について

参加する職種:医師・看護師・薬剤師・臨床心理士・理学療法士・管理栄養士・社会福祉士・退院コーディネーター

# 緩和ケア外来の状況

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

1	緩和ケア外来が設定されている(はい/いし	ハえ)				はい			
2	緩和ケア外来の名称								
3	担当診療科名		緩和ケア内科						
4	緩和ケア外来の頻度(〇回/週)		1回/週						
5	主な診療内容・特色・アピールポイント		当院の緩和医療センター入院を希望する患者・家族を中心に診療	当院の緩和医療センター入院を希望する患者・家族を中心に診療					
	緩和ケア外来の説明が掲載されているペー	見出し	緩和医療センター						
6	ジの見出しとアドレス ※アドレスは、手入カせずにホームページからコピー してください	アドレス	https://anjokosei.jp/ourmission/foothold_hospital/kanwa_care.html						
7	他施設でがんの診療を受けている、または、診療を受けていた患者さんを受け入れている(はい/いいえ) はい					はい			
	■地域の患者さんやご家族向けの問い合わ・	せ窓口	1が設定されている(はい/いいえ) はい						
8	窓口の名称		緩和医療センター相談窓口						
	電話番号	電話番号 0566-75-2111 (内線)							
	■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が	設定さ	されている(はい/いいえ) はい						
9	窓口の名称		がん相談支援センター						
J	電話番号		0566-75-2111						
	祝祭日、年末年始以外の休み(創立記念日など	)	8月15日						
			以下については、自施設でがん診療を受けている患者について記載してください。						
			緩和ケア外来患者の年間新規診療患者数	5	人				
10	緩和ケア外来の状況 期間: 令和5年1月1日~12月31日		緩和ケア外来患者の年間受診患者のべ数	人					
10			以下については、緩和ケア外来受診まで自施設でがん診療を受	けていなかった	た患者につい	って記載してください。			
			地域の医療機関からの年間新規紹介患者数		0	人			
			地域の医療機関からの年間受診患者のべ数	0	人				

# 緩和ケア病棟の状況

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

※緩和ケア病棟が設定されている場合に限り、「2」以降を記載してください。

1	緩和ケア病棟を有	している	病棟があり			す				
2	緩和ケア病棟入院	料の届出・受理	届	け出て受理	里され	て	いる			
3	緩和ケア病棟の形	式		院内独	电立型	<u>J</u>				
4	緩和ケア病棟の病	床数	17	17 床						
	緩和ケア病棟に入	院した患者の申し込む	みから入院 <sup>-</sup>	するまでの	平均	待	機期間		4	日
5	緩和ケア病棟の年	間新入院患者数(令	和5年1月1	日~12月3	31日)				245	人
	緩和ケア病棟の年	間死亡患者数(令和	5年1月1日	~12月31月	3)				180	人
		明が掲載されてい	見出し	緩和医療·	センタ	<b>7</b> —	-			
6	るページの見出し			. ,,						
	※アドレスは、手入力t ピーしてください。	せずにホームページからコ -	アドレス	https://an	ijokos	sei	.jp/ourmission	/foothold_hospital/kanw	/a_care.	html
		(例) 医師			2			呆健福祉士	1	ı
		医師			3		退院コーディス	ネーター	1	
	┃  緩和ケア病棟を担	看護師			17		事務		1	
	当するスタッフの職	薬剤師			1		臨床心理士		2	
	種・人数(人)	看護補助者			1		社会福祉士		1	
7	※常勤・非常勤、専 従・専任・兼任などに	作業療法士			1		管理栄養士		1	
	関わらず、緩和ケア病棟の診療に携わって									
	いるスタッフについて									
	記載してください。									
	■地域の患者さん	やご家族向けの問い	合わせ窓口	1が設定され	てし	くる	ら(はい/いい	え)		はい
	窓口	の名称	緩和医療も	2ンター						
8	電話	括番号	0566-75-2	111				<mark>(内線)</mark>		
		いて掲載しているホー	見出し	見出し緩和医療センター						
	ムページ	ムページ			アドレス https://anjokosei.jp/ourmission/foothold_hospital/kanwa_care.html					
	  ■地域の医療機関	間向けの問い合わせ窓	窓口が設定さ	されている	(はし	۱/	<b>~</b> しいいえ)			はい
					(,,,,,,,		- · · · · · ·			10.10
9		の名称	緩和医療也					( 1 (4)		
	電影	話番号	0566-75-2					(内線)		
	問い合わせ窓口につ	いて掲載しているホー	見出し	緩和医療				/6 :		
		I			~			/foothold_hospital/kanw	_	
10	緩和ケア病棟の	例:家族用キッチン、家  ビスがある)、特殊入浴		室、ランドリー	-、ディ	<b>イ</b> ル	ノーム(食事や面	i会者との談話、ボランティ	アによる	ティーサー
10	設備	家族用キッチン、家族控室、談話室、応接室、洗濯室、デイルーム(面会者との談話)、特殊浴室、浴室								
						_				
	訪問看護ケアの	例:目他設で美他し  を紹介している、なと		·	ル他記	i又	じ夫加している	ら、連携している訪問看 <b>記</b>	受ソ ブ グ	、ナーション
11	有無			<b>手</b> #⇒=	S .= \$		と切入している			
		しいる訪問	有護人丁一	・ンヨン	ノを	を紹介している				

### 地域緩和ケア連携体制

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 時点:令和6年9月1日時点 【緩和ケアに関する地域連携を推進するために、地域の施設が開催する多職種連携カンファレンスに参加した年間回数】 令和5年1月1日~12月31日 自施設が主催したもの(※共催を含む) 回 地域内の他施設が主催したもの 注1) 多職種連携カンファレンスとは「地域全体の医療を推進するため地域医療を支える多施設かつ多職種の連携強化と顔の見える関係づくりを目的として、緩和ケアに関わる多職種の医療・介護従事者等が一堂に会する場」とする。 注2) 患者の退院支援カンファレンス等、患者個人の情報共有のために開催したカンファレンスは含まない。 【緊急緩和ケア病棟について(都道府県がん診療連携拠点病院のみ)】 ・緊急緩和ケア病床数 床 緊急緩和ケア病床の入院患者数(令和5年1月1日~12月31日) 3 【がんの難治性疼痛に対する神経ブロックについて】 ・がんの難治性疼痛に対する神経ブロックについて、自施設で実施している。 はい ・がんの難治性疼痛に対する神経ブロックの提供実施延べ人数(令和5年1月1日~12) 3 【自施設で実施できない場合には、連携している医療機関名等、がんの難治性疼痛に対する神経ブロックの提供における連携協力体制を記入】

# 緩和ケアチームのメンバーと活動

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

期間: 令和6年9月1日時点

緩和ケアチームのメンバーについて記載してください。

注/ 帝動Cは、原則Cしに例防じたのに動物时间の主にを動物する白をいり。例防じたのに体即の1週间の動物时间か、32时间不満の場合は、

20時間以上勤務 アハス来を受動と その他は非受動とする

<u>医師以外</u>の診療従事者について(複数の資格を有する者は、主たる業務に係る職種についてのみ記載)

	職種	常勤 /非常勤	専門資格(取得している場合)
例	管理栄養士	常勤	がん病態栄養専門管理栄養士
1	臨床心理士	常勤	臨床心理士、公認心理士
2	臨床心理士	常勤	臨床心理士、公認心理士
3	管理栄養士	常勤	がん病態栄養専門管理栄養士
4	管理栄養士	常勤	
5	管理栄養士	常勤	病態栄養専門管理栄養士
6	薬剤師	常勤	緩和薬物療法認定薬剤師
7	看護師	常勤	がん性疼痛看護認定看護師
8	社会福祉士	常勤	認定がん専門相談員
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

緩和ケアチームの活動頻度について記載してください。(〇回/週(もしくは月、年)となるように入力してください。)

病棟ラウンドの頻度	2	回/週
カンファレンスの頻度	1	回/週

緩和ケアチームの活動内容について記載してください。

定期的な病棟ラウンド及びカンファレンスによる、依頼を受けていないがん患者も含めた苦痛の把握、適切な症状緩和に関する助言や指導等の方法や内容を記載してください。

主治医もしくは心不全チームから介入依頼があった患者、および入院にてオピオイドを使用し疼痛管理を実施する患者を対象に、緩和ケアチームによる病棟ラウンドを実施している。症状緩和に関する助言や指導を、カルテを用いて主治医および病棟看護師に共有している。また、ラウンド後にチームカンファレンスを実施し、症例検討や活動業務について協議している。依頼を受けていない患者については、入

緩和ケアチームの看護師による、苦痛の把握の支援や専門的緩和ケアの提供に関する調整等、外来・病棟における看護業務の支援・強 化の内容について記載してください。(記載例:看護師を含む院内の全スタッフに対する苦痛の把握や専門的緩和ケアに関する研修会を 実施。病棟ラウンド時に各病棟の看護師に対し、苦痛の把握について指導。)

看護師を含む院内の全スタッフに対する疼痛を始めとする苦痛症状の把握・対応方法など、専門的緩和ケアに関する研修会を実施してい る。

病棟ラウンド時に各病棟の看護師に対し、苦痛の把握や対応方法について指導している。看護師による対応が困難な場合は適宜患者・

# 患者及び家族が利用可能なインターネット環境

記載の有無:入力済/未入力あり 入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

1	入院患者とその家族が病室で利用できるインターネット環境がある。	はい	(はい/いいえ)					
ı	(上記が"はい"の場合に回答してください)上記は無料で利用できる。	はい	(はい/いいえ)					
	(1が"はい"の場合に回答してください)インターネット環境が医療機器等に干渉しないよう、各種のガイドラインを参照している。	はい	(はい/いいえ)					
	2が"はい"の場合に、参考としたガイドライン名を以下の欄に記入し							
2	電波環境協議会:医療機関において安心・安全に電波を利用するための事	手引き(改定版) 20	0210730					

# がん患者の特性に応じた支援

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

	自施設でAYA世代のがん患者の支援を行っている	はい	(はい/いいえ)						
	「はい」の場合は、自施設で行うことができる支援の内容を記載してください。								
(例) AYA世代のがん患者の就労支援として月に●回の頻度で社労士の訪問を受けている。									
	AYA世代を含む全世代対象に、社労士と連携する就労相談会・ピアサポートサロンを開催している 治療終了後の長期フォローアップ(晩期合併症・再発・二次がん等の指導・支援)を実施している 10代の患者においては、治療に伴う注意事項としての性教育を実施している 電話相談窓口を設置している								
	自施設でAYA世代のがん患者に関する支援が行えない場合は、患者を紹介する等、AYA世代の支援で連携する施設名を記載してください。								
	多職種からなるAYA支援チームを設置している。	はい	(はい/いいえ)						
	「はい」の場合は、AYA支援チーム構成員の職種を記載してください。								
2	医師、歯科衛生士、看護師、臨床心理士、管理栄養士、理学療法士、社会福祉士								
	自施設で、がん・生殖医療に関する意思決定支援を行うことができる診療従事者の育成・配置を行	はい	(はい/いいえ)						
	「はい」の場合は、意思決定支援を行うことができる診療従事者の育成に関する取組状況を記載して	てください。							
_	妊よう性温存治療対象者の対応マニュアルを整備している がん看護基礎研修にて、がん・生殖医療に関する制度や現状を教育している								
	がん患者の妊孕性の温存に関する支援について、自施設もしくは連携施設への紹介で実施している	る場合に内容を記	載してください。						
4	精子、卵子、受精卵の温存療法を、他施設に紹介する形で実施している								
	がん患者の就学に関する支援について自施設もしくは連携施設への紹介で実施している場合に内?	容を記載してくだる	えい。						
5	入院中のリモート(在学校による)実施体制を整備している 課外活動への参加の必要性に応じた治療日程を配慮している								
	がん患者の就業に関する支援について自施設もしくは連携施設への紹介で実施している場合に内	容を記載してくだる	۲٬۰°						
6	両立支援コーディネーターが復職支援を実施している 病状に応じた就業時の制限等の話し合いや就業に必要な書類の作成を実施している								
	がん患者のアピアランスケアに関する支援について自施設もしくは連携施設への紹介で実施してい	る場合に内容を記	己載してください。						
_	がん相談支援センターでの情報提供のほか、ウィッグ業者主催のウィッグ相談会を毎週1 患者の要望に合ったケア用品の紹介や助成制度の案内をしている 気持ち辛さに対する「がん看護相談」を設置している	回開催している							
	高齢のがん患者に関して、高齢者機能評価の実施状況や、評価を行う体制、人員の状況などにつし機能評価を実施している場合は、そのツール等も記載してください。								
8	入院時に「患者プロファイル」にて生活背景をアセスメントし、要支援者には社会福祉士等の支援に結びつくよう体制を作っている 入退院支援センターを設置し、入院前より患者情報を確認し、支援が必要であれば、早期介入する体制を取っている								
			<u> </u>						

### 相談支援センターの相談件数と相談支援内容

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

期間:令和5年1月1日~12月31日

※「自施設の患者・家族」とは、貴院で診療を受けている患者・家族、および以前に貴院で診療を受けた患者・家族のことをさしています。 「他施設の患者・家族」とは、貴院以外の医療機関で診療を受けている患者・家族、および以前に貴院以外の医療機関で診療を受けていた患者・家族のことを さしています。なお、自施設と他施設のいずれでも診療を受けている患者・家族については、「自施設の患者・家族」に含めてください。 ※本設問は相談支援センターでの相談件数及び体制についてお伺いしております。

●年間ののべ相談件数

1918

1. 相談件数(新規相談件数に限る)

	相談者	計
1	自施設の患者・家族	942
2	1以外の患者・家族・地域住民等	44
3	他の医療機関等の職員	38
	合計	1,024

- ●年間ののべ相談件数の内容についてそれぞれ相談件数を記載してください。・項目の番号については、厚生労働省研究費補助金「がん対策における進捗管理指標の策定と計測システムの確立に関する研究班」が作成した「相談記入シート」を参考にしています。・1回の相談で複数の内容について相談された場合は、それぞれの項目に計上して構いません。なお、詳細なカウントの方法については「相談記入シート」をご参照ください。
- https://ganjoho.jp/med\_pro/consultation/support/registration\_sheet.html

相談内容	件数	相談内容	件数
01.がんの治療	98	15.食事・服薬・入浴・運動・外出など	55
02.がんの検査	16	16.介護·看護·養育	750
03.症状・副作用・後遺症	112	17-1.社会生活(仕事·就労)	102
03-01. 03のうち妊孕性・生殖機能	7	17-2.社会生活(学業)	32
03-02. 03のうちアピアランス	16	18.医療費·生活費·社会保障制度	543
03-03. 03のうち晩期合併症	0	19.補完•代替医療	0
03-04. 03のうち長期フォローアップ	41	20.生きがい・価値観	0
04.セカンドオピニオン(一般)	33	21.不安·精神的苦痛	151
05.セカンドオピニオン(受け入れ)	18	22.告知	6
06.セカンドオピニオン(他へ紹介)	30	23.医療者との関係・コミュニケーション	17
07.治療実績	5	24.患者-家族間の関係・コミュニケーション	51
08.臨床試験・先進医療	0	25.友人・知人・職場との関係・コミュニケーション	3
09.受診方法	71	26.患者会・家族会(ピア情報)	3
10.転院	54	88.不明	66
11.医療機関の紹介	10	99.その他(下段に自由記載してください)	0
12.がん予防・検診	1		
13.在宅医療	552		
14.ホスピス・緩和ケア	226		

22/44

# がん相談支援センターの問い合わせ窓口

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

	1.100 March 15 145 1 533 1 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 1				
1	相談支援センターの名称	<b>談支援センターの名称</b> 医療福祉相談室・がん相談支援センター			
2	問い合わせ先電話番号		0566-75-2111	(内線)	3150
2	WebサイトのURL		https://anjokosei.jp/department/gansodan/	https://anjokosei.jp/department/gansodan/	
3	■対面相談の実施 (実施/未実施)	実施			
	予約の要否(必要/不要)	不要			
	■電話相談の実施 (実施/未実施) 実施				
	電話番号		0566-75-2111	(内線)	3150
	予約の要否(必要/不要)	不要			
4	■FAX相談の実施 (実施/未実施)	未実施			
4	FAX番号				
	■電子メール相談の実施 (実施/未実施)	実施			
	メールアドレス ※個人のメールアドレスは記載しないでください		soudan@kosei.anjo.aichi.jp		
	■Web会議ツールを活用した遠隔相談の 実施(実施/未実施)				

### がん相談支援センターの体制

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

※様式4の回答と齟齬がないようにすること。

注1)「専従」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。

注2)常勤とは、原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、32時間以上勤務している者を常勤とし、 その他は非常勤とする。

### ■国立がん研究センターによる「相談支援センター相談員研修・基礎研修」について(がん相談支援センター内の人数)

対象者					
国立	国立がん研究センターによる「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)~(3)の修了者数				
	うち相談支援に携わる者の専任の人数( <u>専任</u> かつ <u>専従でない者</u> )(注1)	1			
	うち相談支援に携わる者の専従の人数( <mark>注1</mark> )	1			
国立	国立がん研究センターによる「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)および(2)のみの修了者数				
	うち相談支援に携わる者の専任の人数( <u>専任</u> かつ <u>専従でない</u> 者)(注1)	0			
	うち相談支援に携わる者の専従の人数 <mark>(注1</mark> )	0			

#### ■定期的な知識の更新のための研修等(がん相談支援センター内の人数)

対象者			
①がん相談支援センターに配置されている相談支援に携わる者のうち、国立がん研究センターによるがん相談支援センター相談員継続研修の受講もしくは「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)および(2)の再受講をした人数※			
②相談支援に携わる者のうち、上記以外の研修を受講した人数			
②の具体例 国立がん研究センター認定がん専門相談員更新研修、がん情			

※がん相談支援センター相談員継続研修は令和5年度より廃止され、「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)(2)に統一されていま

### ■がん相談支援センターの体制について

※以下の1~6に該当する人数は必ず記載すること。その他の体制についてはそれぞれ記載すること。 ※専従・専任・その他については、当該の相談支援に携わる者が8割以上当該業務に従事している場合には専従、5割以上 8割未満の

場合には専任、5割未満の場合にはその他としてください。

	職種等	専従/専任/その他( <mark>注1</mark> )	人数	うち常勤の 人数( <mark>注2</mark> )	両立支援コーディネー ター研修を受講した人 数
例	社会福祉士	専従	3	2	3
例	看護師	専任	2	1	2
1	社会福祉士	専従	1	1	1
2	社会福祉士	専任	1	1	1
3	社会福祉士	その他	10	10	1
4	精神保健福祉士	専従	0	0	0
5	精神保健福祉士	専任	0	0	0
6	精神保健福祉士	その他	1	1	1
7	看護師	専従	0	0	0
8	看護師	専任	0	0	0
9	看護師	その他	0	0	0
10	医療心理に携わる者	専従	0	0	0
11	医療心理に携わる者	専任	0	0	0
12	医療心理に携わる者	その他	0	0	0
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					

22			
23			

■がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問することができる体制 整備していると回答した場合、記載すること。整備していない場合は、「整備していない」と記入すること。

※必ずしも具体的な相談を伴わない、場所等の確認も含む

がん患者及びその家族ががん相談支援センターを訪問できる体制に関する、具体的な取り組み状況を記入してください。

「がん相談支援センター」の相談内容・場所を紹介するチラシを外来ブロック受付設置、また患者待合の電子掲示板で表示をしている。また

■がん相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを得る体制

がん相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを得る体制に関する、具体的な取り組み状況を記入してください。

2023年度がん相談支援センターの利用者に対する「ご利用アンケート」を実施して、相談者の状況や満足度などの調査を行った。その結果

### 院内外のがん患者等からの相談に対応するための連携協力体制の状況

記載の有無:入力済/未入力あり 入力済

(複数回答可)

(はい/いいえ)

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

がん相談支援センター、看護管理室

はい

時期・期間: 令和6年9月1日時点

●就労□	一期古	ころって	生拉力	カイ木集

①専門家による相談会の開催回数

②専門家の職種(例:社労士、キャリアコンサルタント等を全て記載)

#### ●アピアランスケアに関する連携協力体制

アピアランスに関する相談を院内で対応している

院内でアピアランスケアに関する相談・支援を行っている部署

相談・支援の件数(がん相談支援センターでの件数は除く)

#### ●がん患者の好孕性温存に関する連携協力体制

①相談に対応している部署(例:がん相談支援センター、化学療法室等)

- ①-1意思決定支援に関わる医療従事者による相談を院内で実施している
- ①-2意思決定支援に関わる医療従事者による相談を院外に依頼している
- ②がん患者の妊孕性温存のための生殖医療

②-1がん患者の妊孕性温存のための生殖医療を専門とする自施設内の部門へ紹介した患者の人数

- ②-2がん患者の妊孕性温存のための生殖医療を専門とする他施設へ紹介した患者の人数
- ③自治体のがん・生殖医療ネットワークを通じて、生殖医療を専門とする施設に紹介している
  - ③-1紹介先施設名(複数回答可)

④他の自治体のがん・生殖医療ネットワークを通じて、生殖医療を専門とする施設に紹介している

④-1紹介先施設名(複数回答可)

⑤意思決定支援に関わる人材育成を実施している(「いいえ」の場合は⑤-1、⑤-2は「いいえ」を記入ください。

- ⑤-1研修会を院内で実施している
- ⑤-2学会等の研修会への参加を励行している
- ●がん患者の自殺リスクに対する体制

院内で自殺リスクに対する研修を開いている。

- ●患者サロン等の開催状況
- ①患者サロンの開催件数
- ②患者会の開催件数

②-1患者会のうち、オンラインで開催した件数

③サポートグループが主催した研修の開催件数

#### ●がん患者団体との連携協力体制

①連携協力しているがん患者団体数

#### ②連携協力しているがん患者団体

※代表的ながん患者団体のみ記載してください。

10	(期間: 令和5年1月1日~12月3 日)
社労士	(複数回答可)

はい	(はい/いいえ)
がん相談支援センター、看護管理室	(複数回答可)
16	(期間:令和5年1月1日~12月31 日)

	12.7	
	いいえ	(はい/いいえ)
		•
	0	(期間:令和5年1月1日~12月31日
	15	(期間:令和5年1月1日~12月31日
	はい	(はい/いいえ)
	八千代病院	(複数回答可)
	141.	
	はい	(はい/いいえ)
	名古屋大学医学部附属病院、トヨタ記念病院	(複数回答可)
, )		(はい/いいえ)
	はい	(はい/いいえ)
	はい	(はい/いいえ)

いいえ	(はい/いいえ)
6	(期間:令和5年1月1日~12月31日)
0	(期間:令和5年1月1日~12月31日)
0	(期間:令和5年1月1日~12月31日)
1	(期間:令和5年1月1日~12月31日)
0	

	※患者団体の参加対象者が特定の疾患に限られていない場合には、「 <mark>すべてのがん</mark> 」と記載してください。 ※「紹介の可否」には、患者さんや家族から、その団体について問い合わせがあった際、具体的な紹介ができるかどうかについて記載してください。						
	連携協力しているがん患者団体		日は外が実施が上の中央				
	団体名	参加対象者 の疾患名	具体的な連携協力の内容				
例	00000会	造血器腫瘍	患者会と共同で、月1回、患者サロンを開催している。	可			
例	00000会	乳がん	相談支援センターで、週1回、2名ずつ、ピアサポーターとして活動してもらっている。	可			
例	00000会	すべてのがん	年4回開催している市民講演会の開催への協力、また、演者として参加してもらっている。	不可			
1	NPO法人ミーネット	すべてのがん	がん患者団体と共同で、月1回ピアサポートサロンを開催している。	可			
2	緩和ケア遺族会	すべてのがん	緩和ケア病棟で亡くなられた患者様の家族に対して、定期的に家族と医療者が交流会を開催し、グリーフケアを行っている。	不可			
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							

### がんの診療に関連した専門外来の問い合わせ窓口

記載の有無:入力済/未入力あり入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

※ がん診療に関連した専門外来の「対象となる疾患名」の項目は、以下の表の疾患名を用いて記載してください。 表の中に、該当する病名がない場合は、その病名を直接記載してください。 また、すべてのがん種が対象となる場合は、「<mark>すべてのがん</mark>」と記載してください。

頭部/頸部	消化管	泌尿器	女性	その他		
脳腫瘍 脊髄腫瘍 眼・眼窩腫瘍 口腔がん 咽頭がん・喉頭がん甲状腺がん	食道がん 胃がん 小腸がん 大腸がん GIST	腎がん 尿路がん 膀胱がん 副腎腫瘍	子宮頸がん・子宮体がん 卵巣がん その他の女性生殖器がん	後腹膜・腹膜腫瘍 性腺外胚細胞腫瘍 原発不明がん		
胸部	肝臓 /胆道 男性 /膵臓		皮膚/骨と軟部組織	小児		
肺がん	肝がん	前立腺がん	皮膚腫瘍 悪性骨軟部腫瘍	小児脳腫瘍 小児の眼・眼窩腫瘍		
乳がん 縦隔腫瘍	胆道がん	精巣がん その他の男性	血液・リンパ	小児悪性骨軟部腫瘍		
中皮腫	膵がん	生殖器がん	造血器腫瘍	その他の小児固形腫瘍 小児造血器腫瘍		

### 1. 【ストーマ外来】の問い合わせ窓口

1	ストーマ外来が設定されている(はい/いいえ)							
2	上記外来の名称 外科外来							
3	対象となるストーマの種類	結腸ストーマ						
4	対象となる疾患名 大腸がん							
5	他施設でがんの診療を受けている、または、診療を受けていた患者さんを受け入れている(はい/いいえ)							

### 2. 【リンパ浮腫外来】の問い合わせ窓口

1	リンパ浮腫外来が設定されている	はい (はい/いいえ) ※リンパ浮腫の研修修了者とは、厚生労働省後援のビリテーション研修におけるリンパ浮腫研修運営委員								
2	研修を修了した担当者が配置されている※	はい	(はい/いいえ)	<ul><li>:、「専門的なリンパ浮腫研究に関する教育要綱」にそった研修 講義45時間以上)を修了した医療従事者のことをいう。</li></ul>						
3	上記外来の名称	リンパ浮腫看護外来								
4	対象となる疾患名	乳がん・子宮がん								
5	リンパ浮腫の診療担当科	外科								
6	リンパ浮腫の入院治療に対応している	対応していない (対応している/対応していない)								
7	他施設でがんの診療を受けている、または診療	§を受けていた!	患者さんを受け入れ	れている(はい/いいえ)	いいえ					

### 3. 【 禁煙外来 】の問い合わせ窓口

Ī	1	禁煙外来が設定されている(はい/いいえ)						
	2	上記外来の名称						
	3	他施設でがんの診療を受けている、または診療	を受けていた患者さんを受け入れている (はい/いいえ)	いいえ				

### 4. 【アスベスト外来】の問い合わせ窓口

١	1	アスベスト外来が設定されている(はい/いいえ)	いいえ

2	上記外来の名称		
3	他施設でがんの診療を受けている、または診療	景を受けていた患者さんを受け入れている(はい/いいえ)	

5. 遺伝性腫瘍に関連した専門外来の問い合わせ窓口

1	遺伝性腫瘍外来が設定されている (はい/いし	<b>いえ</b> )	はい				
2	上記外来の名称ゲノム外来						
3	他施設でがんの診療を受けている、または診療	を受けていた患者さんを受け入れている(はい/いいえ)	はい				

6. 追加で記載を希望する外来について	
1 追加で記載を希望する外来がある場合には、以下に疾患名等の情報を自由に記載してください。	

29/44

# 院内がん登録部門の体制

記載の有無:入力済/未入力あり入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

※院内がん登録業務に携わっているスタッフを記載してください。

# 注1)様式4の回答と齟齬がないようにすること。

- 注2) 常勤とは原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の 場合は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とする。
- 注3)「専従」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以

Ηı	当該業務に従事し	ている考をいう
<b>ㅗ</b> । 。	コ砂木がに作り	, しい'る1日でい'ノ <sub>^</sub>

	資 格	診療情報 管理業務の 経験年数 (年)	院内がん 登録業務の 経験年数 (年)	常勤 /非常勤	院内がん登録業務 についての 専従/専任/その他	がん対策情報センターによる院内がん登録 実務 初級者研修会・中級者研修会の修了状況 研修会名・受講状況
例	診療情報管理士	4	2	常勤	専従(8割以上)	初級認定者(みなし含む)
例	なし	1	1	非常勤	専任(5割以上8割未満)	初級認定試験・受験なし
1	診療情報管理士	15	15	常勤	専従	中級認定者
2	診療情報管理士	12	12	常勤	その他	中級認定者
3	診療情報管理士	3	3	常勤	その他	初級認定試験・受験なし
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

# <u>臨床試験・治験の実施状況および問い合わせ窓口</u>

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

1. 臨床試験・治験の問い合わせ窓口

令和6年9月1日時点

1) 【 臨床試験(治験を除く) 】の問い合わせ窓口

	■臨床試験に参加していない、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口の有無について <u>臨床試験専用の窓口がある</u>									)	
	※臨床試験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。										
	問い合わせへ対応し	窓口		電話	0	FAX		電子メール			
	窓口の名称	ŗ	臨床研究管理室								
1	上記の窓口の説明が 掲載されているペー ジの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せ ずにホームページからコ	見出し	臨床研究·治験								
	ピーしてください	アドレス	https://anjokosei.jp/about/tc.htm	nl							
	電話番号		0566-75-2111			(	内線)	2060			
	■臨床試験に参加していない、地域の医療機関向けの問い合わせ窓口について						臨床試験専用の窓口がある				
	※臨床試験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。										
	問い合わせへ対応し	窓口		電話	0	FAX		電子メール			
	窓口の名称	ŗ	臨床研究管理室								
2	上記の窓口の説明が掲載されているページの見出しとアドレス※アドレスは、手入力セ	見出し	臨床研究・治験								
	ずにホームページからコ ピーしてください	アドレス	http://anjokosei.jp/about/tc.html								
	電話番号		0566-75-2111 (内部					2060			

2) 【 治験】の問い合わせ窓口

2)	【 治験 】の問い合わ	せ窓口									
	■治験に参加していない、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口について 治験専用の窓口がある										
	※治験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。										
	問い合わせへ対応し	法に〇をつけてください。	窓口		電話	0	FAX		電子メール		
1	窓口の名称	7	臨床研究管理室								
	上記の窓口の説明が 掲載されているペー ジの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せ		臨床研究·治験	床研究·治験							
	ずにホームページからコ ピーしてください ア	アドレス	http://anjokosei.jp/about/tc.html	tp://anjokosei.jp/about/tc.html							
	電話番号		0566-75-2111 (内					線) 2060			
	■治験に参加していない、地域の医療機関向けの問い合わせ窓口について 治験専用の窓口がある					窓口がある					
	※治験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。										
	問い合わせへ対応し	ている方	法に〇をつけてください。	窓口		電話	0	FAX		電子メール	
	窓口の名称	<b>7</b>	臨床研究管理室								
2	上記の窓口の説明が 掲載されているペー ジの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せ		臨床研究·治験	塩床研究・治験							
	ずにホームページからコ ピーしてください	アドレス	http://anjokosei.jp/about/tc.html								
	電話番号		0566-75-2111			(Þ	内線)	2060			

# 院内のチーム医療の提供体制

記載の有無:入力済/未入力あり入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

令和6年9月1日時点

1	(がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等の把握及びそれらに対する適切な対応を、診断時から一貫して行っており、緩和ケアに関する診療報酬の項目が算定できる体制であるニと )	はい
2	院内に口腔ケアチームが設置されている。 (周術期等口腔機能管理に関する項目が算定できる体制であること。)	はい
3	院内に栄養サポートチームが設置されている。 (診療報酬の栄養サポートチーム加算が算定できる体制であること。)	はい
4	院内に感染防止対策チーム(感染制御チーム)が設置されている。 (感染対策に関する診療報酬の項目が算定できる体制であること。)	はい
5	院内に摂食嚥下支援チームが設置されている。 (診療報酬の摂食嚥下機能回復体制加算等が算定できる体制であること。)	いいえ
6	院内にリハビリテーションチームが設置されている。 (診療報酬のがん患者リハビリテーション料が算定できる体制であること。)	はい
7	院内に排尿ケアチームが設置されている。 (診療報酬の外来排尿自立指導料が算定できる体制であること。)	いいえ
8	院内に精神科リエゾンチームが設置されている。 (診療報酬の精神科リエゾンチーム加算が算定できる体制であること。)	はい

# 医療安全管理等の体制について

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

①-1 医療安全管理部門が配置されている。

はい (はい/いいえ)

①-2 医療安全管理部門がある場合に、そのメンバーについて記載してください。(①-1が"はい"の場合のみ、①-2に回答してください。) 注1)研修医は除いてください。

注2) 常勤とは、原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常勤とする。

注3)「専従」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいいます。

注4)「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」(平成19年3月30日付け医政発0330019号厚生労働省医政局長通知及び薬食発第 0330009号厚生労働省医薬食品局長通知)に基づく研修を想定しています。

		職種(注1)	常勤	専従/専任	医療安全に関する研修の受講状況(注4)			
		収代里(注Ⅰ)	/非常勤( <mark>注2</mark> )	/その他 <mark>(注3)</mark>	受講した研修名	研修主催者名	修了日	
1	部門長	医師	常勤	専任(5割以上8割未満)	医療安全管理者養成研修	一般社団法人医療安全全国共同 行動	2022/10/16	
2		医師	常勤	専任(5割以上8割未満)	医療安全管理者養成研修	公益任団法人主日本病院協会 一般社団法人日本医療法人協会 共催	2020/8/23	
3		医師	常勤	専任(5割以上8割未満)				
4		看護師	常勤	専従(8割以上)	医療安全管理者養成研修	公益在団法人至日本病院協会 一般社団法人日本医療法人協会 共催	2020/11/15	
5		看護師	常勤	専従(8割以上)				
6		薬剤師	常勤	専従(8割以上)	医療安全管理者養成講習会	一般社団法人日本病院会	2021/6/19	
7		その他	常勤	専従(8割以上)	医療対話推進者研修	患者家族と医療をつなぐ特定非 営利活動法人	2017/1/9	
8		その他	常勤	専任(5割以上8割未満)	医療安全管理者養成研修	一般社団法人医療安全全国共同 行動	2022/10/16	
9		その他	非常勤	専従(8割以上)				
10	П							
11	П							
12	11							
13	ll							
14	l							
15								

②第三者による評価に関する状況について記載してください。 要件充足としては、JCI、ISO9001、日本医療機能評価機構 病院機能評価のみ該当と整理している。 第三者による評価を受けていない場合は、「受審なし」と記入ください。また、最終評価日は最終受審年月日(初日のみで構いません)を記入ください。

	活用した第三者評価	最終評価日	有効期間 (定められている場合のみ記
例	JCI	平成31年〇月〇〇日	令和7年〇月〇〇日
例	ISO9001	令和2年〇月〇〇日	令和7年〇月〇〇日
例	日本医療機能評価機構 病院機能評価	平成30年〇月〇〇日	令和7年〇月〇〇日
1	日本医療機能評価機構病院機能評価	令和6年9月6日	特例措置により認定継続中
2			
3			
4			
5			

### 緩和ケアセンターのメンバー(医師および医師以外の診療従事者)

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

時期・期間: 令和6年9月1日時点

緩和ケアセンターのメンバーについて記載してください。なお、別紙8緩和ケアチームのメンバーを含めて記載して構いません。

※様式4の回答と齟齬がないように記載してください。

注1)研修医は除いてください。

注2)常勤とは、原則として病院で定めた勤務時間の全てを勤務する者をいう。病院で定めた医師の1週間の勤務時間が、32時間未満の場合は、

32時間以上勤務している者を常勤とし、その他は非常動とする。 注3)「専従」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務 に従事している者をいいます。

に仕事している者をいいます。 注4)ジェネラルマネージャーは、緩和ケアセンターの機能を管理・調整する常勤・専従、かつ院内において管理的立場の看護師であること。 注5)相談支援に携わる者については、相談支援センターの相談支援に携わる者との兼任および、相談支援センター内にて当該業務に従事することを可とする。ただし、この場合の専任とは、緩和ケアセンターにおける相談支援業務を中心となって担当していればよく、その就業時間の5割以上を緩和ケアセンターにおける相談支援業務に従事していることは求めない。

#### 1. 緩和ケアセンターが設定されている (はい/いいえ)

はい

### 2. 緩和ケアセンターの医師について(注1)

	役割	人数	診療科の内訳	
例	身体症状の緩和に携わる医師	3	麻酔科2名(※内1名は緩和ケアセンター長)、消化器外科1名	
	身体症状の緩和に携わる医師	1	緩和ケア内科医師1名	※都道府県がん診療連携拠 点病院は、1名以上配置必須
	精神症状の緩和に携わる医師	2	緩和ケア内科医師2名(うち1名は緩和ケアセンター長)	※都道府県がん診療連携拠 点病院は、1名以上配置必須

3. 緩和ケアセンターの看護師について(ジェネラルマネージャーおよび専門資格を有する者のみ記載してください。)

3. 板和アアセンダーの有護即について(シェイブルマイーンヤーおよい専門責格を有する有のみ記載してください。)						
		センターでの役割	常勤/ 非常勤( <mark>注2</mark> )	専従/専任 /その他 <mark>(注3)</mark>	専門資格 (がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師等)	
	1	ジェネラルマネージャー( <mark>注4)</mark>	常勤	専従(8割以上)		※都道府県がん診療連携拠点病院は、1名以上配置必須
		ジェネラルマネージャーではない看護 師	常勤	専従(8割以上)	がん性疼痛看護認定看護師	※都道府県がん診療連携拠
	3	ジェネラルマネージャーではない看護 師	常勤	専従(8割以上)		点病院は、2名以上配置必須
	4	ジェネラルマネージャーではない看護 師	常勤	専従(8割以上)		
	5	ジェネラルマネージャーではない看護 師	常勤	専従(8割以上)		
	ŭ	ジェネラルマネージャーではない看護 師	常勤	専従(8割以上)		
	7	ジェネラルマネージャーではない看護 師	常勤	専従(8割以上)		

#### 4. 薬剤師について

	センターでの役割	常勤/ 非常勤( <mark>注2)</mark>	専従/専任 /その他( <del>注3</del> )	専門資格 (がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師 等)	
1	薬剤師	常勤	専従(8割以上)	緩和薬物療法認定薬剤師	※都道府県がん診療連携拠点病院は、1名以上配置必須
2	薬剤師				
3	薬剤師				

### 5. 専任の緩和ケアセンターにおける相談支援業務に携わる者について(注5)

Γ						•
		センターでの役割	常勤/ 非常勤( <mark>注2)</mark>	専従/専任 /その他 <mark>(注3)</mark>	専門資格	
	1	専任の緩和ケアセンターにおける相談 支援業務に携わる者	常勤	専任		※都道府県がん診療連携拠点病院は、1名以上配置必須
	2	専任の緩和ケアセンターにおける相談 支援業務に携わる者				

3	専任の緩和ケアセンターにおける相談 支援業務に携わる者		
	243274331 -3317 G H		

### 6. 緩和ケアセンターの医師・看護師・薬剤師・専任の緩和ケアセンターにおける相談支援業務に携わる者以外の診療従事者について

	職種	常勤/ 非常勤( <mark>注2)</mark>	専従/専任 /その他(注3)	専門資格(取得している場合)
8	管理栄養士	常勤	その他(5割未満)	
9	医療心理に携わる者	常勤	その他(5割未満)	
10	理学療法士	常勤	その他(5割未満)	
11	その他	常勤	その他(5割未満)	
12				
13				
14				
15				
16				
17				

# 特定のがん種に対する集学的治療提供体制について

記載の有無:入力済/未入力あり/不要

不要

### 特定領域がん診療連携拠点病院が記入

当該がんに係る年間の放射線治療件数

※複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1件として計上する。

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

期間: 令和5年1月1日~12月31日

特定のがん種に対する集学的治療提供体制について、都道府県内で最も多くの患者を診療していることを明記し、必要に応じ図等を用いわか りやすく説明してください。

このシートのほかに資料がある場合は、<mark>ファイル名の頭に別紙22を付けた</mark>電子ファイル、別添資料を提出すること。 (あり/なし) 別添資料の提出有無 (ワード/エクセル/パワーポイント/その他) ファイル形式 その他の場合ファイル形式を記載してください。 特定のがん種 年間新入院患者数 年間新入院当該がん患者数 年間新入院患者数に占める当該がん患者の割合 % 年間外来当該がん患者のべ数 人 人 年間院内死亡当該がん患者数 当該がんに係る年間の手術件数 件 当該がんに対する年間の化学療法件数 件 ※経口、静注または皮下注射による全身投与を対象とし、件数については1レジメンあたりを1件として 計上する。 当該がんに係る年間の放射線治療件数 件 ※複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1件として計上する。 特定のがん種 年間新入院患者数 年間新入院当該がん患者数 人 年間新入院患者数に占める当該がん患者の割合 % 年間外来当該がん患者のべ数 人 年間院内死亡当該がん患者数 人 当該がんに係る年間の手術件数 件 当該がんに対する年間の化学療法件数 件 ※経口、静注または皮下注射による全身投与を対象とし、件数については1レジメンあたりを1件として 計上する。 当該がんに係る年間の放射線治療件数 ※複数部位照射する場合でも、一連の治療計画であれば1件として計上する。 特定のがん種 年間新入院患者数 年間新入院当該がん患者数 人 % 年間新入院患者数に占める当該がん患者の割合 年間外来当該がん患者のべ数 人 年間院内死亡当該がん患者数 人 件 当該がんに係る年間の手術件数 件 当該がんに対する年間の化学療法件数 ※経口、静注または皮下注射による全身投与を対象とし、件数については1レジメンあたりを1件として 計上する。 件

# がん診療連携拠点病院等との連携診療体制について

記載の有無:入力済/未入力あり/不要

特定領域がん診療連携拠点病院が記入

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

時期·期間: 令和6年9月1日時点

緊急な治療が必要な患者や合併症を持ち高度な周術期管理が必要な患者に対するがん診療連携拠点病院等と連携による診 療体制について、必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。 このシートに貼付することが難しい場合、<u>ファイル名の頭に別紙23を付けた</u>電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無	(あり/なし)	
ファイル形式	(ワード/エクセル/パワーポイント/その他)	
その他の場合ファイル形	式を記載してください。	
【緊急な治療が必要な患者や育 診療体制】	o合併症を持ち高度な周術期管理が必要な患者に対するがん診療連携拠点病院等と連携によ	<del>、</del> る
□27京 平中1]		


# 特定領域がん診療連携拠点病院の人材交流について

記載の有無:入力済/未入力あり/不要

特定領域がん診療連携拠点病院が記入

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

時期・期間: 令和5年1月1日~12月31日

※他の拠点病院等との人材交流計画について記載してください。

※個人名やPHSの番号が記載されていないことをご確認ください。

	受入/派遣	期間	職種	(受入元/派遣先)医療機関名	専門分野
例	受入	令和5年4月1日~9月30日	看護師	XX病院	がん看護認定看護師
例	派遣	令和5年10月1日~12月31 日	医師	YY病院	上部消化器外科
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

### グループ指定の状況

記載の有無:	入力済/	/未入	力あり/	′不要
--------	------	-----	------	-----

7	<del>т ш</del>

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

# 地域がん診療病院が記入

■グループ指定のがん診療連携拠点病院との定期的なカンファレンスの開催実施件数 期間: 令和5年1月1日~12月31日

<b>■</b> 5	ブループ指定を受け	るがん診療連携拠点病院との連携と	:役割分担の状況 時期:令和6年9月1日時点
	がん医療圏名	医療機関名	連携内容(がんの種類と役割分担)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# グループ間の人材交流計画について

記載の有無:入力済/未入力あり/不要

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

時期・期間: 令和5年1月1日~12月31日

地域がん診療病院が記入

※グループ指定施設間での人材交流計画について記載してください。

※個人名やPHSの番号が記載されていないことをご確認ください。

	受入/派遣	HSの番号が記載されていない。 期間	(受入元/派遣先)医療機関名	専門分野
例	受入	令和5年4月1日~9月30日	XX病院	消化器外科
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

# グループ指定の状況

# がん診療連携拠点病院が記入

記載の有無:入力済/未入力あり/不要

不要

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

■グループ指定を受ける地域がん診療病院との連携と役割分担の状況

時期・期間: 令和6年9月1日時点

	がん医療圏名	医療機関名	連携内容(がんの種類と役割分担)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

#### 都道府県協議会の内容

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 時期・期間: 令和5年4月1日~令和6年3月31日

記載の有無:入力済/未入力あり/不要

都道府県がん診療連携拠点病院が記入

※同一都道府県に複数の都道府県がん診療連携拠点病院が整備されている場合は、都道府県内で回答内容に齟齬が生じないよう

●令和5年度に開催した都道府県協議会について記載してください。 (1)患者本位のが人医療を実現する等の観点から、当該都道府県における対策を強力に推進するための議論を行った。 (2)都道府県全体のが人医療等の質の向上のために、都道府県内のどこに住んでいても適切な診断や治療にスムーズにアクセスできる体制を確保すべく、以下の議論を行った。 ① 地域の実状に応じて、医療機関間の連携が必要な医療等について、都道府県内の各拠点病院等及び他のがん診療を担う医療機関における役割分担を整理・明確化し、その内容を関係者間で共有するとともに広く周知した。 都道府県レベルで役割分担すべき項目(※)について議論した。 ②地域がん診療病院とがん診療連携拠点病院とのグループ指定の組み合わせを調整・決定した。
③ 都道府県内の拠点病院等の院内がん登録のデータやがん診療、緩和ケア、相談支援等の実績等を共有、分析、評価、公表等を行った。
各都道府県とも連携し、Quality Indicatorを積極的に利用するなど、都道府県全体のがん医療の質を向上させるための具体的な計画を立案・実行した。
院内がん登録実務者の支援を含めて都道府県内のがん側連情報収集や利活用等の推進に取り組みだ。
④ 地域における相談支援や緩和ケアの提供体制・連携体制について協議を行い、拠点病院等の間で情報共有や役割分担を含む連携体制を整備した。
⑤ 当該都道府県における特定機能病院である拠点病院等と連携し、地域におけるが心診療に従事する診療従事者の育成及び適正西置に向けた調整を行った。
⑥ 整維性をは、四への(20)に基づき、共変対の作用における場合を発生を発生のなるのでは、対して関すると呼ばれると呼吸を対象した。 ⑥ 整備指針Ⅱの4の(3)に基づき当該都道府県における拠点病院等が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした緩和ケアに関する研修やその他各種研修に関する計画を作成している。 ⑦ 当該都道府県内の医療機関における診療、緩和ケア外来、がん相談支援センター、セカンドオピニオン、患者サロン、患者支援団体、在宅医療等へのアクセスについて情報を集約し医療機関間で共有するとともに、冊子やホームページ等でわかりやすく広報している。 アグゼスについて情報を集新した旅機関側に失れす。ることも、mm・マホーム・・ファ・マカル・ファ・ストスにしている。
圏 国協議会との体系的な連携体制を構築している。⑨ 国立がん研究センターによる研修に関する情報や国協議会での協議事項が確実に都道府県内で共有・実践される体制を整備している。⑩ 感染症のまん延や災害等の状況においても必要ながん医療を提供する体制を確保するため、当該都道府県や各がん医療圏におけるBCPについて議論を行った。⑪ 地域における医療情報の共有の取組について、がんの分野からも検討し、体制整備に取り組んでいる。 【参考】 ●令和5年4月1日~令和6年3月31日に開催した都道府県協議会の参加者について 同一都道府県内の全ての拠点病院等が参加した 間は関係では、 都道府県庁等の行政の参加があった 拠点病院等以外の地域のがん診療を行う者の参加があった 

●都道府県協議会の広報体制について

●前退府採励應表の仏報体制にしい、 都道府県協議会についてわかりやすく広報を行うためのWebサイトがある。 Webサイトや、冊子等で、都道府県協議会で議論された内容を広報している。

WebサイトのURL

●令和5年4月1日~令和6年3月31日に開催した都道府県協議会での議論の内容について 都道府県協議会の議題や議事録等、議論の内容がわかる資料を提出すること。(ファイル名の頭に別紙28を付けること)

- (※)都道府県レベルで役割分担すべき項目は以下である。
- - クがん・生殖医療(別途実施されている「小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」におけるがん・生殖医療ネットワークと協働して実施。)ケがんゲノム医療

不要

### 地域連携の推進体制(歯科との連携)について

記載の有無:入力済/未入力あり

入力済

病院名: 愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

時期: 令和6年9月1日時点

地域連携の推進体制のうち、歯科との連携について、必要に応じて図等を用いてわかりやすく説明してください。 このシートのほかに資料がある場合は、ファイル名の頭に別紙〇を付けた電子ファイル、別添資料を提出すること。

1. 院内の口腔ケアチームのメンバーの職種及び人数について

院内に口腔ケアチームを設置している場合、記入すること。

地域の歯科医師等と連携している際は、そのことがわかるように備考欄に記入をお願いします。

	職種	人数	備考欄:院外との連携の際は連携先を記載ください(例:郡市歯科医師会と連携/近隣の歯科医師と個別に連携 等) なお、特段記載事項がない場合は空欄としてください。
例	歯科医師	2	近隣の歯科医師と個別に連携
1	歯科医師(院内)	3	
2	歯科医師(院外)	121	安城市, 刈谷市, 西尾市, 碧南市, 岡崎市歯科医師会と連携
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			

### 2. 歯科との連携体制の有無について

(1) 院内に歯科の診療科がある。 (はい/いいえ)	はい
(2) 口腔機能が低下したがん患者に対して口腔機能の評価や改善のために歯科との連携体制を構築している。 (院内の歯科医師と連携体制を構築/地域の歯科医師と連携体制を構築/院内及び地域の歯科医師と連携体制を構築/連携体制を構築していない)	院内の歯科医師と連携体制を構築
(3) 周術期におけるがん患者の口腔健康管理について歯科との連携体制を構築している。 (院内の歯科医師と連携体制を構築/地域の歯科医師と連携体制を構築/院内及び地域の歯科医師と連携体制を構築/連携体制を構築していない)	院内の歯科医師と連携体制を構築
(4) 栄養サポートチームに歯科が参加する連携体制を構築している。 (院内の歯科医師と連携体制を構築/地域の歯科医師と連携体制を構築/院内及び地域の歯科医師と連携体制を構築/連携体制を構築していない)	院内の歯科医師と連携体制を構築
(5) 緩和ケアチームに歯科が参加する連携体制を構築している。 (院内の歯科医師と連携体制を構築/地域の歯科医師と連携体制を構築/院内及び地域の歯科医師と連携体制を構築/連携体制を構築していない)	院内の歯科医師と連携体制を構築
(6) 上記(2)~(5)において地域の歯科医師と連携体制を構築している場合、連携している地域(院外)の歯科医療機関数	121 施設

(7) 上記(2)~(5)において歯科と連携体制を構築している場合、どのような連携体制を構築しているかそれぞれ記載してください。

安城市、刈谷市、西尾市、碧南市、岡崎市歯科医師会と連携。地域医療連携機関として登録していただき、手術後・化学療法後・緩和医療中の患者様のかかりつけ歯科医師に情報提供を行い、患者情報の共有をすることで連携関係を構築している。

(8) 上記(2)~(5)以外において歯科と連携体制を構築している場合、どのような連携体制を構築しているか記載してください。

当科は愛知県病院歯科医会に所属、同会は愛知県歯科医師会と連携体制を構築しており、相互に研修や定期的な連絡会を行っている